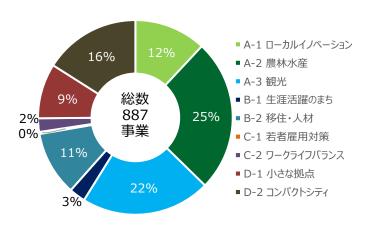
デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生拠点 整備交付金)事業の効果検証に関する調査報告書

> 令和6年3月 内閣府 地方創生推進事務局

# 報告書概要

### デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)事業の実施状況

国では、デジタル田園都市国家 構想交付金(旧地方創生推進交付 金及び旧地方創生拠点整備交付 金)により、都道府県及び市区町 村を支援してきている。昨年度に 引き続き、交付金活用事業の実施 状況に係る調査を行った。令和4 年度においては、総数887の事業 (前年度比981事業減少)でデジ タル田園都市国家構想交付金(旧



地方創生拠点整備交付金)が活用された(図表 2-3)。

# デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生推進交付金及び旧地方創生拠点整備交付金) の効果を高める要因について

デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生推進交付金及び旧地方創生拠点整備交付金)による支援制度が始まった平成28年度から7年が経過し、当該交付金を活用し、地域課題解決につなげ地方創生が進展した成功事例も複数見られるようになった。実施主体から提出を受けた事業実施報告及び実施主体へのヒアリング調査により分析を進め(本報告書第2章及び第3章)、検討委員会委員との議論を通じ、デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生推進交付金及び旧地方創生拠点整備交付金)事業の効果を高めると考えられるポジティブな要因を抽出した(本報告書第4章)。デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生推進交付金及び旧地方創生拠点整備交付金)事業をより効率的に、効果的に行うためにはポジティブな要因を踏まえて実施することが重要である。

### デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)事業の効果等

ガイドラインで定められたそれぞれの「取り組むべきこと」について、これを実施した事業と実施しなかった事業とで KPI 目標の達成に違いが生じるかを分析した。その結果、21項目中 20 項目について、これを実施した事業の方が KPI 目標の達成割合が高い結果となった(図表 2-46)。

また、デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果として、交付金を活用した事業のうち 90%の事業で地方創生に効果があったと地方公共団体等が認識していることが分かった (図表 2-51)。 一方で、交付金事業の効果が発現するまでには数年単位の期間を要する場合もあると考えられることから、結果を慎重に解釈したうえで、引き続きデータを蓄積して長期間を対象とした統計解析を検討する必要がある。

その他、令和4年度報告書との主な違いは以下の通りである。

- 「取り組むべきこと」の実施状況について、昨年度において実施率が55%を下回る項目が3項目あったが、今年度は実施率がわずかであるが向上している(図表2-11)。また、「取り組むべきこと」21項目の8割以上(17項目以上)を実施した事業の割合は、昨年度の48%から58%に増加(図表2-13)
- KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合は、全体で昨年度の 40%から 56%に増加。 (図表 2-36)。
- 目標値に達した KPI の割合は、全体で昨年度 24%から 36%に増加(図表 2-37)
- KPI の分類別には、「アウトプット」の達成が昨年度 33%から 51%に増加、「交付金業のアウトカム」の達成が昨年度 26%から 35%に増加(図表 2-38)。
- 地方創生に「非常に効果的であった」と認識された事業は、全体で昨年度 18%から 24%へ増加(図表 2-51)

# 目次

| 報告書概要                               | 1   |
|-------------------------------------|-----|
| 調査の背景・目的                            | . 9 |
| 第1章 事業実施報告 (様式) の作成、送付・回収           | 10  |
| 1.1 事業実施報告(様式)の作成方針                 | 10  |
| 1.2 事業実施報告の送付・回収                    | 19  |
| 第2章 事業実施報告の整理・分析                    | 20  |
| 2.1 分析方針                            | 20  |
| 2.2 事業実施報告の分析結果                     | 21  |
| 2.2.1 事業の基礎情報                       | 21  |
| 2.2.2 事業のプロセス                       | 27  |
| 2.2.3 事業の結果                         | 50  |
| 2.2.4 経済波及効果                        | 71  |
| 第 3 章 事例研究                          | 76  |
| 3.1 事例研究の対象とする事例の抽出                 | 76  |
| 3.1.1 詳細調査対象事例の抽出方法(前期)             | 76  |
| 3.1.2 詳細調査対象事例の抽出方法(後期)             | 77  |
| 3.1.3 詳細調査対象事例の抽出結果                 | 78  |
| 3.2 詳細調査の実施                         | 79  |
| 3.2.1 詳細調査の実施                       | 79  |
| 3.2.2 ヒアリング調査の実施                    | 85  |
| 3.3 詳細調査の結果                         | 86  |
| 3.3.1 事業推進主体の属性(事業テーマ別)             | 86  |
| 3.3.2 地方公共団体内の実施体制(事業テーマ別)          | 88  |
| 3.3.3 効果検証の実施状況(前期)                 | 90  |
| 3.3.4 KPI の設定に当たり、取り組んだ工夫(後期)       | 91  |
| 3.3.5 事業の進捗管理指標としてのデータ活用(後期)        | 92  |
| 3.3.6 交付金事業費支出先の地域内訳                | 93  |
| 第4章 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果を高める要因      | 95  |
| 4.1 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因 | 95  |
| 4.2 地方公共団体が特に留意すべき重要な要因             | 98  |
| 第5章 事例集の作成、ガイドラインの加筆・修正1            |     |
| 5.1 事例集の作成1                         | .10 |
| 5.2 ガイドラインの加筆・修正1                   | .12 |
| 第6章 地方公共団体への分析結果フィードバック             | 13  |

| 6.1 フィードバックの目的1  | l 13 |
|------------------|------|
| 6.2 フィードバック項目1   | l 13 |
| 6.3 フィードバックの実施 1 | l 15 |
| 第7章 検討委員会の設置1    | l 18 |
| 添付資料 1           | 120  |
| 効果検証未実施団体の調査     | 121  |

# 図表番号一覧

| 図表 | 1-1  | 事業実施報告の様式作成におけるポイント           | 10 |
|----|------|-------------------------------|----|
| 図表 | 1-2  | KPI の意味付け                     | 11 |
| 図表 | 1-3  | 事業実施報告(様式)(1枚目)               | 13 |
| 図表 | 1-4  | 事業実施報告(様式)(2枚目)               | 14 |
| 図表 | 1-5  | 事業実施報告(様式)(3枚目)               | 15 |
| 図表 | 1-6  | 事業実施報告(様式)(4枚目)               | 16 |
| 図表 | 1-7  | 事業実施報告(様式)(5枚目)               | 17 |
| 図表 | 1-8  | 事業実施報告(様式)(6枚目)               | 18 |
| 図表 | 1-9  | 事業実施報告(様式)(7枚目)               | 19 |
| 図表 | 2-1  | 事業実施報告 分析の全体イメージ              | 20 |
| 図表 | 2-2  | 事業実施報告の提出数(令和5年2月末時点)         | 21 |
| 図表 | 2-3  | 事業テーマ別事業数                     | 22 |
| 図表 | 2-4  | 課題(事業テーマ別)                    | 23 |
| 図表 | 2-5  | 単独事業・共同事業別の事業数                | 24 |
| 図表 | 2-6  | 実施主体別の事業数                     | 24 |
| 図表 | 2-7  | 1事業当たりの事業実績額(事業テーマ別)          | 25 |
| 図表 | 2-8  | 1事業当たりの事業実績額(事業主体別)           | 25 |
| 図表 | 2-9  | 施設の建設区分(事業テーマ別)               | 26 |
| 図表 | 2-10 | 「取り組むべきこと」の確認項目(PDCA の段階別)    | 28 |
| 図表 | 2-11 | 「取り組むべきこと」の実施状況               | 29 |
| 図表 | 2-12 | 「取り組むべきこと」の実施状況(参考、令和4年度調査結果) | 30 |
| 図表 | 2-13 | 実施した取組数(事業テーマ別)               | 31 |
| 図表 | 2-14 | 「取り組むべきこと」の実施状況(事業テーマ別)       | 32 |
| 図表 | 2-15 | 「取り組むべきこと」の実施状況(実施主体別)        | 33 |
| 図表 | 2-16 | 効果検証の状況(事業テーマ別)               | 34 |
| 図表 | 2-17 | 効果検証を受けた改善(事業テーマ別)            | 35 |
| 図表 | 2-18 | 効果検証の状況(事業主体別)                | 36 |
| 図表 | 2-19 | 効果検証を受けた改善(事業主体別)             | 36 |
| 図表 | 2-20 | 効果検証プロセスの実施有無                 | 37 |
| 図表 | 2-21 | 効果検証プロセスの実施有無まとめ(事業テーマ別)      | 38 |
| 図表 | 2-22 | 効果検証プロセスの実施の有無(事業年度別)         | 39 |
| 図表 | 2-23 | 実施計画時点の自立化の見込み(事業テーマ別)        | 40 |
| 図表 | 2-24 | 事業収入が占める割合(事業テーマ別)            | 41 |
| 図表 | 2-25 | 自立化の進捗状況(事業テーマ別)              | 42 |
| 図表 | 2-26 | 事業推進主体の属性(事業テーマ別)             | 43 |

| 凶表                                    | 2-27   | 実施計画時点における自立化の見込み(実施主体別)  | 44   |
|---------------------------------------|--|---|--|
| 図表                                    | 2-28   | 自立化の課題(解決済・未解決)   | 45   |
| 図表                                    | 2-29   | 政策間連携の状況(事業テーマ別)  | 46   |
| 図表                                    | 2-30   | 連携対象の事業テーマ(※自テーマ間の連携は除く)  | 47   |
| 図表                                    | 2-31   | 供用開始状況(事業テーマ別)  | 47   |
| 図表                                    | 2-32   | 供用を開始していない事業の供用開始予定時期   | 48   |
| 図表                                    | 2-33   | 供用開始時期の状況(施設の建設区分別)   | 49   |
| 図表                                    | 2-34   | 1 事業当たりの KPI 数 (事業テーマ別)   | 50   |
| 図表                                    | 2-35   | KPI の分類 (事業テーマ別)  | 51   |
| 図表                                    | 2-36   | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合 (事業テーマ別)   | 52   |
| 図表                                    | 2-37   | 目標値に達した KPI の割合 (事業テーマ別)  | 53   |
| 図表                                    | 2-38   | KPI の分類別の目標達成状況   | 54   |
| 図表                                    | 2-39   | KPI の分類(実施主体別)  | 54   |
| 図表                                    | 2-40   | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合 (実施主体別)  | 55   |
| 図表                                    | 2-41   | KPI の分類 (施設の建設区分別)  | 55   |
| 図表                                    | 2-42   | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(施設の建設区分別)  | 56   |
| 図表                                    | 2-43   | 事業テーマ別設定 KPI の分類  | 57   |
| 図表                                    | 2-44   | KPI の分類   | 58   |
| 図表                                    | 2-45   | KPI 目標を達成した事業の割合(「地方公共団体の課題・取組」の分類短   | 別)   |
|                                       |  |   | 59   |
| 図表                                    | 0 40   |   |  |
|                                       | 2-46   | KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施有無別)  | 60   |
| 図表                                    | 2-46   | KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施有無別)<br>KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施数別)   | 60   |
|                                       |  |   | 60<br>61   |
| 図表                                    | 2-47   | KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施数別)   | 60<br>61<br>61   |
| 図表図表                                  | 2-47<br>2-48   | KPI 目標を達成した事業の割合 (「取り組むべきこと」の実施数別)<br>KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別)   | 60<br>61<br>61<br>62   |
| 図表 図表 図表                              | 2-47<br>2-48<br>2-49   | KPI 目標を達成した事業の割合 (「取り組むべきこと」の実施数別)<br>KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別)<br>KPI 目標を達成した事業の割合 (各効果検証のプロセスを実施有無) .   | 60<br>61<br>61<br>62<br>63   |
| 図表 図表 図表 図表                           | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50   | KPI 目標を達成した事業の割合 (「取り組むべきこと」の実施数別)  KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別)  KPI 目標を達成した事業の割合 (各効果検証のプロセスを実施有無) .  KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別)  | 60<br>61<br>61<br>62<br>63<br>64                                     |
| 図表図表図表                                | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51   | KPI 目標を達成した事業の割合 (「取り組むべきこと」の実施数別) KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別) KPI 目標を達成した事業の割合 (各効果検証のプロセスを実施有無) . KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別) 地方創生への効果認識の状況 (事業テーマ別)  | 60<br>61<br>62<br>63<br>64<br>65                                     |
| 図図図図図図図図                              | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52   | KPI 目標を達成した事業の割合 (「取り組むべきこと」の実施数別) KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別) KPI 目標を達成した事業の割合 (各効果検証のプロセスを実施有無) KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別) 地方創生への効果認識の状況 (事業テーマ別) 地方創生への効果認識の状況 (参考、令和4年度調査結果)   | 60<br>61<br>62<br>63<br>64<br>65<br>66                               |
| 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53   | KPI 目標を達成した事業の割合 (「取り組むべきこと」の実施数別) KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別) KPI 目標を達成した事業の割合 (各効果検証のプロセスを実施有無) KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別) 地方創生への効果認識の状況 (事業テーマ別) 地方創生への効果認識の状況 (参考、令和 4 年度調査結果) 地方創生への効果認識の状況 (施設の建設区分別の傾向)   | 60<br>61<br>62<br>63<br>64<br>65<br>66<br>67                         |
| 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54   | KPI 目標を達成した事業の割合 (「取り組むべきこと」の実施数別) KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別) KPI 目標を達成した事業の割合 (各効果検証のプロセスを実施有無) KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別) 地方創生への効果認識の状況 (事業テーマ別) 地方創生への効果認識の状況 (参考、令和4年度調査結果) 地方創生への効果認識の状況 (施設の建設区分別の傾向) 地方創生への効果認識の状況 (施設の建設区分別の傾向)   | 60<br>61<br>62<br>63<br>64<br>65<br>66<br>67<br>68                   |
| 図図図図図図図図図図図                           | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55                                 | KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施数別) KPI 目標を達成した事業の割合(効果検証の状況別) KPI 目標を達成した事業の割合(各効果検証のプロセスを実施有無). KPI 目標を達成した事業の割合(財源確保の進捗状況別) 地方創生への効果認識の状況(事業テーマ別) 地方創生への効果認識の状況(参考、令和4年度調査結果) 地方創生への効果認識の状況(施設の建設区分別の傾向) 地方創生への効果認識の状況(施設の建設区分別の傾向) 地方創生への効果認識の状況(事業費別の傾向) 地方創生への効果認識の状況(事業費別の傾向) 地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施有無別)  | 60<br>61<br>62<br>63<br>64<br>65<br>66<br>67<br>68                   |
| 図図図図図図図図図図図図                          | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56                         | KPI 目標を達成した事業の割合 (「取り組むべきこと」の実施数別)  KPI 目標を達成した事業の割合 (効果検証の状況別)  KPI 目標を達成した事業の割合 (各効果検証のプロセスを実施有無)  KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別)  地方創生への効果認識の状況 (事業テーマ別)  地方創生への効果認識の状況 (参考、令和4年度調査結果)  地方創生への効果認識の状況 (施設の建設区分別の傾向)  地方創生への効果認識の状況 (事業費別の傾向)  地方創生への効果認識の状況 (事業費別の傾向)  地方創生への効果認識の状況 (「取り組むべきこと」の実施有無別)  地方創生への効果認識の状況 (「取り組むべきこと」の実施数別)  | 60<br>61<br>62<br>63<br>64<br>65<br>66<br>67<br>68<br>69             |
| 図図図図図図図図図図図図図                         | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57                 | KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施数別)  KPI 目標を達成した事業の割合(効果検証の状況別)  KPI 目標を達成した事業の割合(各効果検証のプロセスを実施有無).  KPI 目標を達成した事業の割合(財源確保の進捗状況別)  地方創生への効果認識の状況(事業テーマ別)  地方創生への効果認識の状況(参考、令和4年度調査結果)  地方創生への効果認識の状況(施設の建設区分別の傾向)  地方創生への効果認識の状況(事業費別の傾向)  地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施有無別)  地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施有無別)  地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施数別)  地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施数別)   | 60<br>61<br>62<br>63<br>64<br>65<br>66<br>67<br>68<br>69<br>70       |
| 図図図図図図図図図図図図図図                        | 2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59 | KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施数別) KPI 目標を達成した事業の割合(効果検証の状況別) KPI 目標を達成した事業の割合(各効果検証のプロセスを実施有無). KPI 目標を達成した事業の割合(財源確保の進捗状況別) 地方創生への効果認識の状況(事業テーマ別) 地方創生への効果認識の状況(参考、令和4年度調査結果) 地方創生への効果認識の状況(施設の建設区分別の傾向) 地方創生への効果認識の状況(事業費別の傾向) 地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施有無別) 地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施類別) 地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施数別) 地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施数別) 地方創生への効果認識の状況(効果検証の状況別) 地方創生への効果認識の状況(効果検証の状況別) 地方創生への効果認識の状況(効果検証の状況別) | 60<br>61<br>62<br>63<br>64<br>65<br>66<br>67<br>68<br>69<br>70<br>71 |

| 図表 | 2-62 | 交付金事業費及びそれに対する直接効果、間接波及効果73        |
|----|------|------------------------------------|
| 図表 | 2-63 | 経済波及効果の部門別内訳74                     |
| 図表 | 2-64 | 交付金事業費の付加価値効果(事業テーマ別)75            |
| 図表 | 2-65 | 交付金事業費の税収効果(事業テーマ別)75              |
| 図表 | 3-1  | 事業テーマ別事業数79                        |
| 図表 | 3-2  | 詳細調査における確認項目(前期)79                 |
| 図表 | 3-3  | 詳細調査における確認項目(後期)79                 |
| 図表 | 3-4  | 事前情報照会票(様式)(前期1枚目)80               |
| 図表 | 3-5  | 事前情報照会票(様式)(前期2枚目)81               |
| 図表 | 3-6  | 事前情報照会票(様式)(後期1枚目)82               |
| 図表 | 3-7  | 事前情報照会票(様式)(後期2枚目)83               |
| 図表 | 3-8  | 事前情報照会票(様式)(後期3枚目)84               |
| 図表 | 3-9  | ヒアリング調査の実施事例85                     |
| 図表 | 3-10 | 事業推進主体の属性×事業テーマ(前期)87              |
| 図表 | 3-11 | 事業推進主体の属性×事業テーマ(後期)88              |
| 図表 | 3-12 | 平均関与職員数及び外部人材の活用状況×事業テーマ(前期)89     |
| 図表 | 3-13 | 平均関与職員数及び外部人材の活用状況×事業テーマ(後期)90     |
| 図表 | 3-14 | 効果検証の実施状況(前期)91                    |
| 図表 | 3-15 | KPI の設定に当たり、取り組んだ工夫(後期)92          |
| 図表 | 3-16 | 事業の進捗管理指標としてのデータ活用有無(後期)93         |
| 図表 | 3-17 | 交付金事業費支出先の地域内訳94                   |
| 図表 | 3-18 | 交付金事業費支出先の地域内訳(事業テーマ別)95           |
| 図表 | 3-19 | 交付金事業費支出先の地域内訳(支払先業種別)95           |
| 図表 | 4-1  | 地方創生関係交付金事業の効果に対するポジティブ要因95        |
| 図表 | 4-2  | 「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえた 地方創生関係 |
| -  | 交付金  | 事業の効果に対するポジティブ要因の整理結果96            |
| 図表 | 4-3  | 統計情報を活用した事業の割合 (KPI 達成有無別) 98      |
| 図表 | 4-4  | 事業効果・自立化の見込み・自主財源等確保の状況(統計情報活用有無別) |
|    |      |                                    |
| 図表 | 4-5  | 自立化を見込んでいる事業の割合 (効果検証項目実施有無別) 100  |
| 図表 | 4-6  | 地方創生の効果認識・自立化の見込み・自主財源等確保・事業結果の公表状 |
| 1  | 況    |                                    |
| 図表 | 4-7  | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(連携主体別) 102    |
| 図表 | 4-8  | 自主財源等確保の状況(連携主体別)103               |
| 図表 | 4-9  | 地方公共団体の支援内容104                     |
| 図表 | 4-10 | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(支援項目実施有無別)105 |

| 図表 | 4-11 | 自立化を見込んでいる事業の割合(支援項目実施有無別)105       |
|----|------|-------------------------------------|
| 図表 | 4-12 | 事業の各段階における KPI の達成状況(外部人材活用有無別) 100 |
| 図表 | 4-13 | 事業の各段階における自主財源等確保の状況(外部人材活用有無別) 100 |
| 図表 | 4-14 | 住民への聴取を実施した割合 (KPI 達成有無別)107        |
| 図表 | 4-15 | 地方創生の効果認識・自立化の見込み・自主財源等確保の状況 107    |
| 図表 | 4-16 | 事業結果を公表した事業の割合 (KPI 達成有無別)108       |
| 図表 | 4-17 | 事業効果・自立化の見込み・自主財源等確保の状況108          |
| 図表 | 4-18 | KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(政策連携数別)109     |
| 図表 | 4-19 | 自主財源等確保の状況(政策連携数別)109               |
| 図表 | 5-1  | 事例集(様式)111                          |
| 図表 | 6-1  | フィードバック項目113                        |
| 図表 | 6-2  | 事業実施報告分析レポート (様式) (1 枚目) 115        |
| 図表 | 6-3  | 事業実施報告分析レポート (様式) (2 枚目) 116        |
| 図表 | 6-4  | 事業実施報告分析レポート (様式) (3 枚目) 117        |
| 図表 | 7-1  | 検討委員会開催概要119                        |

# 調査の背景・目的

国では、地方創生先行型交付金、地方創生加速化交付金、デジタル田園都市国家構想交付金 (旧地方創生推進交付金)(以下「推進タイプ」という。)、デジタル田園都市国家構想交付金 (旧地方創生拠点整備交付金)(以下「拠点整備タイプ」という。)などの交付金により、都道府県及び市区町村を支援してきている。

本調査は、平成 29 年度から令和 4 年度に実施した「地方創生拠点整備交付金事業の効果検証に関する調査」(令和 4 年度調査の報告書は令和 5 年 3 月公表。以下「令和 4 年度調査」という。)に引き続き、拠点整備タイプの効果検証を行うものである。拠点整備タイプは、「地方版総合戦略」に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの取組で、拠点整備タイプ交付金整備対象施設の施設整備計画書で申請のあった事業のうち、先導的なものを支援するものである。拠点整備タイプの効果検証を行うことで、地方創生に向けた先導的な事業における効果的な事業評価及び課題分析の手法をとりまとめ、デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生推進交付金及び旧地方創生拠点整備交付金)(以下「デジタル田園都市国家構想交付金」という。に関する優良事例の横展開、地方公共団体における新規事業の設計・立案、有益な効果検証につなげていくことを目的としている。

具体的には、令和4年度予算、令和3年度予算、令和3年度補正予算、令和2年度予算、令和2年度補正予算、不成30年度補正予算、平成29年度補正予算で措置された拠点整備タイプ(供用開始翌年度から5年間を対象)に関し、(I)事業別に設定された重要業績評価指標(以下「事業別 KPI」という。)の達成度、地方公共団体における議会・外部組織による効果検証の運用実態と結果、及び交付金事業全体の社会的・経済的効果を整理・分析することで事業の検証を行うとともに、(II)特徴的な事例や、事業推進上の課題・工夫等の収集・分析を行い、令和4年度に改訂した「地方創生事業実施のためのガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に反映する等を通じて事業運用の改善を図ることを目的とする。

なお、令和4年度当初予算により措置された推進タイプ事業、平成30年度から令和3年度予算で措置された推進タイプ事業のうち令和4年度にも継続する推進タイプ事業に関しても、同様の効果検証を実施しており、別途「デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生推進交付金)事業の効果検証に関する調査報告書」として取りまとめを行った。

# 第1章 事業実施報告(様式)の作成、送付・回収

### 1.1 事業実施報告(様式)の作成方針

拠点整備タイプの交付対象事業について、事業の目標達成状況等に関する分析を行う上 で必要な報告書の様式を作成した。

様式の作成に当たっては、令和 4 年度調査において使用された事業実施報告の様式を参 考とした上で、課題分類、取組分類、KPI の分類、自立化の状況、効果検証の実施内容に関 する設問を設けた。

事業実施報告の様式作成におけるポイントを以下に示す。

### 図表 1-1 事業実施報告の様式作成におけるポイント

## 事業実施報告の集計分析

### 1. 事業の 事業のプロセスにおいて実施した取組を整理。

### プロセスに ついて

- 事業の実施結果だけでなく実施プロセスに着目して分析を行うことで、事 業のプロセスで不足している取組を明らかにするため、ガイドラインを参 考に、拠点整備タイプ事業の実施に当たって「取り組むべきこと」の実施状 況及びその度合いと、事業計画への反映状況を把握した。
- 政策間連携や事業継続のための取組に関しては、連携した政策分野や地方 公共団体内の体制整備について把握した。
- 「取り組むべきこと」の実施状況と、後述する KPI 目標達成状況や地方創 生への効果認識との関係性を分析した。
- 政策立案段階における、各政策立案のプロセス別の実施状況を確認し、それ による事業に対する影響を把握した。

# 事業の効果 検証につい て

### 2. 交付金 地方公共団体での効果検証(担当者、議会、外部組織)の状況を整理。

- 地方公共団体は、事業実施に伴う効果について、重要業績評価指標を設定の 上、その達成度合いについてその効果を検証し、内閣総理大臣に報告するこ ととされている。そこで、地方公共団体における効果検証の状況を把握すべ く、議会による効果検証の有無、外部組織による効果検証結果(有効か否か の選択肢から選択)を把握した。また、効果検証の実施内容についても詳細 に分析した。
- 議会・外部組織の実施にとどまらず、効果検証プロセス別の実施状況を確認 し、各事業の効果検証の適切性及びその効果を把握した。

### 3. 交付金 自立化の進捗状況を整理。

# 事業の自立|● 性担保の進 捗について

事業実施計画に掲げた「自立化の見込み」や、令和4年度の事業実施を踏ま えた自立化の進捗状況、事業推進主体の属性(事業テーマ別)及び自立化に 向けた課題認識を把握した。

### 4. KPI の設 定状況につ いて

# 4. **KPI** の設 **KPI** を分類し、その傾向を分析。

- 事業実施報告の様式設計に際し、図表 1-2 を示しつつ、各事業で設定された 個々の KPI の意味付けが①インプット、②アウトプット、③交付金事業の アウトカム、④総合的なアウトカムのいずれに該当するかを問う設問を設けることで、KPI 設定のレベルの傾向・実態を明らかにした。
- 設定している KPI を人口増加関連指標、生産性向上関連指標、地域の魅力 向上関連指標及び地域経済活性化関連指標に分類し、設定や目標達成率の 傾向を明らかにした。

図表 1-2 KPI の意味付け

|           |   | 事業のアウトプット  | 事業のアウトカム   | 総合的なアウトカム  |
|-----------|---|--|--|--|
|           | 事業例   | 個別事業の活動量   | 個別事業の直接的な効果  | 諸事業・施策の全体効果  |
|           |   | (例)  | (例)  | (例)  |
| ローカル      | ○ 情報システム導入<br>(ICT, IoT等導入<br>促進)                               | • IT設備導入数、設備投<br>資額  | ・ 労働生産性がXX倍以上<br>達成の企業数                                    | <ul><li>地域における起業者数</li><li>地域における新規雇用者数</li></ul>            |
| イノベーション   | ○ 民間ノウハウ活用<br>(連携協定、人材交<br>流)                                   | <ul><li>プロフェッショナル人材の<br/>マッチング件数</li></ul>                   | <ul><li>本事業における成約件数</li><li>育成人材数</li></ul>                | ・ 地域における企業の売上 高  |
|           | <ul><li>○ 地域資源の活用/<br/>再注目</li></ul>                            | <ul><li>企業・プロジェクトの売上<br/>高</li><li>育成人材数</li></ul>           | • 移住者数(代表的KPI)   | <ul><li>地域における農林水産就<br/>労者数</li><li>地域における農林水産出</li></ul>    |
| 農林水産      | ○ 6次産業化支援<br>事業   | <ul><li>セミナー・研究会等のイベント参加者数</li></ul>                         | <ul> <li>支援事業を通じて開発・生産された産品の売上高・出荷額</li> </ul>             | 荷額   |
| 観光振興      | <ul><li>○ 地域プランド化<br/>(地域の魅力を活か<br/>した商品・サービス開<br/>発)</li></ul> | • 特産品·旅行商品開発<br>数  | <ul><li>宿泊者数</li><li>観光客数</li></ul>                        | <ul><li>地域における観光関連産業売上高</li><li>宿泊者数、日帰り観光客</li></ul>        |
|           | ○ 地域間連携(広域<br>連携による発信力向<br>上と多様なニーズの<br>取り込み)                   | • 特産品·旅行商品開発<br>数  | <ul><li>電動アシスト付自転車の週<br/>未利用件数</li></ul>                   | 数の増加に伴う消費の増加額  |
| 地方へのひとの流れ | <ul><li>○ 誰もが活躍できる<br/>「生涯活躍のまち」<br/>づくり事業</li></ul>            | <ul><li>地域住民・移住者への仕事紹介数</li></ul>                            | <ul> <li>新規就業者数(女性・高<br/>齢者・障がい者・移住者等<br/>を含む。)</li> </ul> | <ul><li>地域への移住者数</li><li>地域の転出入者数</li><li>地域の交流人口数</li></ul> |
| CCOME     | ○ 地域の交流拠点を<br>活用した「生涯活<br>躍のまち」づくり事<br>業                        | • 地域交流拠点の整備数   | <ul><li>地域交流拠点の利用者数<br/>(交流人口数)</li></ul>                  |  |
|           | <ul><li>○ 小さな拠点等の生<br/>活拠点整備事業</li></ul>                        | ・ 地域運営組織の形成数   | <ul><li>小さな拠点における店舗等の利用者数・売上高</li></ul>                    | <ul><li>地域の定住人口数(転出<br/>入数)</li></ul>                        |
| まちづくり     | ○ 民間ノウハウ活用<br>(連携協定、人材<br>交流)                                   | <ul> <li>利用者数(施設・設備<br/>利用者数、イベントなどの<br/>参加者数、など)</li> </ul> | • 観光客数   | <ul><li>地域の人口・世帯数</li><li>地域への転入者数</li></ul>                 |

### 5. **KPI**の目 <u>K</u> 標達成状況 ● について

### 5. KPIの目 KPIの目標達成状況を整理。

KPI 目標を達成した事業の数、目標値に達した KPI の数等を整理し、目標達成状況を分析した。なお、令和3年度以前からの継続事業については、令和4年度までの累積で分析した。

# 事業の地方

### 6. 交付金 交付金事業の地方創生への効果認識を調査。

- 創生への効 果について
- 交付金事業の地方創生への効果に関して、団体ごとに様々な分野・規模・前 提条件で実施される交付金事業を一律に横並びで比較できる客観的指標を 設定することは困難である。
- そのため、一部主観が入るものの、当事者である各地方公共団体に対して地 方創生への効果認識(非常に効果的であった/相当程度効果があった/効 果があった/効果がなかった/効果の有無はまだ分からない)を尋ねるこ とにより把握することとした。

# 事業を進め る中での課 題・苦労に ついて

### 7. 交付金 交付金事業を進める中での課題・苦労の有無を調査。

- 交付金事業を進める中での課題・苦労の有無、及び特に苦労した事項につい て、様式に以下の選択肢を例示することでその傾向・実態の把握を行った。
  - 事業推進体制の検討
  - 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成
  - ビジネスモデル・資金繰りの検討
  - 事業実施場所(施設・設備)の検討
  - 規制・許認可への対応
  - 庁内・組織内(幹部、事業担当課、財政課等)との調整・合意形成
  - 庁外・組織外(地域内・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成
  - 現場実態を踏まえた設計・工程等の見直し
  - 共同申請者との調整・合意形成
  - ▶ その他(例:予見できなかった外部環境変化が起こった 等)

# ロナウイル ス感染症を 踏まえた今 後の事業継 続について

### 8. 新型コ 地方公共団体における今後の事業展開の意向を調査。

事業実施の結果 (KPI 目標達成状況、地方創生への効果認識) が今後の事業 展開に与える影響を把握すべく、拠点整備タイプを活用して事業を行った 地方公共団体における今後の事業展開の意向(継続/発展/改善/縮小/ 中止/終了)を把握することとした。

### 拠点整備タイプ全体の効果の試算

# 析に基づく 経済波及効 果の試算

### 産業連関分 支払先業種別の支払金額を把握し、産業連関分析で経済波及効果を試算。

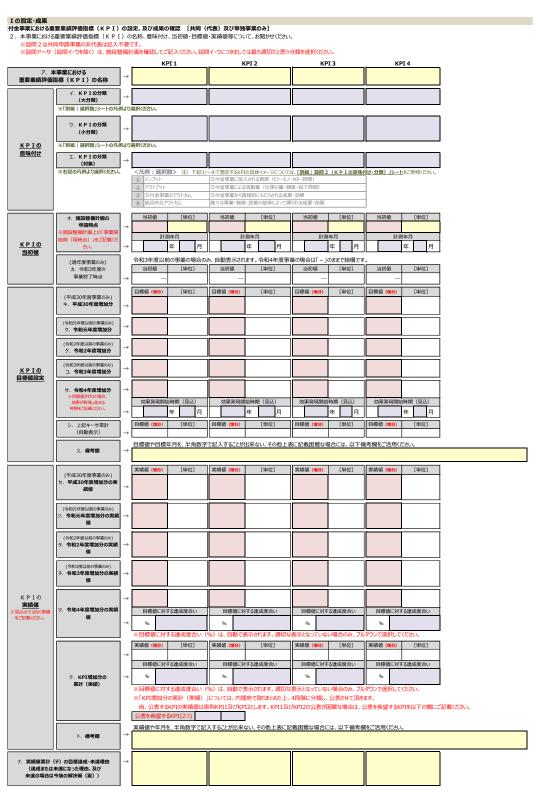
- 拠点整備タイプ事業全体の社会・経済効果分析の一環として、拠点整備タイ プ事業総体としての経済波及効果を産業連関分析により試算することとし た。
- そこで、事業実施報告の様式に、総額としての「実績額」に加え、支払先の 部門ごとの支払金額の記入を求め、この値を産業連関分析のインプット情 報として活用した。

上記を踏まえて作成した事業実施報告の様式は以下の通り。

# 図表 1-3 事業実施報告(様式)(1枚目)

| 事業実施期間 主たる施設の<br>区分            |
|--------------------------------|
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
| 表示(記載不要)                       |
| 国費実績額 [単位:円]                   |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
|                                |
| D現時点での供用は見込んでおらず<br>共用を開始していない |
| 表示(記載<br>D合計<br>0              |

### 図表 1-4 事業実施報告(様式)(2 枚目)



### 図表 1-5 事業実施報告(様式)(3枚目)

### ○交付金事業の効果(地方創生への効果) [全員] 3. 本事業の効果について、お聞かせください。なお、共同申請事業の代表及び単独事業は、設問2のデ「目標値に対する達成度合い」の回答結果等を踏まえて総合的にご判断の上で、お選びください。 また、具体的にどのような点で事業の効果を感じたがこついて内容をご記載ください。その際、関連する業務やより上位の業務のKPIや結計指標に改善が認められるなど、効果が定量的 把握・示唆された場合、その内容もご記載ください。 事業効果の内容・詳細 < 凡例:選択肢> 所:金(のKPIが目標像を達成する以2、大いに定期が終われたみなせる場合 所:一部のKPIが目標像に選んコットたのの、認力点型が終われたみなせる場合 所: KPI算成状状況が大切かったの。実際技術が大型が指す。と流したみなせる場合 所: KPI算成状況が大切が大ちの。実際技術が大型を表しても前途で流したとなせる場合 所: KPIの実施的が開始所が必要化した。以1、(以2)物理しても前途で流したとはは、2塊ようなが 例: MPIが実施的が大型を表した。以1、(以2)物理しても前途で記載してはは、2塊ようなが 例: MPIが実施が大型を表した。 C. 自立性担保の進捗 ら「令和4年度事業」とは、施設整備そのものではなく、施設整備計画に記載された施設の活用方法等のことを指します。 注)これらの設問でいう「令和4年度事業」とは、施設整備そのものでは ○自立化の進捗状況 【全員】 4. 本事業の自立化に向けた見込みについて、お聞かせください。 4-1. 設問4で「あり(①)」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。 本事業終了の翌年度における。事業運営コスト(投資に係る支出は除く)に占める 事業収入の割合・一般財源の割合をそれぞれ概算でお聞かせください。 事業収入の割合 自立化の見込み 一般財源の割合 注)事業収入とは、事業の実施に伴って得られる収入(商品・サービスの売上、施設利用料、企 <凡例:選択肢> 業等からの協賛金など)を指します。 <凡例:選択肢> 1 10割またはそれ以上 4-2. <u>設例4で「あり(①)」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。</u>施設整備計画に記載された自立化の見込みは、当初の見込みだわりに進捗しているがについて、お遊び欠ださい。 また、財源の確保ができる目途が立っている・立っていない理由についてもご記載ください。 令和4年度事業を踏まえた自立化の進捗 < 凡例: 選択肢> ① 必要な自主財活 ② 必要額の一部を確保できる目処が立っている ③ 自主財源等を確保できる目処は立っていない 4-3. 設問4で「あり(①)」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。今後交付金対象事業期間が終了した後に事業を自立化していてにあたり、主となる事業推進主体の属性をご回答ください。 <凡例:選択肢> その他(下記に記載) 主となる事業推進主体の属性 ① 行政 ② 民間 ○自立化の課題 [全員] 5. 令和4年度事業を踏まえて、事業の自立化に向けて課題と感じていることを選択肢よりお選びださい。(最大3つ) 道沢いただいに課題の解決有無し、その解決方法、現状未解決の場合は解決案》を、可能な範囲で具体的にご記載ください。 また、解決策を検討するあたって参考とし、情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。(例:「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など ※「別紙」選択肢」シートの凡例より選択ください。 解決策(または解決案) 課題1 課題2 課題3 D. 事業の実施状況 事業実施時に留意した項目 「全員」 第末期時代日本以内(日 1 生年) 6. 貴団(材か事業)を実施するにあたって留意した項目について、実施有無を3段階評価の選択肢よりお遊びだされ、 また、各項目の取組内容について、「事業実施や事業計画に反映したか (反映した場合は「〇」) についても、お聞かせください。 注)各項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」総論 - 皿・事業化プロセス網に記載していますので、必要に応じてご参照にださい。 【事業アイデア・事業手法の検討段階】 事業実施や事業計画に 設問 3段階評価 凡例:選択肢> ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している 実に実施した イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している

反映したか (反映した場合は「〇」) エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部局や様々な分野の民間企業と連携している スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、複数の地域間で連携している 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している 関係者の役割・責任について明確化している 「事業アイテア・事業手法の検討段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「〇」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご配載ください。

# 図表 1-6 事業実施報告(様式)(4枚目)

| 事業  | 0具体化段階]  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
|-----|--|-----|----------------|------|--------|-------------------------|--------|-------------------------------------|
|     | <b>高発物</b>   |     | 3段階評価          |      |        | <凡例:                    | 選択肢>   | 事業実施や事業計画に<br>反映したか<br>(反映した場合は「〇」) |
| ケ.  | 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している                              |     |                |      |        |                         | 実施した   |                                     |
| ٦.  | 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している、または知見ある外部専門家から助言を受いる                           | けて  |                |      | ī      | ② 概ね事                   | E施した   |                                     |
| t.  |  |     |                |      | i      | ③ 実施し                   | ていない   |                                     |
| シ.  | 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している                                    |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| [ ] | 」<br>「業の具体化段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「〇」と回答した事項について、具体的(                     | に事業 | 実施や事業計画等に対し    | どのよ  | うに反映し  | たかご記載く                  | ださい。   |                                     |
|     |  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| 事業  | の実施・継続段階】  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
|     | 設問   |     | 3段階評価          |      |        | <凡例:                    | 選択肢>   | 事業実施や事業計画に<br>反映したか<br>(反映した場合は「〇」) |
| ス.  | 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている  |     |                |      |        | <ol> <li>確実に</li> </ol> | 実施した   |                                     |
| t.  | KPIの進捗について定期的に管理している   |     |                |      |        | ② 概ね乳                   | E施した   |                                     |
| У.  | 庁外に担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している                                      |     |                |      |        | ③ 実施し                   | ていない   |                                     |
| 9.  | 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する<br>感を醸成している                | 納得  |                |      |        |                         |        |                                     |
| チ.  | 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| 「事  | 「業の実施・継続段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「O」と回答した事項について、具体                          | 的に  | 事業実施や事業計画等に    | 対しど  | のように反  | 映したかご記                  | 載ください。 |                                     |
|     |  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| 事業  | の評価・改善段階】  |     | 1              |      |        |                         |        |                                     |
|     | 設問   |     | 3段階評価          |      |        | <凡例:                    | 選択肢>   | 事業実施や事業計画に<br>反映したか<br>(反映した場合は「〇」) |
| ツ.  | 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している  |     |                |      |        | <ol> <li>確実に</li> </ol> | 実施した   |                                     |
| ₹.  | KPIの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している  |     |                |      |        | (2) 概ね乳                 | E施した   |                                     |
| ١.  | 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している   |     |                |      |        | ③ 実施し                   | ていない   |                                     |
| t.  | 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している   |     |                |      | ] [    |                         |        |                                     |
| 「事  | ・<br>「業の評価・改善段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「〇」と回答した事項について、具体                     | 的に  | 事業実施や事業計画等に    | 対しど  | のように反  | 映したかご記                  | 載ください。 |                                     |
|     |  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| 間連扎 | [全員]   |     |                |      |        |                         |        |                                     |
|     | 団体が行っている政策間連携について、連携している分野をお選びください。(最大3つ)                                      |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| また  | と、政策間連携に関して、特に工夫した内容がある場合は併せてご記載ください。  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| L   | 連携している政策分野(最大3つ) 特に工夫した内容  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| 2   |  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
| 3   |  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
|     | ∠ □ 764 . \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\                                  |     |                |      |        |                         |        |                                     |
|     | <凡例:選択肢> <ul> <li>① 根林水産分野</li> <li>③ □-カルイノベーション分野</li> <li>⑤ 人材分野</li> </ul> | 7   | ワークライフバランスの実現等 | 9    | コンパクトシ | /ティ等                    |        |                                     |
|     | ② 観光分野 ④ 生涯活躍のまち分野 ⑥ 若者雇用対策  | 8   | 小さな拠点分野        | (10) | なし     |                         |        |                                     |

# 図表 1-7 事業実施報告(様式)(5枚目)

| ****                        | の方法   | ΓΦ   | 81   |   |   |  |  |  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
|-----------------------------|---|--|--|---|---|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|---|-----------|---|
|                             |   |  |  | 業)を立案する   | にあたって留意した項目   | 目について、お聞か  | vせください。 (○(;   | まいくつでも)  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
|                             |   | Р. II<br>V   | 対策のi<br>/-RES  | 企画立案に当た   | り、解決課題を発見<br>掲載されている政府i   | するため、統計情報  | 服(RESAS·   |  | ;  | t. 解決訓   | 課題0  | の選定にあたり   | )、その課題が行政  | が解決すべき訳  | 果題か確認  | を行った  |           |   |
|                             |   |  |  |   | め、定期的に現場には  | 赴いて、住民の意見  | 見を聞いた  |  | ;  |  |  |   | )、情報収集 (集(<br>など) を行った   | いへの参加、専  | 門誌や情   | 報誌の   |           |   |
|                             |   |  |  | 題の検討にあた<br>査を実施した   | り、地域の実態やニー  | ズの把握を目的と   | した現地   |  | =  | F. 政策 引<br>現地 初  |  |   | )、類似した取り組  | みを行っている目   | 自治体など  | <b>^</b> ∕0   |           |   |
|                             |   |  |  |   | り、地域の実態やニー<br>(または既存の結果の  |  | した   |  |  | 7. 政策引   | 手段の  | D選定にあたり   | )、有効性・経済性  | ・効率性の詳   | 細な検討を  | を行った  |           |   |
|                             |   |  |  |   | り、解決課題を発見す<br>たデータ(及びデータ  |  |  |  | TATに掲載されて  | いる政府総  | 統計等  | 等)を活用し  | た(KPIの設定や  | 検索を目的とし  | た活用を   | 除<) 」   |           |   |
|                             | =   | データ  | (及び  | データベース)の  | 活用有無  |  | 詳細(ウ・エ   | ・オでどのような   | なデータを活用し   | たか)  | :  | 活用方法(と  | でのようにデータを活   | 用したか)  |  |   |           |   |
|                             | <u>_</u>  |  | ₹.   | RESAS   |   |  |  |  |  |  | Į  |   |  |  |  |   |           |   |
|                             | Ļ   |  |  | V-RESAS   |   |  |  |  |  |  | Ļ  |   |  |  |  |   |           |   |
|                             | Ļ   | _  |  |   | 成されている政府統計  | 等  |  |  |  |  | Ļ  |   |  |  |  |   |           | 4 |
|                             | Ļ   | _  |  | オルタナティブデ  |   |  |  |  |  |  | Ļ  |   |  |  |  |   |           | 4 |
|                             | L   | _  |  |   | 自の統計調査やアンケー   |  |  |  |  |  | L  |   |  |  |  |   |           | _ |
| 3-2. 8                      | 事業の進  |  | 事業の  | )進捗状況を把   | いて、どのような手法を<br>握するための関係者の<br>態度の頻度で開催して   | D会合を定期的に   | 開催している。  |  |  |  |  | <ol> <li>1 1 7.</li> </ol>  | : 選択肢><br>)月に1回以上  | ③ 半年に1   | 回程度  |   |           |   |
|                             |   |  |  |   | 握するための客観的な<br>的な指標名、確認のも  |  |  |  | さして、モニタリンク   | している。  |  | 2 2.  | 3カ月に1回程度   | ④ 1年に1   | 回程度  |   |           |   |
|                             |   |  | 10/3 ×   | 具体的な  |   | 明夏、旧州 刀瓜に  | . JUIC . C BL #X \ //  | 確認の頻度  | ŧ  |  |  |   |  | 活用方法   | <u> </u>   |   |           |   |
|                             |   |  |  | 2411-24   | 78.00   |  |  | 12.40-19903  |  |  |  |   |  | 100 131 312  |  |   |           |   |
|                             |   |  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
|                             |   |  | その他  | の方法を採用し   | ている。※具体的な   | 方法について、下記  | 己にご記載ください  | •  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
|                             |   |  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
|                             |   |  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
| 3-3. j                      | 政策立案  | を行う  | 上で、  | 収集に困ってい   | る、または必要だが入  | 手できていないデー  | -タがあれば、ご記!   | 載ください。(  | 例:○○のデー  | タがあれば  | 00   | に活用できるが   | ため提供してほしい  | ١,, )  |  |   |           |   |
|                             |   |  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
|                             |   |  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
| 美実施                         | <b>体制</b> [ 1   | [員金  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
| ). 貴                        | 団体の事  | 業実   | 施体制  |   | せください。※その他を   |  |  |  | ėu.  | 9  | 9-1.   |   | る業務についてお   |  |  |   | I Charach | _ |
|                             |   |  |  | 組織体   | 刊   | 地方創  | 当職員配置状況 <br>例生専従職員   | 単位:人]  |  |  |  | 運営に係る発  | 務内容(下記より<br>注や物品調達等)   |  |  | さい※俊奴選  | 扒可)       |   |
|                             |   |  |  |   |   | 他業務  | その兼務職員   |  |  |  |  | 実施に係る相<br>ト等開催支担  |  |  |  |   |           |   |
|                             |   |  |  |   |   |  |  |  |  |  |  |   |  |  |  |   |           |   |
|                             | <凡例:  |  |  | SP1 +85/88  | 1   |  |  |  |  | 100  | 事業   | 者等の事業推  | 進主体への職員:   | 派遣   | F 7 ± +□   |   |           |   |
|                             | <ol> <li>1</li> <li>2</li> <li>1</li> </ol>   | 専門部3<br>全面担3   | 居(課・<br>当部署で   |   |   |  |  |  |  | 1  | 事業:<br>マーケ   | 者等の事業推  | チ支援や各種デー   | 派遣<br>タの提供等に係  | 系る支援   |   |           |   |
| P Links to                  | (1) (2) (1) (3) (4)   | 専門部3<br>全画担3<br>その他 (  | 居(課・<br>当部署で<br>(下記に)  |   |   |  |  |  |  | 1  | 事業:<br>マーケ   | 者等の事業推<br>ティングリサー:  | チ支援や各種デー   | 派遣 夕の提供等に係   | 系る支援   |   |           |   |
|                             | ① 章<br>② 章<br>③ 章<br>動の状況   | 専門部科<br>全面担!<br>その他 (  | 居(課・<br>当部署で<br>(下記に)  | :対応<br>状況を記載)   | 分(産・学・金・労・  | ≣・士・その他)ご  | とにお選びください  | 。※その他のホ  | 場合は、自由記  | a r  | 事業キマーケ   | 者等の事業指<br>ティングリサー:<br>3(下記に概  | チ支援や各種デー要を記載)  | 派遣<br>タの提供等に係  | 系る支援   |   |           |   |
|                             | ① 章<br>② 章<br>③ 章<br>動の状況   | 専門部科<br>全面担!<br>その他 (  | 居(課・<br>当部署で<br>(下記に)<br>員]<br>内容に   | :対応<br>状況を記載)   | 分(産・学・金・労・)   | 言・士・その他)ご<br>金融機関  |  | 。※その他の!  | 場合は、自由記言論界   | 載欄に詳細  | 事業キマーケ   | 者等の事業指<br>ティングリサー:<br>3(下記に概  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
|                             | ① 1<br>② 1<br>③ で<br><b>5の状況</b><br>民間との過   | 序門部科<br>全面担当<br>をの他 (全<br>重携の)   | 居(課・<br>当部署で<br>(下記に)<br>員]<br>内容に   | 対応<br>状況を記載)<br>ついて、下記区   |   |  |  |  |  | 載欄に詳細  | 事業キマーケ   | 者等の事業指<br>ティングリサー:<br>3 (下記に概:  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
|                             | ① 章<br>② 章<br>③ 章<br>動の状況   | 字門部科<br>全画担当<br>その他 (<br>全)<br>連携の解  | 居(課・<br>当部署で<br>(下記は<br>員]<br>内容に  | 対応<br>状況を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界  | 大学  | 金融機関   | 労優   |  |  | 載欄に詳細  | 事業を  | 者等の事業指<br>ティングリサー:<br>3 (下記に概:  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
|                             | ① 1<br>② 1<br>③ で<br><b>5の状況</b><br>民間との過   | 専門部科<br>全画担当<br>その他 (全<br>連携の)   | 居(課・当部署で(下記に)  | 対応<br>状況を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域  | 大学 びり団体等、地域の活   | 金融機関   | <b>労優</b>  |  |  | 載欄に詳細  | 事業を  | 者等の事業指<br>ティングリサー:<br>3 (下記に概:  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
|                             | ① 1<br>② 1<br>③ で<br><b>5の状況</b><br>民間との過   | 専門部科<br>全画担当<br>その他 (全<br>連携の)   | 居 (課・<br>当部署で<br>(下記に)<br>員]<br>内容(こ   | 対応<br>伏況を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢>   | 大学 づくり団体等、地域の活質団体との連携内容   | 金融機関性化に取り組む団体 ※複数ある場合は   | 労優を規定。<br>ま上位を選択   | <b>加</b>   | 言論界  | 載欄に詳細  | 事業を記せる。  | 者等の事業指<br>ティングリサー・<br>8(下記に概)<br>8載の上、ご記<br>士業  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
| 10. E                       | ① ② ② ② ③ ③ ③ ③ ⑤ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●   | 専門部科<br>全画担!<br>(全)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を   | 居 (課・<br>当部署で<br>(下記は<br><b>員]</b><br>内容(こ<br>く凡例  | 対応<br>状況を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢>   | 大学  ブ(り団体等、地域の活  貴団体との連携内容  面 ② 臨議会への   | 金融機関 性化に取り組む団体 ※複数ある場合は が参加 3  | 参照定。 ま上位を選択  個別相談・打合せの   | 加団体 シア東原   |  | 載欄に詳細  | 事業を記せる。  | 者等の事業指<br>ティングリサー:<br>3 (下記に概:  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
| IO. E                       | ① ② ② ② ③ ③ ③ ③ ⑤ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●   | 専門部科<br>全画担!<br>(全)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を)<br>(を   | 居 (課・<br>当部署で<br>(下記は<br><b>員]</b><br>内容(こ<br>く凡例  | 対応<br>状況を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢>   | 大学 づくり団体等、地域の活質団体との連携内容   | 金融機関 性化に取り組む団体 ※複数ある場合は が参加 3  | 参照定。 ま上位を選択  個別相談・打合せの   | 加団体 シア東原   | 言論界  | 載欄に詳細  | 事業を記せる。  | 者等の事業指<br>ティングリサー・<br>8(下記に概)<br>8載の上、ご記<br>士業  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
| 10. [                       | (1) (2) (3) であれば、 (3) であれば、 (4) では、 (4) では、 (4) であれば、 (4) では、 (4) | 専門部4年の他 (全国担当の) (全国担当 (全国担当 (全国担当 (全国担当 (会国主) (全国主)  | 居 (課・<br>当部署で<br>(下記は<br><b>員]</b><br>内容(こ<br>く凡例  | 対応<br>状況を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢>   | 大学  ブ(り団体等、地域の活  貴団体との連携内容  面 ② 臨議会への   | 金融機関 性化に取り組む団体 ※複数ある場合は が参加 3  | 参照定。 ま上位を選択  個別相談・打合せの   | 加団体 シア東原   | 言論界  | 載欄に詳細  | 事業を記せる。  | 者等の事業指<br>ティングリサー・<br>8(下記に概)<br>8載の上、ご記<br>士業  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
| 0. 頁 0-1.                   | (1) (2) (3) であれば、 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)   | 専門部は<br>全面担当<br>(全主機の配)<br>(全主機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本他の配)<br>(本他の配)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他  | E (課・当部署で (下記に) (下記に) 日  | 対応<br>対決改を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢><br>事業主体として約<br>る外部団体・人   | 大学  プ(7)団体等、地域の活<br>質団体との連携内容  画 ② 図場会へ  材がいれば、事業推進   | 金融機関 性化に取り組む団体 学 ※権数ある場合は 参加 ③ 住に当たって果たし   | 労優を規定。<br>ま上位を選択<br>個別相談・打合せの<br>た役割についてご  | が団体<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・ | 言論界  | 載欄に詳細  | 事業を記せる。  | 者等の事業指<br>ティングリサー・<br>8(下記に概)<br>8載の上、ご記<br>士業  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
| 0. 頁 0-1.                   | (1) (2) (3) であれば、 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)   | 専門部は<br>全面担当<br>(全主機の配)<br>(全主機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本他の配)<br>(本他の配)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他)<br>(本他  | E(課・当部署ででは、<br>(下記には<br>同)<br>内内容(こ<br>く凡例<br>①  | 対応<br>対決改を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢><br>事業主体として約<br>る外部団体・人   | 大学    (2)   日本中   日本   日本   | 金融機関 性化に取り組む団体 学 ※権数ある場合は 参加 ③ 住に当たって果たし   | 労優を規定。<br>ま上位を選択<br>個別相談・打合せの<br>た役割についてご  | が団体<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・ | 言論界  | 載欄に詳細  | 事業を記せる。  | 者等の事業指<br>ティングリサー・<br>8(下記に概)<br>8載の上、ご記<br>士業  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
| 10. 頁                       | (1) (2) (3) であれば、 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)   | 専門部は<br>全面担当<br>(全主機の配)<br>(全主機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本機の配)<br>(本 他)<br>(本 e)<br>(本 e)<br>(a)<br>(a)<br>(a)<br>(a)<br>(a)<br>(a)<br>(a)<br>(a)<br>(a)<br>(a   | E(課・当部署ででは、<br>(下記には<br>同)<br>内内容(こ<br>く凡例<br>①  | 対応<br>対策を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢><br>甲葉主体として動<br>る外部団体・人  | 大学    次切倒体等、地域の活動  回体との連携内容    国  | 金融機関 住化に取り組む団体 学 ※権敵ある場合は かか加 ③ 建に当たって果たし  | 労優を規定。<br>ま上位を選択<br>個別相談・打合せの<br>た役割についてご  | 加団体  の実施  記載ください。  | 言論界  | 載欄に詳細  | 事業を記せる。  | 者等の事業指<br>ティングリサー・<br>8(下記に概)<br>8載の上、ご記<br>士業  | チ支援や各種デー要を記載)  | 夕の提供等に信  | 系る支援   |   |           |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | (1) (2) (3) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5  | 専門部は全面相当 (全面相当 ) (全面和于 ) (是面和于 ) (是面 | E(課・当部署で<br>(下記は)<br>員内容に<br>く、「、「、」<br>・「、」<br>・「、」<br>・「、」<br>・「、」<br>・「、」<br>・「、」<br>・「、  | 対応<br>対応を記載)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>: 選択肢><br>事業主化して参<br>有適者等会議<br>の公表有無<br>有適者等会議  | 大学    大学  | 金融機関 住化に取り組む団体 等 ※複数ある場合は が約 ③ 住作当たって果たし 公表しているがどう た (凡例: 選択肢)>  | 労権 は要求。 ま上位を選択 の即相談・打合せる の即相談・打合せる のの相談・打合せる と ので、お聞か と ので、お聞か と ので、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                     | 加州体  シーズボ  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                       | <ul><li>言論界</li><li>(4) その他</li></ul>  | 数欄に詳細  | 事業等マーケースの他 田田を記 (5)  | 番等の事業指<br>ティンフリサー<br>ティンフリサー<br>ティンフリー<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 受援や各種デー要を記載)  ・教化さい。  ・本の他=min   | 9の提供等に自  |  |   |           |   |
| 0-1. 3 2 2. 2               | (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4  | 専門部は全面他 (全面性) (是面性) (全面性) (是面性) (是 | E(課・当部署で<br>(下記記)<br>同]<br>内容に<br>上)その例<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 対応<br>状況を足動)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOで地域<br>:選択肢><br>事業主化して参<br>有識者等会議<br>の公表有無<br>有識者等会議<br>本事業を議題   | 大学  「び回体等、地域の活動」  「関団体との連携内容  「関団体との連携内容  材がいれば、事業推動  「対象を地域住民に  「いる。」  「いる。」 「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」 | 金融機関<br>性化に取引自己団体<br>等 ※複数ある場合<br>かか加 3<br>生化当たって果たし<br>公表しているかどうた<br>公表しているかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかといるかといるかといるかといるが<br>なるといるかといるかといるかといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるといるが<br>なるといるといるといると<br>なると<br>なると<br>なると<br>なると<br>なると<br>なる<br>なると<br>なる<br>な<br>なる<br>な   | 労権 は要求。 ま上位を選択 の即相談・打合せる の即相談・打合せる のの相談・打合せる と ので、お聞か と ので、お聞か と ので、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                     | 加州体  シーズボ  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                       | <ul><li>言論界</li><li>(4) その他</li></ul>  | 数欄に詳細  | 事業等マーケースの他 田田を記 (5)  | 番等の事業指<br>ティンフリサー<br>ティンフリサー<br>ティンフリー<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 受援や各種デー要を記載)  ・教化さい。  ・本の他=min   | 9の提供等に自  |  |   |           |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 道<br>連携内内<br>特に事業<br>な本事業のが<br>く会議形<br>くの表現   | 専門部は全面相当を表現しています。  | E(課・当部署で<br>(下記記)<br>同]<br>内容に<br>上)その例<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 計的<br>対比<br>対比<br>対比<br>対比<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が<br>が  | 大学    大学  | 金融機関<br>性化に取引自己団体<br>等 ※複数ある場合<br>かか加 3<br>生化当たって果たし<br>公表しているかどうた<br>公表しているかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかどうた<br>なるといるかといるかといるかといるかといるが<br>なるといるかといるかといるかといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるが<br>なるといるといるが<br>なるといるといるといると<br>なると<br>なると<br>なると<br>なると<br>なると<br>なる<br>なると<br>なる<br>な<br>なる<br>な   | 労権 は定 は上位を選択 のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる について、 を検討についてご ないた のいた のいた のいて、 のいた | 加団体 シ実施 記載ください。 せください。 が対象的ならびい内容や結果                                 | <ul><li>(4) ₹の他</li><li>(4) ₹の他</li><li>(5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4</li></ul> | 数欄に詳細  | 事業者の他  | 番等の事業指<br>ティンフリサー<br>ティンフリサー<br>ティンフリー<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 受援や各種デー要を記載)  ・教化さい。  ・本の他=min   | 9の提供等に自  | )  |   |           |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 電標の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の  | 専門部刊<br>全画相別 (全) (全) (全) (全) (全) (主) (主) (主) (主) (主) (主) (主) (主) (主) (主  | 居(課・当部署では下記には<br>(下記には<br>) 「下記には<br>(下記には<br>) 「下記には<br>(下記には<br>) 「下記には<br>(下記には<br>) 「下記には<br>(下記には<br>) 「下記には<br>(下記には<br>) 「下記には<br>(下記には<br>) 「下記には<br>) 「下記に<br>) 「こ<br>) 「下記に<br>) 「こ<br>) 「こ<br>) 「<br>) 「<br>) 「<br>) 「<br>) 「<br>) 「<br>) 「<br>) 「<br>) 「<br>) 「  | 計的の<br>対決で表現の<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢><br>事業主体してが<br>合外部団体・人<br>有識者等会議と<br>の公表有無<br>「再識者等会議と<br>事業を議題<br>無事業と<br>を表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>のののの表現する。<br>のののののののののののののののののののののののののののののののののののの   | 大学  「び回体等、地域の活動」  「関団体との連携内容  「関団体との連携内容  材がいれば、事業推動  「対象を地域住民に  「いる。」  「いる。」 「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」  「いる。」 | 金融機関  住化工町の間の団体  実施取る場合は  実施取る場合は  建に当たって果た  にへの形で  に発しているがで  が、近れいる  関知しているかで  が、近れいる  関知しているかで  が、近れいる  別知しているかで  が、近れいる  「おんだいるかで  」  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  」  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  」  「おんだいる  「またいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「ま | 労権 は要求。 ま上位を選択 の即相談・打合せる の即相談・打合せる のの相談・打合せる と ので、お聞か と ので、お聞か と ので、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                     | 加団体 シ実施 記載ください。 せください。 が対象的ならびい内容や結果                                 | 言論界<br>(4) その他<br>(4) その他<br>に事業開始後に<br>定事業開始後に<br>発信のできる。                                   | BILITE TO THE TOTAL THE TOTAL TO THE TOTAL THE TOTAL TO THE TOTAL TH | 事業 (s) (s) (s) (x) (x) (x) (x) (x) (x) (x) (x) (x) (x  | 著等の事業推  「ティングリサー」  「下記に概  「下記に概  大学  「大学  「大学  「大学  「大学  「大学  「大学  「大学  | 受援や各種デー要を記載)  ・教化さい。  ・本の他=min   | タの提供等に f   | )  | <b>労製者数 (/</b>  | )         |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 電標の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の  | 専門部刊<br>全面相別   | 居 (課・当部署で (下配に ) 日  | 計的の<br>対決で表現の<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢><br>事業主体してが<br>合外部団体・人<br>有識者等会議と<br>の公表有無<br>「再識者等会議と<br>事業を議題<br>無事業と<br>を表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>のの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>ののの表現する。<br>のののの表現する。<br>のののののののののののののののののののののののののののののののののののの   | 大学  スク語体等、地域の活 質団体との連携や高 質団体との連携や高 の結果を地域住民に の結果を地域住民に として取り上がため。 対面・オンラインを関  | 金融機関  住化工町の間の団体  実施取る場合は  実施取る場合は  建に当たって果た  にへの形で  に発しているがで  が、近れいる  関知しているかで  が、近れいる  関知しているかで  が、近れいる  別知しているかで  が、近れいる  「おんだいるかで  」  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  」  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  」  「おんだいる  「またいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「おんだいる  「ま | 労権 は定 は上位を選択 のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる について、 を検討についてご ないた のいた のいた のいて、 のいた | 加団体 シ実施 記載ください。 せください。 が対象的ならびい内容や結果                                 | 言論界<br>(4) その他<br>(4) その他<br>に事業開始後に<br>定事業開始後に<br>発信のできる。                                   | 国により<br>はおける各手は<br>しているもの  | 事業である。   | 哲等の学業推     ティングリサー     B (下記に概     T 下記に概     T 下記に概     T 下記に概     T 下記に概     T 下記に概     T 下記に概  | 受援や各種デー<br>要を記載)<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・  | タの提供等に f   | )  | 旁観者故(ノ  | )         |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 電標の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の  | 専門部間 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)   | 居(課・当部署では「下記には「下記には「下記には「下記には」「下記には「下記には」」  「買」  「下記には」  「下記には」  「下記には」  「「「」  「「」  「「」  「「」  「「」  「「」  「「」  | 対応<br>対決を記載<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>:選択肢><br>事業主体してが<br>与識者等会議<br>通名等会議<br>の公表有無<br>与識者等会議<br>がある。<br>10の公表有無<br>りの公表有無<br>りの公表有無<br>りの公表有無<br>りの公表有無<br>のの表表を議題<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表表を表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの。<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの表述<br>のの。<br>のの表述<br>のの表述<br>のの。<br>のの表述<br>のの。<br>のの表述<br>のの表述<br>のの。<br>のの表述<br>のの。<br>のの。<br>のの。<br>のの。<br>のの。<br>のの。<br>のの。<br>のの   | 大学  スク語体等、地域の活 質団体との連携や高 質団体との連携や高 の結果を地域住民に の結果を地域住民に として取り上がため。 対面・オンラインを関  | 金融機関  正化工町の間の団体  三 ※根面ある場合は  建に当たって果たし  記表しているがつか。  は、一般では、一般では、  に、一般では、  に、一般では、 | 労権 は定 は上位を選択 のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる について、 を検討についてご ないた のいた のいた のいて、 のいた | 加団体  記載ください。  記載ください。  は  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の         | 言論界<br>(4) その他<br>(4) その他<br>に事業開始後に<br>定事業開始後に<br>発信のできる。                                   | 国に<br>に詳細<br>おける各手の<br>しているもの<br>事業開始  | 事業である。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 著等の事業指 テスクリサー 3 (下記に概)  | 受援や各種デー<br>要を記載)<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・  | (○はいくつでも   | )  | 旁観者数(/  | 裁         |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 電標の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の  | 専門部間を回動しています。  | 居(課・管でに<br>(学・管では、下記には、下記には、下記には、下記には、下記には、下記には、下記には、下記に   | 対応  | 大学  スク語体等、地域の活 質団体との連携や高 質団体との連携や高 の結果を地域住民に の結果を地域住民に として取り上がため。 対面・オンラインを関  | 金融機関  正化工の組む図件  実施表を場合は  建在当たって果たし  と表しているかどうた  た利用・選邦後  立表しているかどうた  な格解解体形式の  即ない  (回)  | 労権 は定 は上位を選択 のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる について、 を検討についてご ないた のいた のいた のいて、 のいた | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 言論界<br>(4) その他<br>(4) その他<br>に事業開始後に<br>定事業開始後に<br>発信のできる。                                   | おける各手の実施を表現に対象を表現しているものである。  | 事業である。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  |   | 受援や各種デー<br>要を記載)<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・  | (○はいくつでも<br>(回)<br>(回)                               | )  | 旁観者数(人  | 裁         |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 電標の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の  | 専門部間を回動しています。 「全国を関する 「全国を関する」 「一個のできません。 「一個のできません。」 「一個のできまません。」 「一個のできません。」 「一個のできまません。」 「一個のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま  | 居(課・語の) 日本   | 対応  | 大学  スク語体等、地域の活 質団体との連携や高 質団体との連携や高 の結果を地域住民に の結果を地域住民に として取り上がため。 対面・オンラインを関  | 金融機関  正化工の間も団体 等 ※複数ある場合は 等 ※複数ある場合は を ※複数を場合は の   | 労権 は定 は上位を選択 のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる について、 を検討についてご ないた のいた のいた のいて、 のいた | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 言論界<br>(4) その他<br>(4) その他<br>に事業開始後に<br>定事業開始後に<br>発信のできる。                                   | おける各手の実施を表現に対象を表現しているものである。  | 事で一ク他を記しています。 「会」を行っています。 「会」を行っています。 「会」を行っています。 「会」を行っています。 「会」を行っています。 「会」を行っています。 「会」を行っています。 「会」を行っています。 「会」を行っています。 「会」を行うます。 「会」を行うまするます。 「会」を行うます。 「会」を行うまするます。 「会」を行うまするまするます。 「会」を行うまするまするまするまするまするま | 著等の事業指 テスクリサー (ア・ロー・ | 受援や各種デー<br>要を記載)<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・  | (Oはいくつでも<br>(回) 回                                    | )  | 旁観者数(/  | 裁         |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | (国)   | 専門部<br>を全の他<br>全の他<br>全の他<br>全の他<br>全の他<br>全の他<br>全の他<br>全の他   | 居(課・日本) 日本   | 対応<br>対決を記測<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他: NPOで地域<br>: 選択肢><br>・選択肢><br>・選択肢><br>一の公表有無<br>「調査者等会議題<br>事本事式〉<br>シップ<br>のの表表有無<br>リの公表有無<br>リの公表有無<br>リの公表有無<br>リークショップ<br>を表説的会会<br>検説明会<br>を表述を表述し、   | 大学  スク部体等、影響の活動を対していません。 関ロがない。 対力がいれば、事業権対  対力がれば、事業権対  の結果を地域住民に定  にして取り上げため、 対面・オンラインを関  素精開催数   | 金融機関  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 労権 は定 は上位を選択 のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる のの相談・打合せる について、 を検討についてご ないた のいた のいた のいて、 のいた | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 高論界  4 その他 <b>左事業開始後</b> に  「  |  | 事マーケの他  「会社を表現しています」  「会社を表現しています。」  | 著等の事業指 テスクリサー (ア・ロー・ | 受援や各種デー<br>要を記載)<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・  | (のはいくつでも<br>(回) ロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ | )  | 旁観者数(人び場合の対   | 裁         |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 3 に 2 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3   | 専門部語 (中国 ) | 居(課・日本) 日本   | 対応  | 大学  「大学」  「大学  「大学  | 金融機関  正化、取削し団体  実施費を場合して  実施費を場合して  変施しているかどうか。  主を当たって  実たしているかどうか。  ないるしているかどうかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらか   | 労養  を がまた。  また位達服  の別相限・打合性の  の別相限・打合性の  について、お聞か  だついて、お聞か  について、事業機 場合は、本事業の  実務情勢着数  を できたいる。                             | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   | はUITITE を表現を表現しています。 またま おける をきたしている たいましている たいまいま エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エ  | 事マーケの他を記しています。またのでは、「多年のでは、「今には、「多年のでは、「今日のでは、「今には、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、「今日のでは、 | 著等の事業指 テスピクリサー 3 (下記に概) 3 (下記に概) ま (下記に概)  | 受援や各種デー要を記載)  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | (Oはいくつでも<br>(回) 回<br>(回) ロ<br>(回) ロ                  | 架積電  | 旁観者数(人  | 裁         |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 3 に 2 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3   | 専門部項目を使用できた。   | 居 (課・語・書で は ) 日 (課・語・書で ) 日 (課・語・書で ) 日 (課・語・書で ) 日 (日 )   | 計形が<br>対決をを開<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや地域<br>: 選択肢><br>事業主体して参<br>有為の公表有<br>有本事業を減壊<br>利の公表有<br>りの一のショップ<br>へいたいた。<br>ショップ<br>へいたいた。<br>のは、<br>のは、<br>のは、<br>のは、<br>のは、<br>のは、<br>のは、<br>のは、   | 大学  スク部体等、影響の活動を対していません。 関ロがなりが表現を地域住民によっています。  本語集を地域住民によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を表によっています。  本語集を述るまする。  本語集を表によっていまする。  本語を表によっていまする。  本語を表によるままる。  本語を表によっていまする。  本語を表によるまする。  本語を表によるままるる。  本語を表によるままるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる  | 金融機関  は代と取り回り回体  ・ 実際ある場合は  ・ 実際ある場合は  ・ 実際ある場合は  ・ 実際があります。  ・ ままれた  ・ ままれたた  ・ ままれた  ・ ままれたた  ・ ままれた  ・ ままれた  ・ ままれた  ・ ままれたた  ・ ままれた  ・ ままれたた  ・ ままれたたる  ・ ままれたたまれた  ・ ままれたたる  ・ ままれたたる  ・ ままれたたる  ・ ままれたたる  ・ ままれたたる  ・ ままれたたる   | 労養  を がまた。  また位達服  の別相限・打合性の  の別相限・打合性の  について、お聞か  だついて、お聞か  について、事業機 場合は、本事業の  実務情勢着数  を できたいる。                             | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   | はいては、<br>はおける各もにしているもの。<br>「くった」では、<br>「くった」では、<br>「くった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった」では、<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「こった。<br>「<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。<br>「。   | 事実である。   | 著等の事業指 テスクリサー (7) 「不記に概 (8) 「不記に概 (7) 「不記に概 (7) 「不記 (8) 「不 (8 | 学規や各種デー要を記載)  一般の他の自由  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「はいった」である。  「はいった」ではいった。  「はいった」ではいった。 「はいった。 「 | (の)              | 架積電  | 旁観者数(ノ  | 裁         |   |
| 0-1. 3 2 2. 2               | 3 に 2 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3   | 専門部部 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)   | 居 (課・語・書で ) 日 (課・語・書で ) 日 (課・語・書で ) 日 (課・語・書で ) 日 (日 ) 日   | 対応  | 大学  スク部体等、影響の活動を対していません。 関ロがなりが表現を地域住民によっています。  本語集を地域住民によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を表によっています。  本語集を述るまする。  本語集を表によっていまする。  本語を表によっていまする。  本語を表によるままる。  本語を表によっていまする。  本語を表によるまする。  本語を表によるままるる。  本語を表によるままるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる  | 金融機関  正化、取削し団体  実施費を場合して  実施費を場合して  変施しているかどうか。  主を当たって  実たしているかどうか。  ないるしているかどうかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらかがらか   | 労養  を がまた。  また位達服  の別相限・打合性の  の別相限・打合性の  について、お聞か  だついて、お聞か  について、事業機 場合は、本事業の  実務情勢着数  を できたいる。                             | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   | はUITITE を表現を表現しています。 またま おける をきたしている たいましている たいまいま エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エ  | 事実である。 「多ない」では、 「おおいます」では、 「おいます」では、 「まれます」では、 「まれます」では、 「まれまます」では、 「まれまますます」では、 「まれまます」では、 「まれまますます」では、 「まれままます」では、 「まれままます」では、 「まれままます」では、 「まれままます」では、 「まれままままままます。」 「まれままままままままままままままままままままままままままままままままままま   |   | 学規や各種デー要を記載)  一般の他の自由  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「はいった」である。  「はいった」ではいった。  「はいった」ではいった。 「はいった。 「 | (Oはいくつでも<br>(回) 回<br>(回) ロ<br>(回) ロ                  | 架積電  | 傍観者数 (J   | 裁         |   |
| 0-1. 3 2 2. 2               | 3 に 2 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3   | 界門部部 (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)   | 居(選・<br>・  | 計的  | 大学  スク部体等、影響の活動を対していません。 関ロがなりが表現を地域住民によっています。  本語集を地域住民によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を地域性を表によっています。  本語集を表によっています。  本語集を述るまする。  本語集を表によっていまする。  本語を表によっていまする。  本語を表によるままる。  本語を表によっていまする。  本語を表によるまする。  本語を表によるままるる。  本語を表によるままるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる  | 金融機関  正化工町の組む間件  実施電声を場合は  実施電声を場合は  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換   | 労養  を がまた。  また位達服  の別相限・打合性の  の別相限・打合性の  について、お聞か  だついて、お聞か  について、事業機 場合は、本事業の  実務情勢着数  を できたいる。                             | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   | はいていています。<br>はいているものます。<br>はいているものまから、このでは、または、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので  | 事実である。 「多ない」では、 「おおいます」では、 「おいます」では、 「まれます」では、 「まれます」では、 「まれまます」では、 「まれまますます」では、 「まれまます」では、 「まれまますます」では、 「まれままます」では、 「まれままます」では、 「まれままます」では、 「まれままます」では、 「まれままままままます。」 「まれままままままままままままままままままままままままままままままままままま   |   | 学規や各種デー要を記載)  一般の他の自由  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「なった」である。  「はいった」である。  「はいった」ではいった。  「はいった」ではいった。 「はいった。 「 | (○はいくつでも   | 架積等 化电子 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基 | 旁観者数(//<br>が記さい。<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・ | 裁         |   |
| 10. 頁 10-1. 11. 2           | 3 に 2 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3   | 界門部科 全面担当 で  | 屋(ほう)<br>を受けています。<br>に下記のは<br>に下記のは<br>に下記のは<br>に下記のは<br>の外<br>に下記のは<br>の外<br>に下記のは<br>の外<br>に下記のは<br>の外<br>に下記のは<br>の外<br>に下記のは<br>の外<br>に下記のは<br>の外<br>に下記のは<br>のから<br>に下記のは<br>のから<br>にている。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にいる。<br>にい | 対応  | 大学  「大学」  「大学  「大学  | 金融機関  正化工町の組む間件  実施電声を場合は  実施電声を場合は  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換   | 労働 会想主。 また位達駅  の別相談・打合せる  の別相談・打合せる  大役割についてご  大役割について、お開か  第一次表している  素積傍観者数  素積傍観者数  素積傍観者数                                 | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   | はいていています。<br>はいているものます。<br>はいているものまから、このでは、または、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので  | 事実である。 「「「「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」  | 著等の事業指<br>ティングリサー<br>18 (下記に概) まで、こで、こで、こで、主要を表現して、こので、主要を表現して、こので、主要を表現して、こので、主要を表現して、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので  | 受援や各種デー 変を記載)  一般の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他  | (○はいくつでも   | 架積等 化电子 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基 | している場合のみ1   | 裁         |   |
| 0-1. 3 2 2. 2               | 3 に 2 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3   | 界門部科 全面担当 で  | 屋(ほう)<br>(関連)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下間)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面)<br>(下面 | 対応  | 大学  「大学」  「大学  「大学  | 金融機関  正化工町の組む間件  実施電声を場合は  実施電声を場合は  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換   | 労働 会想主。 また位達駅  の別相談・打合せる  の別相談・打合せる  大役割についてご  大役割について、お開か  第一次表している  素積傍観者数  素積傍観者数  素積傍観者数                                 | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   |  | 事学である。 「多ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない  | 著等の事業指<br>デスクリサー<br>18 (下記に概) ま (下記に概)   | 受援や各種デー 変を記載)  一般の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他  | (○はいくつでも   | 架積等 化电子 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基 | している場合のみ1   | 裁         |   |
| 0-1. 3 2 2. 2               | 3 に 2 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3   | 界門部門 全面網門 全面網 学 一  | 居(漢字できば下記の音)下の例と、 (3) する (4) の外 結集 部は、会論・解実 ア・イ・ウェ・は、開始・施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | 計成<br>(大学を足削)<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOや問題<br>: 選択肢><br>事業主体としてか<br>与協名等会議の<br>同本事業を会議の<br>同本事業を会議の<br>をお討会会議の<br>に対しています。<br>同本事業を表しています。<br>同本事業を表しています。<br>同本事業を表しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>に対しています。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないまする。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないまする。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないまする。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないます。<br>にはないまする。<br>にはないます。<br>にはないまなないまなないまななななななななななななななななななななななななななな  | 大学  「大学」  「大学  「大学  | 金融機関  正化工町の組む間件  実施電声を場合は  実施電声を場合は  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換を  変換   | 労働 会想主。 また位達駅  の別相談・打合せる  の別相談・打合せる  大役割についてご  大役割について、お開か  第一次表している  素積傍観者数  素積傍観者数  素積傍観者数                                 | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   | おける各手が<br>おける名が<br>がしているが<br>のカース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・   | 事学での他を記しています。 「多ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない   | 著等の事業指<br>ディングリサー<br>8 (下記に概)  1 、  | 受援や各種デー 変を記載)  一般の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他  | (○はいくつでも   | 架積等 化电子 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基 | している場合のみ1   | 裁         |   |
| O. 自<br>の-1.<br>記理解<br>1. マ | 3 2 3 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5   | 界門部科学を副規制を副構造を記しています。  | 居(漢字でき) 「日本 日本 日  | 対応<br>対決でを限期<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOで地域<br>・選選手体としても<br>与協公表有無<br>高本事な式)。<br>ラム教会会議(<br>の公表者等業を表表<br>のの公表の会議を表す。<br>のの公表の会議を表す。<br>のの公表の会議を表す。<br>のの公表の会議を表す。<br>ののののである。<br>ののののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>のので。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>のので。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。 | 大学  「大学」  「大学  「大学  | 金融機関  正化工の配り図件  三 ※積取る場合は  三 ※積取る場合は  一  | 労権 と初定・ よと位当駅  「四別相談・打会せる 「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日  | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   | はは1212年  | 事学での他を記しています。 「多ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない   | 著等の事業指<br>ディングリサー<br>8 (下記に概)  1 、  | 受援や各種デー 変を記載)  一般の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他  | (○はいくつでも   | 架積等 化电子 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基 | している場合のみ1   | 裁         |   |
| O. 自<br>の-1.<br>記理解<br>1. マ | 3 2 3 3 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5   | 界門部科学を副規制を副構造を記しています。  | 居(漢字でき) 「日本 日本 日  | 対応<br>対決でを限期<br>ついて、下記区<br>産業界<br>他:NPOで地域<br>・選選手体としても<br>与協公表有無<br>高本事な式)。<br>ラム教会会議(<br>の公表者等業を表表<br>のの公表の会議を表す。<br>のの公表の会議を表す。<br>のの公表の会議を表す。<br>のの公表の会議を表す。<br>ののののである。<br>ののののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>のののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののである。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>のので。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>のので。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>ののでる。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。<br>のので。 | 大学  スク語体等、地域の活 質団体との連携外部  図 回議会へ  材がいれば、事業推対  がいれば、事業推対  がいれば、事業を地域住民にな  の結果を地域住民にな  の結果を地域住民によりにからい。 対面・オンラインを関  素積開催数  詳細(その他  該当ページ  フォロワー数:   | 金融機関  正化工の配り図件  三 ※積取る場合は  三 ※積取る場合は  一  | 労権 と初定・ よと位当駅  「四別相談・打会せる 「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日  | 加団体 記載ください。 記載がたさい。 は い の の の の の の の の の の の の の の の の の の          | 書論界<br>4 その他<br><b>に事業開始後</b> に<br>を定期的に発信   | Wild    | 事学での他を記しています。 「多ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない   | 著等の事業指<br>ディングリサー<br>8 (下記に概)  1 、  | 受援や各種デー 変を記載)  一般の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他の他  | (○はいくつでも   | 架積等 化电子 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基 | している場合のみ1   | 裁         |   |

# 図表 1-8 事業実施報告(様式)(6枚目)

| 会による効果検証の有無、及び外部組織に   | る効果検証の有無と本事業の   | 平価について、お聞かせください。   |                                 |  |
|---|---|--|---------------------------------|--|
| 議会による効果検証の有無  | 議会による   | る本事業の評価  |                                 | 議会からの事業に対するフィードバックがあれば、内容をご記載ください。   |
|   |   |  |                                 |  |
|   |   |  | 61.                             |  |
| 外部組織による効果検証の有無  | 外部組織に   | よる本事業の評価   | 外                               | 部組織からの事業に対するフィードバックがあれば、内容をご記載ください。  |
|   |   |  |                                 |  |
| <凡例:選択肢>  | <凡例:選択肢>  |  |                                 |  |
| <ol> <li>実施した</li> </ol>  |   | 成に有効であった、との意見  |                                 |  |
| ② 実施予定  | <ul><li>② 本事業の内容がKPIが</li></ul>   | 性成に有効とは言えない、との意見   |                                 |  |
| (3) 実施しない (予定)  |   |  |                                 |  |
| 設問13で議会または外部組織による効果   |   |  |                                 |  |
| 貴団体もしくは貴団体が効果検証を委託して  | いる団体が、効果検証を行うにあ   | あたって実施した項目について、お聞かせくだる   | さい。(○はい                         | (つでも)  |
| ア. 事業の状況及び現状の課題を持   | 帰握している  | オ. 適切な分析手法を検討し選択している   | 3                               | ケ. 対応策や新計画の実施を行っている  |
| イ. 計画との比較を行っている   |   | カ. 統計データ等の証拠から、定量的・客籍  | 観的に地域の認                         | 果題を把握している コ. 定量的な分析結果を公表している   |
| ウ. 課題の優先順位付けを行ってい   | 5   | キ. 阻害要因について対応策を検討してい   | る                               |  |
| <ol> <li>事業における原因・阻害要因を</li> </ol>  | 月らかにしている  | ク. 新計画を立てている   |                                 |  |
| 設問13で議会または外部組織による効果   | <b>タ証のいずれも「③実施しない</b>   | (予定) 」と回答いただいた方のみ、理由を  | 以下にご記載                          | <u>ください。</u>   |
|   |   |  |                                 |  |
|   |   |  |                                 |  |
| -09+7-T-+   |   |  |                                 |  |
| 「関する工夫<br>段問13で「①実施した」と回答いただいた方   | のみ. お聞かせください。   |  |                                 |  |
| 気会または外部組織による効果検証の実施に  |   | られる工夫がある場合は以下にご記載ください  | ۸,                              |  |
|   |   |  |                                 |  |
|   |   |  |                                 |  |
|   |   |  |                                 |  |
| 設問13で「①実施した」と回答いただいただ   |   |  |                                 | NT I TO A CONTROL OF THE PARTY  |
| 議会または外部組織による効果検証を通じた  |   | いて、お聞かせくたさい。   |                                 | : 選択肢>   |
| 効果検証を通じた  | 事業見直しの状況  |  |                                 | 検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている   |
|   |   |  |                                 | 接近において「改善が必要」との指摘があり、適切な改善を図っている<br>接近において「改善が必要」との指摘があったが、現状では適切な改善が図られていない   |
| 投問13で「①実施した」と回答いただいただ   | のみ お問かせください   |  | 9                               |  |
| 議会または外部組織による効果検証の実施   |   | データを収集・活用したか、その分析手法を遂  | 銭択した上で可                         | 能な範囲で詳細にご記載ください。   |
| (例:KPI以外の指標の進捗、市民アンケー   |   |  |                                 |  |
| 分析手法  |   |  | 具体                              | 的な内容   |
|   |   |  |                                 |  |
|   |   |  |                                 |  |
| 果検証を行う上で、具体的に活用したデータ<br>こ、活用したデータ(及びデータベース) につい   | て、それぞれどのように活用したか  | い、ご記載ください。   |                                 | 7 + + (v 0750 814) 1 + v )   |
| 注) イルタナティフテータとは、11技術とともに  |   | を活用して、リアルタイムで把握され、定期的に提供   |                                 | iUよ9(V-RESASI&音のません)。  |
|   |   |  |                                 | The second secon |
| データ(及びデータベース)の活用有額  |   | 詳細(ウ・エ・オでどのようなデータを活用し  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| データ(及びデータベース)の活用有f<br>ア. RESAS  |   | 詳細(ウ・エ・オでどのようなデータを活用し  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
|   |   | 詳細(ウ・エ・オでどのようなデータを活用し  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| 7. RESAS  | #   | 詳細(ウ・エ・オでどのようなデータを活用し  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| ア. RESAS イ. V-RESAS ウ. e-STATに掲載されてい  | #   | 詳細(ウ・エ・オでどのようなデータを活用)  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| ア. RESAS           イ. V-RESAS           ウ. e-STATに掲載されてい           エ. オルタナティブデータ  | 戦<br>る政府統計等   | 詳細(ウ・エ・オでどのようなデータを活用)  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| ア. RESAS         イ. V-RESAS         ウ. e-STATに掲載されてし         エ. オルタナティブデータ         オ. その他(地域独自の統計   | 戦<br>る政府統計等   | 詳細(ウ・エ・オでどのようなデータを活用)  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| ア. RESAS           イ. V-RESAS           ウ. e-STATに掲載されてし           エ. オルタナテイプデータ           オ. その他(地域独自の統計           カ. 活用していない  | 張 る政府統計等 [ ] [ ] 「関西でアンケート調査等)  |  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| ア. RESAS           イ. V-RESAS           ウ. e-STATに掲載されてし           エ. オルタナティグデータ           オ. その他(地域独自の統計           カ. 活用していない           を進める中での課題・苦労、及びそれに対  | 無 る政府統計等 [ ] [ ] 間音やアンケート調査等) [ ] 「   | 1  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| ア. RESAS           イ. V-RESAS           ウ. e-STATに掲載されてし           エ. オルタナティグデータ           オ. その他(地域独自の統計           カ. 活用していない           を進める中での課題・苦労、及びそれに対  | 無 る政府統計等 [ ] [ ] 間音やアンケート調査等) [ ] 「   | 1  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| 7. RESAS 4. V-RESAS 5. e-STATに掲載されてい 1. オルタナティグデータ オ. その他(地域独自の統計 カ. 活用していない を進める中での課題・苦労、及びそれに対  | 無 る政府統計等 [ ] [ ] 間音やアンケート調査等) [ ] 「   | 1  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| 7. RESAS イ. V-RESAS ウ. e-STATに掲載されてい エ. オルタナティブデータ オ. その他(地域独自の総計 カ. 活用していない を進める中での課題・苦労、及びそれに対 104年度の事業を進める中で特に苦労したこ  | 無 る政府統計等 [ ] [ ] 間音やアンケート調査等) [ ] 「   | 1  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| 7. RESAS 1. V-RESAS 2. e-STATに掲載されてい 1. オルタナティブデータ オ. その他(地域独自の統計 カ. 活用していない  を進める中で砂葉雕・苦労、及びそれに対  印4年度の事業を進める中で特に苦労したこと (3つまで)   | 無 る政府統計等  「 調査やアンケート調査等)  する取組の修正・改善 [全員  や課題だた感じたことを上位から   | 1  |                                 | 活用方法(どのようにデータを活用したか)   |
| 7. RESAS 1. V-RESAS 2. e-STATに掲載されてい 1. オルタナティブデータ オ. その他(地域独自の統計 カ. 活用していない  を進める中で砂葉雕・苦労、及びそれに対  印4年度の事業を進める中で特に苦労したこと (3つまで)   | 無 る政府統計等 [ ] [ ] 間音やアンケート調査等) [ ] 「   | 1  |                                 | 透用方法 (どのようにデータを活用したか)  (アクト 相組外 (地域外・地域外の事業者、住民) との調整・合意形成   |
| 7. RESAS 1. V-RESAS 2. e-STATに掲載されてい 1. オルタナティブデータ オ. その他(地域独自の統計 カ. 活用していない  を進める中で砂葉雕・苦労、及びそれに対  印4年度の事業を進める中で特に苦労したこと (3つまで)   | 展<br>る政府統計等 [<br>調査やアンケート調査等) [<br>まる取組の修正・改善 [全員<br>とで課題だと感じたことを上位から<br>(八例:選択肢) [<br>・ 「 事業用重体制の検討 (2) 事業総を対策がプリウを有   | ]<br>順に最大で3つまで、お選びださい。<br>する人材の確保・育成   |                                 | ② 庁外・組織外 (他地外・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成<br>③ 場場事態を踏まなた設計・工程等の見意)  |
| 7. RESAS  | 展<br>る政府統計等  (本語  | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>車がは最大で3つまで、お選びださい。  |                                 | (7) 「庁外・福國外(地域外・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成<br>(8) 現場実施を施まえた設計・工程等の見慮し<br>(9) 共同申訴者との関係・会療形成  |
| 7. RESAS 1. V-RESAS 2. e-STATに掲載されてい 1. オルタナティブデータ オ. その他(地域独自の統計 カ. 活用していない  を進める中で課題・苦労、及びそれに対  印4年度の事業を進める中で特に苦労したこと (3つまで)  | 展<br>る政府統計等<br>(調査やアンケート調査等)<br>(3) (本の修正・改善 (全員<br>と中課題だと感じたごとを上位から<br>(本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の)   | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>車がは最大で3つまで、お選びださい。  |                                 | ②  |
| 7. RESAS 1. V-RESAS 2. e-STATに掲載されてい 1. オルタナティブデータ オ. その他(地域独自の統計 カ. 活用していない  を進める中で課題・苦労、及びそれに対  印4年度の事業を進める中で特に苦労したこと (3つまで)  | 展 (本)   | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>車がは最大で3つまで、お選びださい。  |                                 | (7) 「庁外・福國外(地域外・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成<br>(8) 現場実施を施まえた設計・工程等の見慮し<br>(9) 共同申訴者との関係・会療形成  |
| 7. RESAS 1. V-RESAS 2. e-STATに掲載されてい 1. オルタナティブデータ オ. その他(地域独自の統計 カ. 活用していない  を進める中で課題・苦労、及びそれに対  印4年度の事業を進める中で特に苦労したこと (3つまで)  | 展   | ]<br>順に最大で3つまで、お選びださい。<br>する人材の確保・育成<br>別<br>の や検封<br>別数選等)との調整・合集形成   |                                 | ②  |
| 7. RESAS 1. V-RESAS 2. e-STATに掲載されてい 1. オルタナティブデータ オ. その他(地域独自の統計 カ. 活用していない  を進める中で課題・苦労、及びそれに対  印4年度の事業を進める中で特に苦労したこと (3つまで)  | 展   | ]<br>順に最大で3つまで、お選びだださい。<br>可3人材の確保・育成<br>时<br>の検討  |                                 | ②  |
| 7. RESAS  | 展   | ]<br>順に最大で3つまで、お選びださい。<br>する人材の確保・育成<br>別<br>の や検封<br>別数選等)との調整・合集形成   |                                 | ② 「庁外・組織外(地域内・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成<br>③ 現場実施を踏また設計・工程等の見直し<br>⑤ 共同申請者との調整・合意形成<br>データの収集<br>① このの (例: 予問社会外部環境変化が起これ 等)  |
| ア. RESAS     イ. V-RESAS   | 展<br>- A政府統計等<br>(  | ]<br>順に最大で3つまで、お選びださい。<br>する人材の確保・育成<br>別<br>の や検封<br>別数選等)との調整・合集形成   |                                 | ② 「庁外・組織外(地域内・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成<br>③ 現場実施を踏また設計・工程等の見直し<br>⑤ 共同申請者との調整・合意形成<br>データの収集<br>① このの (例: 予問社会外部環境変化が起これ 等)  |
| <ul> <li>ア. RESAS</li> <li>イ. V-RESAS</li> <li>ウ. e-STATに掲載されてし</li> <li>エ. オルクナティブデータ</li> <li>オ. その他 (地域独自の統計 力). 活用していない</li> <li>お. 活用していない</li> <li>中年度の事業を進める中で特に苦労したこ</li> <li>特に苦労したこと (3つまで)(特にない場合は空欄)</li> </ul>   | 展   | ]<br>順に最大で3つまで、お選びださい。<br>可さ人材の確保・育成<br>計<br>到 の検討<br>財政護等)との問題・合業形成<br>は、その内容を具体的にご記載ください。  | ,tt)                            | ② 庁外・組織外 (地域内・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成<br>③ 現場実施を踏また設計・工程等の見造し<br>④ 共同申請者との調整・金世形成<br>第 データの課<br>① での他 (例:予問せぬ外部環境変化が起これ 等)<br>※9だついては、共同申請事業の場合のみ、選択ください。   |
| ア、 RESAS  | 展   | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>可る人材の確保・育成<br>財<br>の検討<br>対<br>が<br>の内容を具体的にご記載がださい。<br>との内容を具体的にご記載がださい。   | たか)                             | ② 「庁外・組織外(地域内・地域外の事業者、住民)との調整・合意形成<br>③ 現場実態を踏また設計・工程等の見直し<br>⑤ 共同申請者との開整・合意形成<br>データの収集<br>① このの (例: 予削せる外部環境変化が起これ 等)  |
| フ・RESAS   | 展 る政府統計等 (  | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>可る人材の確保・育成<br>財<br>の検討<br>対<br>が<br>の内容を具体的にご記載がださい。<br>との内容を具体的にご記載がださい。   | たか)<br>できた場合、その<br>性生事業実施のない    | ② 「中外・組組み (地域内・地域内の事業者、住民) との調整・会意形域 ② 「明年実際を請求人設計・工程寺の見慮し ③ 共同甲形帝との調整・合意形成 ④ データの収集 ① である (例: 予明せぬ外部環境変化が起こた 等) ※②については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。  D内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。   |
| フ・RESAS   | 展 る政府統計等 (  | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>等3人材の確保・育成<br>計<br>の の検封<br>) の検封<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>6修正・改善を行われた場合、もしくは解決<br>随便で具体的にご記載ください。(例:1955年   | たか)<br>できた場合、その<br>性生事業実施のない    | ② 「中外・組組み (地域内・地域内の事業者、住民) との調整・会意形域 ② 「明年実際を請求人設計・工程寺の見慮し ③ 共同甲形帝との調整・合意形成 ④ データの収集 ① である (例: 予明せぬ外部環境変化が起こた 等) ※②については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。  D内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。   |
| フ・RESAS   | 展 る政府統計等 (  | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>等3人材の確保・育成<br>計<br>の の検封<br>) の検封<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>6修正・改善を行われた場合、もしくは解決<br>随便で具体的にご記載ください。(例:1955年   | たか)<br>できた場合、その<br>性生事業実施のない    | ② 「アゲ・組織が (地域が・地域がの事業者、住民) との調整・合意形成<br>③ 現場実態を請求大設計・工程等の見慮し<br>⑤ 共同甲語者との調整・合意形成<br>④ データの収集<br>① このを (例: 予明せめが新場項を化が起こた 等)<br>※ ② については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。   |
| ア、 RESAS イ、 V-RESAS ・ ウ・ e-STATに掲載されてし ・ エ・オルクナディブテー ・ オ・その他 (地域独自の統計・力・活用していない ・ 大の他の事難・苦労、及びそれに対 ・ 保証・苦労したこと ・ 特に苦労したこと ・ 特に苦労したこと ・ (特にない場合は空欄) ・ 設問   「6の課題・苦労で1番目に回答したア・また、改善対策を検討するにおってつきまた。と改善対策を検討するにおってきまた。と改善対策を検討するにおってきまた。と改善対策を検討するにあってきまた。と改善対策を検討するにあってきまた。と改善対策を検討するにあってきまた。 ・ は、対策を検討するにあってきまた。 ・ は、対策を検討するにおいた。 ・ は、対策を検討するに対策を使いまするに対策を使います。 ・ は、対策を使いまするに対策を使います。 ・ は、対策を使いまするに対策を使います。 ・ は、対策を使いまするに対策を使います。 ・ は、対策を使いまするに対策を使いまする。 ・ は、対策を使いまする ・ は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、  | 展   | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>等3人材の確保・育成<br>計<br>の の検封<br>) の検封<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>6修正・改善を行われた場合、もしくは解決<br>随便で具体的にご記載ください。(例:1955年   | たか)<br>できた場合、その<br>性生事業実施のない    | ② 「中外・組織外(地域外・地域外の軍量者、住民)との調整・会意形成<br>② 「中外・組織外(地域外の軍量者、住民)との調整・会意形成<br>③ 「共同中部者との調整・合意形成<br>④ データの収集<br>① この他(例:予明せる外部環境を化が起これを等)<br>※②については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。  |
| ア. RESAS イ. V-RESAS イ. V-RESAS ウ. e-STATに掲載されてし エ. オルタナティブデータ オ. その他、地域独自の終計 カ. 活用していない 大を進める中での課題・苦労、及びそれに対 特に苦労したこと(3つまで)<br>(特にない場合は空欄)  総関16を回答いただいた方のみ、お聞か<br>設問16の課題・苦労で1番目に回答したアまた、改善対策案を検討するにあたって参 注)施設整備計画の申請時点での想定と   | 展<br>る政府統計等  「調査やアンケート調査等)  「本の取組の修正・改善 [全員 ・ で課題だと感じたことを上位から ・ 事業財産体制の検討 ・ 事業財産体制の検討 ・ 事業財産所のの対応 ・ 庁内・組織内(幹部・原理・ 「迎その他」を選択した場合 ・ 「迎その他」を選択した場合 ・ 「からして、取組を進めなが きとした情報についても、可能な著 の相適点に対し、事業の実施中におい  | ] 順に最大で3つまで、お選びださい。<br>可さ人材の確保・育成<br>別<br>別の検討<br>別の検討<br>別の機等)との調整・合意形成<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>には、その内容を具体的にご記載ください。<br>には、その内容を具体的にご記載ください。<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他   | たか) できた場合、その 性手業実施のなり           | ② 「ア外・組通外(地域外・地域外の軍量者、住民)との調整・会意形成<br>③ 球構実態を請求した対・工程等の見慮し<br>⑤ 共同甲硝香との調整・合意形成<br>④ データの収集<br>① での 例:デ剛せら外部環境を化が起こた 等)<br>※ 例については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。<br>の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。<br>の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。   |
| ア、RESAS イ、V-RESAS ク、e-STATに掲載されてし エ、オルクナティブデータ オ、その他(地域独自の総計 カ、活用していない 特に古労したこと(3つまで) (特にない場合は空欄)  総問16を回答いただいた方のみ、お聞か 注)施設整備計画の申請時点での想定と 注)施設整備計画の申請時点での想定と  総関16を回答いただいた方のみ、お問か 設問16の課題・苦労として回答したの参 注)施設整備計画の申請時点での想定と  | 展 る政府統計等  | 個に最大で3つまで、お選びだださい。   であるとは、  | たか) できた場合、そく 性生事業実施のない 対容について、E | ② 「ア外・組通外(地域外・地域外の軍量者、住民)との調整・会意形成<br>③ 球構実態を請求した対・工程等の見慮し<br>⑤ 共同甲硝香との調整・合意形成<br>④ データの収集<br>① での 例:デ剛せら外部環境を化が起こた 等)<br>※ 例については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。<br>の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。<br>の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。   |
| ア、 RESAS  イ・ V-RESAS  ウ・ e-STATに掲載されてし  エ・ オルタナティブデータ  オ・ その他 (地域独自の総計  カ・ 活用していない  特に苦労したこと (3つまで) (特にない場合は空欄)  一般では、場合は空欄)  一般では、場合は空欄)  一般では、場合は空欄)  「特にない場合は空欄)  「特にない場合は空間)  「特にない場合はどいた方のみ、お聞か  「対しているではないたが、まずるいとないため、まずるいとないたが、まずるいとないため、まずるいとないないないないとないないないないないないないないないないないないないない | 展<br>る政府統計等  「本語を表現的を正・改善「全員・<br>で表現的を正・改善「全員・<br>で課題だと感じたことを上位から  「中国第一体形を対 の「中国第一体形を対 の「中国第一体形を対 の「中国第一体形を対 の「中国第一体形を対 の「中国・<br>の「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・ | ] 順に最大で3つまで、お遊びださい。<br>順に最大で3つまで、お遊びださい。<br>対の機能・育成<br>対の検討<br>対の検討<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>のは、後正・改善を行われた場合、もしくは解決<br>に関で具体的にご記載ください。<br>のは、後述・改善と対象組を削進させた点をお願い<br>があず、必能で、改善に対象組を削進させた点をお願い<br>があず、必能で、改善に対象組を削進させた点をお願い<br>があず、必能で、必能に可能を対象がある。<br>があず、のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、 | たか) できた場合、そく 性生事業実施のない 対容について、E | ② 「子外・組織外(地域内・地域外の事業者、住民)との調整・会意形成 ③ 環境実験を踏まび設計・工程等の見造し ④ 共同申請者との調整・会意用成 ④ 子の収集 ④ その成 (例: 予期せぬ外部環境変化が起こった 等) ※ ④については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。  D内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。  ののガイドライン1、「地方創生関係交付金の添用事例集」など)  |
| ア、 RESAS イ、 V-RESAS ク・ e-STATに掲載されてし エ・オルクナティブデータ ・オ・その他 (地域独自の統計 カ・活用していない カ・活用していない 特に苦労したこと (3つまで) (特にさい場合は空棚)  総間16を回答いただいた方のみ、お聞か 注)施設整備計画の申請時点での想定と 注)施設整備計画の申請時点での想定と は、改善対策案を検討するにあたって参 注)施設整備計画の申請時点での想定と に、改善対策案を検討するにあたって参 注:施設整対策案を検討するにあたって参   | 展<br>る政府統計等  「本語を表現的を正・改善「全員・<br>で表現的を正・改善「全員・<br>で課題だと感じたことを上位から  「中国第一体形を対 の「中国第一体形を対 の「中国第一体形を対 の「中国第一体形を対 の「中国第一体形を対 の「中国・<br>の「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・<br>「中国・ | ] 順に最大で3つまで、お遊びださい。<br>順に最大で3つまで、お遊びださい。<br>対の機能・育成<br>対の検討<br>対の検討<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>は、その内容を具体的にご記載ください。<br>のは、後正・改善を行われた場合、もしくは解決<br>に関で具体的にご記載ください。<br>のは、後述・改善と対象組を削進させた点をお願い<br>があず、必能で、改善に対象組を削進させた点をお願い<br>があず、必能で、改善に対象組を削進させた点をお願い<br>があず、必能で、必能に可能を対象がある。<br>があず、のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、他のは、 | たか) できた場合、そく 性生事業実施のない 対容について、E | ② 庁外・組織外 (地域外・地域外の事業者、住民)との調整・会養形成 ③ 瑞海実験を踏ま及設計・工程等の見乱 ④ 共同申請者との調整・金養形成 ④ 大のの収集 ④ すのの収集 ① すの他 (例: 予期せぬ外部環境変化が起こった等) ※ 少については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。  D内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。  Dのが容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。  Dのが容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。   |

図表 1-9 事業実施報告(様式)(7枚目)

|   |  | とともにお聞かせください。(上から重要な順に最大3つ)   |  | <凡例:選択肢>  |
|---|--|---|--|---|
| 事例の   | 成功要因   |   |  | 1 推進力のある事業主体の形成   |
|   |  |   |  | ② 部署横断的なコミュニケーションの密な実施による意識の醸成  |
| 実施した工   | 夫及びその特徴  |   |  | ③ 複数担当者による事業の推進   |
|   |  |   |  | ④ 民間活力を軸とした官民(民官)協働の推進  |
| West first an   | -1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1   |   |  | (5) 着実で実効性のある効果検証による強靭な事業運営   |
| 事例の   | 成功要因   |   |  | (6) 地域間連携の充実<br>(7) 政策間連携の充実  |
| 中性にたて   | 夫及びその特徴  |   |  | (8) 事前の調査、分析による課題の明確化と事業の目指すべき方向付け  |
| 天祀 した上  | 大人のての付包  |   |  | 課題の優先順位付けを行い、適切な順序で方策を検討  |
|   |  |   |  | ⑩ 適切なKPIの設定   |
| 事例の   | 成功要因   |   |  | ① 魅力的な地域資源の活用   |
|   |  |   | _  | ② 高い自立性の確保  |
| 実施した工   | 夫及びその特徴  |   |  | 専門的知見を持った外部人材の活用/外部人材が活躍しやすい環境整合  |
|   |  |   |  | 地域人材の育成による事業の自立性、継続性の担保   |
|   |  |   |  | 15 地域住民の理解と参画、地域ぐるみの機運の醸成   |
|   |  |   |  | ⑤ データの活用 (RESAS・V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等)  |
|   |  |   |  | ☑ その他   |
| 「地方創生関係交付会  | 全の活用事例集   の掲載事例として   | 、本事業を取り上げるべきかについて、お聞かせください。   | _  | < · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·   |
|   |  | CALESOCK SIAM CACCA   |  | 1 計画を上回る大きな効果を上げた事業として推薦する  |
| 事例の   | 自己推薦   |   |  | 2 課題解決のための取組内容が他団体の参考となるため推薦する  |
|   |  |   |  | 課題や苦労が他団体への示唆に富むため推薦する     その他の理由により推薦する  |
| <凡例:選択肢>  | ① 多大な影響を受けている  | ② 一定程度の影響を受けている   | ③ 影響を5   | 受けていない  |
|   |  |   |  |   |
| コロナを踏まえ   | た本事業の今後の方針   |   | 具体的な内容   | _   |
| コロナを踏まえ   | た本事業の今後の方針   |   | 具体的な内容   |   |
| コロナを踏まえ   | <ul><li>① 事業を継続 (コロナ禍においても)</li></ul>  | -<br> <br> ・<br> <br>  | ④ 事業の締小(   | 2011の影響に伴い事業を探小する)  |
|   | <ul><li>① 事業を継続 (コロナ禍においても)</li><li>② 事業の発展 (コロナ禍という環境</li></ul>   | に適応し、取組の更なる発展や新しい試みを行う(または、行った))  | (4) 事業の溶小((5) 事業の中止()  | 継続的な事業実施を予定していたがコロナの影響に踏まえ中止する(または、した))   |
|   | <ul><li>① 事業を継続 (コロナ禍においても)</li><li>② 事業の発展 (コロナ禍という環境</li></ul>   |   | (4) 事業の溶小((5) 事業の中止()  |   |
| <凡例:選択肢>  | 事業を継続 (コロナ場においても)     事業の発展 (コロナ場にいる場別     事業の決議 (コロナ場にいる場別     事業の決議 (コロナ場にはいまま)  | に適応し、取組の更なる発展や新しい試みを行う(または、行った))  | (4) 事業の溶小((5) 事業の中止()  | 継続的な事業実施を予定していたがコロナの影響に踏まえ中止する(または、した))   |
| <凡例:選択肢>  | 事業を継続 (コロナ場においても)     事業の発展 (コロナ場にいる場別     事業の決議 (コロナ場にいる場別     事業の決議 (コロナ場にはいまま)  | に適応し、取組の更なる発展や新しい試みを行う(または、行った))<br>端の効果が見込みを下回ったことから見直し(改善)を行う(または、行った))   | (4) 事業の溶小((5) 事業の中止()  | 継続的な事業実施を予定していたがコロナの影響に踏まえ中止する(または、した))   |
| <凡例:選択肢〉<br>新型コロナウイルス感染<br>がクレポートに関する意<br>デンタル田園都市国家植   | 中型性結結 (ロケ州においては 2 事本の元間 (ロケ州によい可収 ) 甲素の元間 (ロケ州に作用) (ロケ州に作用) (成の影響を受けながらもKPIを近 ) (本面) (現文付金 (旧地方創生拠点整備 ) (旧地方創生拠点整備 ) (日地方創生拠点整備 ) (日本面)  | に適応し、取組の更なる発展や新しい試みを行う(または、行った))<br>端の効果が見込みを下回ったことから見直し(改篇)を行う(または、行った))   | (4) 事業の様小(       (5) 事業の样子(       (6) 事業の終了(   | 経的な事業実施を予定していたが20から夢順に請求や止する(またはした)) 当初予定途の事業を終了する(または、した))  市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)                                     |
| <凡例:選択肢〉<br>新型コロナウイルス感染<br>がクレポートに関する意<br>デンタル田園都市国家植   | 中型性結結 (ロケ州においては 2 事本の元間 (ロケ州によい可収 ) 甲素の元間 (ロケ州に作用) (ロケ州に作用) (成の影響を受けながらもKPIを近 ) (本面) (現文付金 (旧地方創生拠点整備 ) (旧地方創生拠点整備 ) (日地方創生拠点整備 ) (日本面)  | ご園だし、敗間の東な免徴や新しい試みを行う(または、行った) )<br>のの漁場が見込みを下凹ったこから見取し(改領)を行う(または、行った) )<br>建成するために取り組んだ工夫等についてご記載(ださい。<br>(交付金) 事業実施結果について、全国の地方公共団体により報信   | (4) 事業の様小(       (5) 事業の样子(       (6) 事業の終了(   | 経的な事業実施を予定していたが20から夢順に請求や止する(またはした)) 当初予定途の事業を終了する(または、した))  市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)                                     |
| <凡例:選択肢〉<br>新型コロナウイルス感染<br>がクレポートに関する意<br>デンタル田園都市国家植   | 中型性器能 (DD / Wiczburch (D | ご園だし、敗間の東な免徴や新しい試みを行う(または、行った) )<br>のの漁場が見込みを下凹ったこから見取し(改領)を行う(または、行った) )<br>建成するために取り組んだ工夫等についてご記載(ださい。<br>(交付金) 事業実施結果について、全国の地方公共団体により報信   | (4) 事業の様小(       (5) 事業の样子(       (6) 事業の終了(   | 経的な事業実施を予定していたが20から夢順に請求や止する(またはした)) 当初予定途の事業を終了する(または、した))  市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)                                     |
| <凡例:選択肢〉<br>新型コロナウイルス感染<br>がクレポートに関する意<br>デンタル田園都市国家植   | ① 事業を継続(ロナ線においても<br>② 事業の免棄(ロナ線という環境<br>② 事金の改善(ロナ線という環境<br>・ 事金の改善(ロナ線という事)<br>・ 事金の改善(ロナ線という事)<br>・ 事金の表書(全員)<br>・ 事金の表書(全員)<br>・ 事金の表書(全員)<br>・ 力能を実施しフィードバックレポート   | ご園だし、敗間の東な免徴や新しい試みを行う(または、行った) )<br>のの漁場が見込みを下凹ったこから見取し(改領)を行う(または、行った) )<br>建成するために取り組んだ工夫等についてご記載(ださい。<br>(交付金) 事業実施結果について、全国の地方公共団体により報信   | (4) 事業の様小(       (5) 事業の样子(       (6) 事業の終了(   | 経的な事業実施を予定していたが2010を順に施まれ中止する(またはした)) 当初予定途の事業を終了する(または、した))  市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)                                    |
| 《凡例:選択肢》<br>新型コロナウイルス感染<br>シックルボートに関する意味<br>デジが、田園都市国家様<br>(様式2)」の集計                              | ① 事業を施統(コナ海においても<br>② 事業の免滅(コナ海においず取<br>③ 事業の改滅(コナ海に伴い事は<br>症の影響を受けながらもKPIを过<br>現・安望 [全員]<br>想交付金 (旧地方創生拠点整備<br>・分析を実施しフィードバックルボート   | ご園だし、敗間の東な免徴や新しい試みを行う(または、行った) )<br>のの漁場が見込みを下凹ったこから見取し(改領)を行う(または、行った) )<br>建成するために取り組んだ工夫等についてご記載(ださい。<br>(交付金) 事業実施結果について、全国の地方公共団体により報信   | (a) 事業の添か(<br>(b) 事業の申止(<br>(c) 事業の終了(<br>(d) 事業の<br>(d) 事態の<br>(d) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(e) 事<br>(e) 事 | 総称の事業実施を予定していたがコケの夢歌に踏まれ中止する(または・した)) 当刊予定語の事業を終了する(または・した))     日本の事業を終了する(または・した))    市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)  記載ください。 |
| 《凡例:選択肢》<br>新型コロナウイルス感染<br>シックルボートに関する意味<br>デジが、田園都市国家様<br>(様式2)」の集計                              | ① 事業を施統(コナ海においても<br>② 事業の免滅(コナ海においず取<br>③ 事業の改滅(コナ海に伴い事は<br>症の影響を受けながらもKPIを过<br>現・安望 [全員]<br>想交付金 (旧地方創生拠点整備<br>・分析を実施しフィードバックルボート   | に適応し、敗絶の党の名乗原や明しい結かを行う(または、行った))<br>20の漁用が見込みを下部ったとから見高し(改譲)を行う(または、行った))<br>起成するために取り組んだ工夫等(こついてご記載ください。<br>でから、事業実施結果について、全国の地方公共団体により報<br>としてお知らせしております。フィードパックレポートについてのご意見・                   | (a) 事業の添か(<br>(b) 事業の申止(<br>(c) 事業の終了(<br>(d) 事業の<br>(d) 事態の<br>(d) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(e) 事<br>(e) 事 | 総称の事業実施を予定していたがコケの夢歌に踏まれ中止する(または・した)) 当刊予定語の事業を終了する(または・した))     日本の事業を終了する(または・した))    市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)  記載ください。 |
| 《凡例:選択肢》<br>新型コロナウイルス感染<br>シックルボートに関する意味<br>デジが、田園都市国家様<br>(様式2)」の集計                              | ① 事業を施統(コナ海においても<br>② 事業の免滅(コナ海においず取<br>③ 事業の改滅(コナ海に伴い事は<br>症の影響を受けながらもKPIを过<br>現・安望 [全員]<br>想交付金 (旧地方創生拠点整備<br>・分析を実施しフィードバックルボート   | に適応し、敗絶の党の名乗原や明しい結かを行う(または、行った))<br>20の漁用が見込みを下部ったとから見高し(改譲)を行う(または、行った))<br>起成するために取り組んだ工夫等(こついてご記載ください。<br>でから、事業実施結果について、全国の地方公共団体により報<br>としてお知らせしております。フィードパックレポートについてのご意見・                   | (a) 事業の添か(<br>(b) 事業の申止(<br>(c) 事業の終了(<br>(d) 事業の<br>(d) 事態の<br>(d) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(e) 事<br>(e) 事 | 総称の事業実施を予定していたがコケの夢歌に踏まれ中止する(または・した)) 当刊予定語の事業を終了する(または・した))     日本の事業を終了する(または・した))    市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)  記載ください。 |
| 《凡例:選択談》<br>新型コロナウイルス感染<br>シックルボートに関する順等<br>等等 (様式 2) 」の集計<br>、事例集に関する順等<br>の関係から公表している(          | 東京会議院 (コナ油においても)     東京会議院 (コナ油においても)     東京会議 (コナ油においでも)     東京会議 (コナ油に作い事業)     東京会議 (コナ油に作い事業)     東京会議 (コナ油に作い事業)     東京会議 (全員)     根交付金 (旧地方創生拠点整備・分析を実施しフィードバックルボート)     ・要望 (全員)     地方創生事業実施のためのガイド  | に適応し、敗他の東な免疫や耐い心がかを行っ(または、行った)) のの無が呼込みを下部ったとから見高い(改領)を行っ(または、行った)) 起成するために取り組んだ工夫等(こついてご記載ください。  交付金)事業実施結果について、全国の地方公共団体により船 としてお知らせしております。フィードバックレポートについてのご意見・ をインプレ「地方創生関係交付金の活用事例集」についてのご意見・ | (a) 事業の添か(<br>(b) 事業の申止(<br>(c) 事業の終了(<br>(d) 事業の<br>(d) 事態の<br>(d) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(e) 事<br>(e) 事 | 総称の事業実施を予定していたがコケの夢歌に踏まれ中止する(または・した)) 当刊予定語の事業を終了する(または・した))     日本の事業を終了する(または・した))    市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)  記載ください。 |
| 《凡例:選択肢》<br>新型コロナウイルス感染<br>「ツクルボートに関する意<br>等等(様式2)」の単計<br>の場合のである。<br>「関内から公表している「<br>データの活用(データル | ① 事業を総総(ロナ線においても<br>② 事業の免集(ロナ線という環境<br>② 事業の免集(ロナ線という環境<br>・事業の企業(ロナ線という事業<br>・受けながらも、ドートを<br>・ を<br>・ を<br>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・   | に適応し、敗絶の党の名乗原や明しい結かを行う(または、行った))<br>20の漁用が見込みを下部ったとから見高し(改譲)を行う(または、行った))<br>起成するために取り組んだ工夫等(こついてご記載ください。<br>でから、事業実施結果について、全国の地方公共団体により報<br>としてお知らせしております。フィードパックレポートについてのご意見・                   | (a) 事業の添か(<br>(b) 事業の申止(<br>(c) 事業の終了(<br>(d) 事業の<br>(d) 事態の<br>(d) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(d) (e) 事態<br>(e) 事<br>(e) 事 | 総称の事業実施を予定していたがコケの夢歌に踏まれ中止する(または・した)) 当刊予定語の事業を終了する(または・した))     日本の事業を終了する(または・した))    市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)  記載ください。 |

# 1.2 事業実施報告の送付・回収

令和 5 年 8 月下旬にメール添付にて、拠点整備タイプを実施する全ての地方公共団体担当者宛に、事業実施報告(様式)を送付し、令和 5 年 9 月中旬を期限として回答を依頼した。

また、回答内容に関し、明らかな誤記載や項目間の不整合等については、地方公共団体への確認や修正依頼を行った。

# 第2章 事業実施報告の整理・分析

地方公共団体から提出のあった「事業実施報告」の回答結果に基づき、分析を行った。

### 2.1 分析方針

分析は令和6年3月末までに提出された事業実施報告887件を対象とした。なお、本年度より事業実施報告の全設問へ回答する事業は施設の供用開始翌年度から5年間(739事業)とし、供用未開始の事業については、事業の基礎情報のみの回答(148事業)とした。 採択件数は927事業であり、そのうち事業取下げ等を除いた報告対象件数は887事業であるため、回収率は100%である。

また、分析は事業実施報告の設問項目の単純集計結果及び項目間のクロス集計結果を基 に実施した。その際、各設問項目を以下の大分類に整理した上で、項目間の因果関係にも着 目して分析を行った(例:事業のプロセスが事業の結果に与えた影響の分析等)。

- 事業の基礎情報 (2.2.1 参照)
  - 事業テーマ、課題分類別、単独・共同の別、実施主体の別(都道府県・市町村)、 実績額、施設の建設区分
- 事業のプロセス (2.2.2 参照)
  - 事業実施時に留意した項目、効果検証の有無・実施内容、自立化の進捗、政策間 連携の状況
- 事業の結果 (2.2.3 参照)
  - KPIの実績、地方創生への効果認識、事業実施時に感じた課題・苦労
- 経済波及効果 (2.2.4 参照)

項目間の因果関係を含む分析の全体イメージは以下の通り。

事業の基礎情報 事業のプロセス 事業の結果 今後の展開・影響 1) 事業実施時に留意した 項目 1) 新型コロナウィルス感染症の影響 1) 事業テーマ 1) KPIの実績 2) ポジティブ・ネガティブ 要因の実施状況 2) 地方創生への効果認 2) 事業への工夫・今後の 方針 2) 課題·取組分類 3) 事業を進める中での課 題・苦労 3) 単独事業·広域事業 3) 効果検証の有無 4) ポジティブ・ネガティブ要因(成功要因) 4) 実施主体 (都道府県・市町村) 5) 施設の建設区分\* 4) 効果検証の実施状況 5) 自立化の進捗 (新設、増設、改修) 6) 実績額 6) 政策間連携の有無 7) 地域住民の交付金事 業への参画状況 7) KPIの分類 8) デジタル社会形成に向けた取り組み 8) 統計データの活用 9) 供用開始時期\* \*は拠点整備交付金事業のみ は因果関係(の可能性)を表す 经济波及効果

図表 2-1 事業実施報告 分析の全体イメージ

# 2.2 事業実施報告の分析結果

事業の基礎情報、事業のプロセス、事業の結果、今後の展開、経済波及効果について分析 結果を示す。

# 2.2.1 事業の基礎情報

地方公共団体から提出のあった「事業実施報告」の単純集計結果は以下の通り。

図表 2-2 事業実施報告の提出数(令和6年3月末時点)

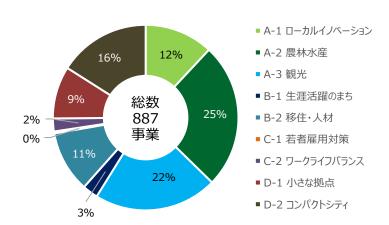
※共同事業は、構成地方公共団体がそれぞれ提出

|          |                 |          | 事業実施報告の提出数   |              |     |            |           |     |  |  |  |  |
|----------|-----------------|----------|--------------|--------------|-----|------------|-----------|-----|--|--|--|--|
|          | 事業テーマ           | 単独事<br>業 | 共同事<br>業(代表) | 共同事<br>業(連携) | 計   | 都道府<br>県事業 | 市町村<br>事業 | 計   |  |  |  |  |
| A.しごと創生  | A-1.ローカルイノベーション | 102      | 2            | 2            | 106 | 63         | 43        | 106 |  |  |  |  |
|          | A-2.農林水産        | 223      | 1            | 1            | 225 | 134        | 91        | 225 |  |  |  |  |
|          | A-3.観光          | 185      | 3            | 3            | 191 | 29         | 162       | 191 |  |  |  |  |
| B.地方への   | B-1.生涯活躍のまち     | 24       | 0            | 0            | 24  | 1          | 23        | 24  |  |  |  |  |
| ひとの流れ    | B-2.移住・人材       | 93       | 1            | 1            | 95  | 17         | 78        | 95  |  |  |  |  |
| C.働き方改革  | C-1.若者雇用対策      | 3        | 0            | 0            | 3   | 0          | 3         | 3   |  |  |  |  |
|          | C-2.ワークライフバランス  | 20       | 0            | 0            | 20  | 0          | 20        | 20  |  |  |  |  |
| D.まちづくり  | D-1.小さな拠点       | 81       | 0            | 0            | 81  | 10         | 71        | 81  |  |  |  |  |
|          | D-2.コンパクトシティ    | 140      | 1            | 1            | 142 | 16         | 126       | 142 |  |  |  |  |
| <b>#</b> |                 | 871      | 8            | 8            | 887 | 270        | 617       | 887 |  |  |  |  |

### 1) 事業テーマ別

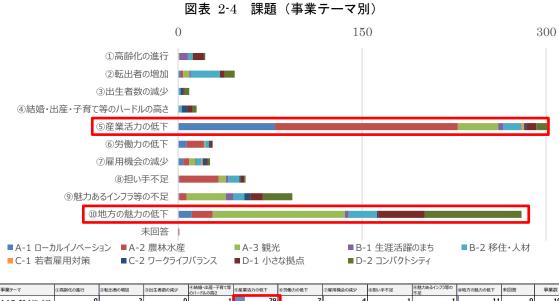
事業テーマ別では、しごと創生分野(ローカルイノベーション、農林水産、観光)が、全体の約59%を占める。中でも、農林水産が最も多く、全体の25%を占める。働き方改革分野(若者雇用対策、ワークライフバランス)が最も少なく、合計で全体の2%程度であった。

図表 2-3 事業テーマ別事業数



### 2) 課題分類別

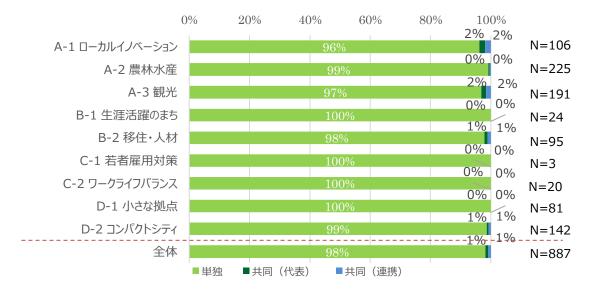
地方公共団体が拠点整備タイプにおいて解決したい課題として「産業活力の低下」、「地方の魅力の低下」が多く挙げられ、それらの解決策として選択される事業テーマはローカルイノベーション、農林水産、観光分野が多い。



| 事業テーマ           | ①高齢化の進行 | ②転出者の増加 | ③出生者数の減少 | <ul><li>・</li></ul> | ⑤産業活力の低下 | ⑥労働力の低下 | ⑦雇用機会の減少 | ⑧担い手不足 | <ul><li>動力あるインフラ等の</li><li>不足</li></ul> | 毎地方の魅力の低下 | 未回答 | 事業数 |
|-----------------|---------|---------|----------|---------------------|----------|---------|----------|--------|---|-----------|-----|-----|
| A-1 ローカルイノベーション | 0       | 2       | 0        | 1                   | 79       | 7       | 4        | 1      | 1                                       | 11        | 0   | 106 |
| A-2 農林水産        | 0       | 2       | 0        | 0                   | 149      | 14      | 5        | 32     | 6                                       | 17        | 0   | 225 |
| A-3 観光          | 1       | 5       | 0        | 0                   | 33       | 1       | 5        | 6      | 32                                      | 108       | 0   | 191 |
| B-1 生涯活躍のまち     | 7       | 1       | 0        | 0                   | 4        | 0       | 1        | 2      | 6                                       | 3         | 0   | 24  |
| B-2 移住·人材       | 4       | 24      | 2        | 2                   | 15       | 3       | 4        | 9      | 9                                       | 23        | 0   | 95  |
| C-1 若者雇用対策      | 0       | 0       | 0        | 0                   | 2        | 0       | 1        | 0      | 0                                       | 0         | 0   | 3   |
| C-2 ワークライフバランス  | 0       | 0       | 2        | 5                   | 2        | 1       | 3        | 1      | 5                                       | 1         | 0   | 20  |
| D-1 小さな拠点       | 9       | 4       | 1        | 4                   | 8        | 2       | 1        | 3      | 10                                      | 38        | 1   | 81  |
| D-2 コンパクトシティ    | 1       | 8       | 4        | 3                   | 20       | 0       | 2        | 1      | 24                                      | 79        | 0   | 142 |
| 全体              | 22      | 46      | 9        | 15                  | 312      | 28      | 26       | 55     | 93                                      | 280       | 1   | 887 |

### 3) 単独事業・共同事業の別

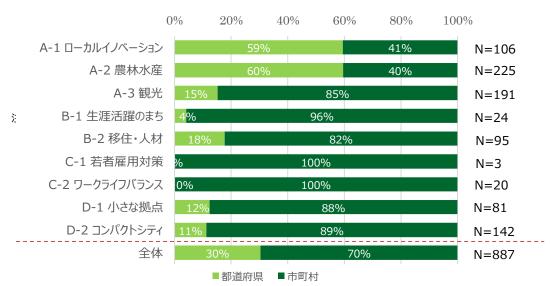
単独/共同別では単独事業が大半を占めている。ローカルイノベーション分野や観光 分野は共同事業の割合が約3~4%を占め、地域と連携して事業を実施するケースがみら れる。



図表 2-5 単独事業・共同事業別の事業数

### 4) 事業主体の別

実施主体の別(都道府県、市町村)では、全体の30%が都道府県であり、残りが市町村である。農林水産分野やローカルイノベーションの分野で都道府県事業の割合が50~60%と高い。



図表 2-6 実施主体別の事業数

### 5) 事業実績額

1事業当たりの事業実施額は全体で 2,885 万円。事業テーマ別では、小さな拠点分野が大きく、約 3,800 万円。



図表 2-7 1事業当たりの事業実績額(事業テーマ別)

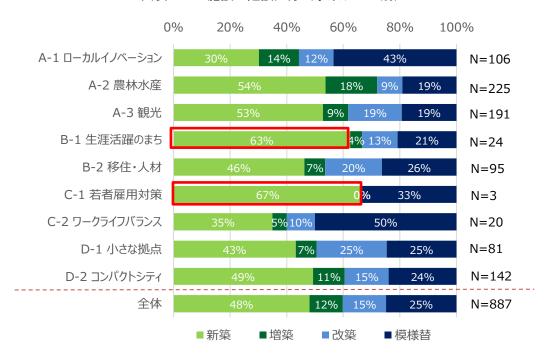
実施主体別では、都道府県事業の 2,760 万円に対して、市町村事業は 2,939 万円で約 1.1 倍の開きがある。



図表 2-8 1事業当たりの事業実績額(事業主体別)

### 6) 施設の建設区分別

施設の建設区分(事業テーマ別)は、全体の48%が新築である。特に、生涯活躍のまち分野や若者雇用対策分野で新築の割合が高い。



図表 2-9 施設の建設区分(事業テーマ別)

### 2.2.2 事業のプロセス

内閣府では、推進タイプを活用した事業の立案・改善のための手引きとして、平成 29 年度に「地方創生事業実施のためのガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)を作成し、平成 30 年 4 月に公表した(令和 5 年 3 月改訂)。ガイドラインでは、推進タイプ事業に求められる「先導性要素」(自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の確保・育成、デジタル社会の形成への寄与)を念頭に置いて、事業に取り組むにあたって基本的に踏まえるべきことや、気をつけたい工夫・留意点を掲載することで、地方公共団体による適切な事業実施を促している。

拠点整備タイプの実施に当たっても、このガイドラインに沿った事業のプロセスが求められることから、事業実施報告の中で、事業実施時に留意した項目を質問することにより、事業のプロセスが適切に実施されているか否かを確認した。具体的には、ガイドラインで定められた「取り組むべきこと」の各項目について実施の有無を質問した。

ガイドラインで定められた「取り組むべきこと」を基に設定した確認項目は以下の通り。

図表 2-10 「取り組むべきこと」の確認項目 (PDCAの段階別)

| PDCA の段階                              | 取り組むべきこと           |    | 事業実施報告における確認項目  |
|---------------------------------------|--------------------|----|---|
| 事業アイデア・<br>事業手法の検討                    | 課題・ニーズの<br>共有と明確化  | ア. | 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題や<br>ニーズを明確化している                                |
| <plan></plan>                         | 定量的・客観的な<br>分析     | イ. | 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズ<br>を捉えている                                     |
|                                       | 地域資源の活用            | ウ. | 地域の特色ある資源や強みを活用している   |
|                                       | 外部人材・知見の活<br>用     | 工. | 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している  |
|                                       | 政策間連携              | オ. | 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、<br>団体内の複数部局や様々な分野の民間企業と連携し<br>ている             |
|                                       | 地域間連携              | 力. | スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、<br>複数地域間で連携している                                |
|                                       | 既存組織・ネット<br>ワークの活用 | キ. | 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等<br>の既存組織・ネットワークを活用している                        |
|                                       | 関係者の役割・責任<br>の明確化  | ク. | 関係者の役割・責任について明確化している  |
| 事業の具体化<br><plan></plan>               | 自走を意識した計画          | ケ. | 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性を<br>もって自走していくことのできるプロセスを明確化<br>している             |
|                                       | 経営視点からの検証          | Л. | 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある<br>人材を活用している、または知見ある外部専門家か<br>ら助言を受けている        |
|                                       | 詳細な工程計画            | サ. | 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位<br>等)を策定している                                 |
|                                       | 適切な KPI 設定         | シ. | 事業と直接性があり、客観的な成果を表す KPI を<br>選定し、妥当な水準の目標値を設定している                     |
| 事業の実施・継続<br><do></do>                 | 主体間コミュニケー<br>ション   | ス. | 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている   |
|                                       | こまめな進捗と質の<br>管理    | セ. | KPI の進捗について定期的に管理している   |
|                                       | 安定した人材の確保          | ソ. | 担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している                                |
|                                       | 地域の理解醸成を<br>促す情報提供 | Э. | 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、<br>事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業<br>実施に対する納得感を醸成している |
|                                       | 地域主体の参加促進          | チ. | 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善<br>に参加できる仕組みをつくっている                           |
| 事業の評価・改善<br><check action=""></check> | 外部による効果検証          | ツ. | 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価<br>検証している                                     |
|                                       | KPI 未達成の要因<br>分析   | テ. | KPIの目標達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している                                 |
|                                       | 事業改善方針の<br>明確化     | ト. | 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移し<br>ている  |
|                                       | 事業改善方針の<br>反映      | ナ. | 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に<br>反映している                                      |

上記のうち「外部による効果検証」については、議会・外部機関それぞれによる効果検証の実施状況について集計し、分析を実施した。また、自立化の進捗について、将来の自立化の見込みや進捗状況について集計し、分析を実施した。

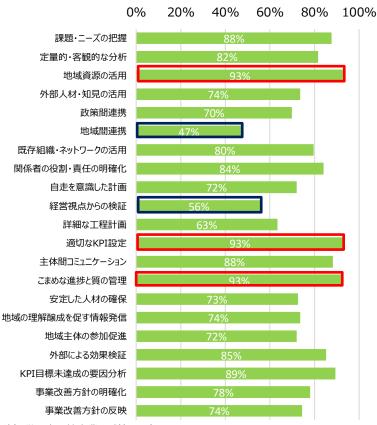
なお、これらの事業のプロセスが事業の結果にどう影響を与えているかについては、次の「事業の結果」の項で分析を行う。

### 1) 事業実施時に留意した項目

### (ア)全体傾向

「取り組むべきこと」の実施率は、項目別では、「地域資源の活用」や「適切な KPI 設定」、「こまめな進捗と質の管理」の実施率が 93%と高い。

一方で、単独事業が大半を占めることから、「地域間連携」が低く 47%であった。また、「経営視点からの検証」の実施率は全体の約 56%と比較的低いが、これらの項目は、事業の自立化に向けて重要となる項目である。資金調達の方法や事業採算性など、事業が継続性を持って自走していくことのできるプロセスを明確化することが重要である。



図表 2-11 「取り組むべきこと」の実施状況

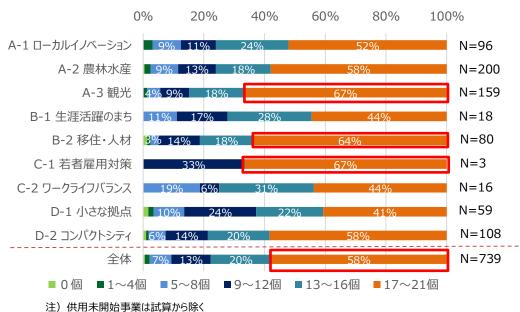
注)供用未開始事業は試算から除く

図表 2-12 「取り組むべきこと」の実施状況(参考、令和 4 年度調査結果)



### (イ) 事業テーマ別の傾向

「取り組むべきこと」21 項目の8割以上(17項目以上)を実施した事業の割合は全体の58%。事業テーマ別では観光分野や移住・人材分野、若者雇用対策分野でその割合が他テーマより特に大きい。



図表 2-13 実施した取組数(事業テーマ別)

事業テーマ別の取組内容を見ると、主に以下の特徴がある。

- ・ 観光分野:他分野と比べて「外部人材・知見の活用」や「地域間連携」、「経営 視点からの検証」の実施率が高い。
- ・ 生涯活躍のまち:他分野と比べて「課題・ニーズの把握」の実施率が高い一方で、「主体間コミュニケーション」、「安定した人材の確保」において実施率が低くなっている。
- ・若者雇用対策分野:「課題・ニーズの把握」や「定量的・客観的な分析」、「外部人材・知見の活用」、「地域間連携」、「地域の理解醸成を促す情報発信」、「KPI 目標未達成の要因分析」、「事業改善方針の反映」が他分野と比べて実施率が高い一方、「地域資源の活用」、「既存組織・ネットワークの活用」、「関係者の役割・責任の明確化」、「主体間コミュニケーション」、「外部による効果検証」、「事業改善方針の明確化」の項目の実施率が低い。
- ・ ワークライフバランス分野:「政策間連携」や「地域の理解醸成を促す情報発信」が他分野と比べて実施率が高い一方、「定量的・客観的な分析」、「地域資源の活用」、「地域間連携」、「既存組織・ネットワークの活用」、「自走を意識した計画」、「経営視点からの検証」、「詳細な工程計画」の実施率が他分野と比べ

て低くなっている。

- ・ 小さな拠点分野:「地域資源の活用」や「外部人材・知見の活用」、「政策間連携」、「地域間連携」、「地域の理解醸成を促す情報発信」、「事業改善方針の明確化」、「事業改善方針の反映」の実施率が他分野と比べて低い。
- ・ コンパクトシティ:「地域間連携」の実施率が他分野と比べて低くなっている。

図表 2-14 「取り組むべきこと」の実施状況(事業テーマ別)



|                   | A #4  |         |         | * * ***** | n       | n n 100 th | a . ##= |          |      |             |
|-------------------|-------|---------|---------|-----------|---------|------------|---------|----------|------|-------------|
| T 1000 11         | 全体    |         | A-2 農林水 | A-3 観光    | B-1 生涯活 | B-2 移住・    |         | C-2 ワークラ |      | D-2 コンパク    |
| 取り組むべきこと          |       | イノベーション |         |           | 躍のまち    | 人材         | 用対策     |          | 拠点   | トシティ        |
|                   | N=739 | N=96    | N=200   | N=159     | N=18    | N=80       | N=3     | N=16     | N=59 | N=108       |
| ア. 課題・ニーズの把握      | 88%   | 84%     | 85%     | 89%       | 100%    | 95%        | 100%    | 94%      | 92%  | 84%         |
| イ. 定量的・客観的な分析     | 82%   | 74%     | 84%     | 86%       | 83%     | 86%        | 100%    | 69%      | 76%  | <b>79</b> % |
| ウ. 地域資源の活用        | 93%   | 94%     | 96%     | 96%       | 89%     | 89%        | 67%     | 75%      | 83%  | 96%         |
| エ. 外部人材・知見の活用     | 74%   | 66%     | 73%     | 84%       | 72%     | 76%        | 100%    | 81%      | 58%  | 72%         |
| 才. 政策間連携          | 70%   | 69%     | 66%     | 75%       | 72%     | 78%        | 67%     | 81%      | 47%  | 75%         |
| 力. 地域間連携          | 47%   | 46%     | 52%     | 58%       | 50%     | 49%        | 67%     | 25%      | 36%  | 32%         |
| キ. 既存組織・ネットワークの活用 | 80%   | 77%     | 78%     | 87%       | 89%     | 79%        | 67%     | 63%      | 76%  | 79%         |
| ク. 関係者の役割・責任の明確化  | 84%   | 77%     | 82%     | 90%       | 78%     | 88%        | 67%     | 75%      | 88%  | 83%         |
| ケ. 自走を意識した計画      | 72%   | 73%     | 70%     | 78%       | 67%     | 68%        | 67%     | 56%      | 66%  | 76%         |
| コ. 経営視点からの検証      | 56%   | 53%     | 53%     | 66%       | 61%     | 55%        | 67%     | 38%      | 44%  | 61%         |
| サ. 詳細な工程計画        | 63%   | 63%     | 64%     | 67%       | 56%     | 66%        | 67%     | 50%      | 56%  | 63%         |
| シ. 適切なKPI設定       | 93%   | 93%     | 96%     | 94%       | 100%    | 89%        | 100%    | 100%     | 86%  | 93%         |
| ス. 主体間コミュニケーション   | 88%   | 85%     | 85%     | 96%       | 78%     | 90%        | 67%     | 81%      | 80%  | 93%         |
| セ. こまめな進捗と質の管理    | 93%   | 96%     | 94%     | 93%       | 89%     | 86%        | 100%    | 94%      | 90%  | 93%         |
| ソ. 安定した人材の確保      | 73%   | 68%     | 70%     | 75%       | 61%     | 80%        | 67%     | 75%      | 71%  | 75%         |
| タ. 地域の理解醸成を促す情報発信 | 74%   | 71%     | 73%     | 80%       | 72%     | 75%        | 100%    | 88%      | 59%  | 73%         |
| チ. 地域主体の参加促進      | 72%   | 66%     | 70%     | 76%       | 78%     | 75%        | 67%     | 63%      | 63%  | 79%         |
| ツ. 外部による効果検証      | 85%   | 90%     | 86%     | 86%       | 78%     | 88%        | 67%     | 94%      | 80%  | 81%         |
| テ.KPI目標未達成の要因分析   | 89%   | 94%     | 92%     | 91%       | 83%     | 86%        | 100%    | 94%      | 81%  | 85%         |
| ト. 事業改善方針の明確化     | 78%   | 78%     | 81%     | 79%       | 72%     | 80%        | 67%     | 88%      | 64%  | 77%         |
| ナ. 事業改善方針の反映      | 74%   | 73%     | 76%     | 77%       | 78%     | 76%        | 100%    | 81%      | 63%  | 72%         |
|                   |       |         |         |           |         |            |         |          |      |             |

注)供用未開始事業は試算から除く

実施主体別にみると、都道府県事業の方が全体と比較して、「政策間連携」や「経営視点からの検証」、「主体間コミュニケーション」の実施率が低い。

図表 2-15 「取り組むべきこと」の実施状況 (実施主体別)

|                   | 全体    | 都道府県        | 市町村         |
|-------------------|-------|-------------|-------------|
| 取り組むべきこと          | N=739 | N=240       | N=499       |
| ア. 課題・ニーズの把握      | 88%   | 82%         | 90%         |
| イ. 定量的・客観的な分析     | 82%   | <b>79</b> % | 83%         |
| ウ. 地域資源の活用        | 93%   | 92%         | 94%         |
| エ、外部人材・知見の活用      | 74%   | 69%         | 76%         |
| 才. 政策間連携          | 70%   | 60%         | 75%         |
| 力. 地域間連携          | 47%   | 51%         | 46%         |
| キ. 既存組織・ネットワークの活用 | 80%   | 74%         | 82%         |
| ク. 関係者の役割・責任の明確化  | 84%   | <b>77</b> % | 87%         |
| ケ. 自走を意識した計画      | 72%   | 65%         | <b>75</b> % |
| コ. 経営視点からの検証      | 56%   | 46%         | 61%         |
| サ. 詳細な工程計画        | 63%   | 67%         | 62%         |
| シ.適切なKPI設定        | 93%   | 95%         | 92%         |
| ス・主体間コミュニケーション    | 88%   | 78%         | 93%         |
| セ、こまめな進捗と質の管理     | 93%   | 93%         | 92%         |
| ソ. 安定した人材の確保      | 73%   | 65%         | 76%         |
| タ. 地域の理解醸成を促す情報発信 | 74%   | <b>70</b> % | <b>75</b> % |
| チ. 地域主体の参加促進      | 72%   | 66%         | <b>75</b> % |
| ツ. 外部による効果検証      | 85%   | 84%         | 86%         |
| テ.KPI目標未達成の要因分析   | 89%   | 90%         | 89%         |
| ト. 事業改善方針の明確化     | 78%   | <b>77</b> % | 79%         |
| ナ. 事業改善方針の反映      | 74%   | <b>76</b> % | 74%         |

金株と比べて10ポイント以上間い項目 金株と比べて10ポイント以上側の項目

注)供用未開始事業は試算から除く

### 2) 効果検証の状況

### (ア)事業テーマ別の効果検証の状況

事業テーマ別にみると、全体の約70%の事業が「議会または外部による効果検 証」を実施しており、42%の事業が「議会及び外部双方の効果検証」を行っている。

A-1 ローカルイノベーション 45% 5% 30% 16% 4% N=96 A-2 農林水産 39% 5% 31% 21% 5% N=200 A-3 観光 38% 8% 19% 29% 6% N=159 B-1 生涯活躍のまち 56% 6%0% 39% 0°N=18 B-2 移住·人材 43% 8%10% 35% 5% N=80 C-1 若者雇用対策 67% 0% 33% 0<sup>N</sup>=3 C-2 ワークライフバランス 44% 6% 19% 31% 0° N=16 D-1 小さな拠点 49% 2<mark>%14% 29% 7%</mark> N=59 21% 6% N=108 D-2 コンパクトシティ 10% 22%

■議会+外部 ■議会のみ ■外部のみ ■実施予定 ■実施していない

全体 42% 6% 22% 25% 5% N=739

図表 2-16 効果検証の状況(事業テーマ別)

注)供用未開始事業は試算から除く

全体の 63%の事業は効果検証において改善が必要との指摘はされていない。効果検証を受けて適切な改善が図られた事業は全体の 5%にとどまる。

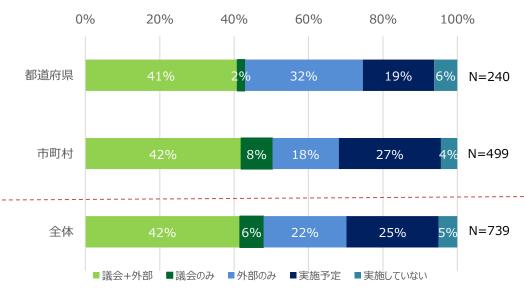
図表 2-17 効果検証を受けた改善(事業テーマ別)

1% 4% 21% N=96 A-1 ローカルイノベーション 74% A-2 農林水産 68% 3% 2% 28% N=200 A-3 観光 60% 6% 1% 33% N=159 B-1 生涯活躍のまち 56% 6% 0% 39% N=18 B-2 移住·人材 5%1% 39% N=80 N=3 C-1 若者雇用対策 67% 0<mark>% 33</mark>% C-2 ワークライフバランス 50% 6%6% 38% D-1 小さな拠点 61% 0% 2% 37% D-2 コンパクトシティ 12% 1% 30% N=108 全体 63% 5% 1% 31% N=739

- ■①効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている
- ■②効果検証において「改善が必要」との指摘があり、適切な改善を図っている
- ■③効果検証において「改善が必要」との指摘があったが、現状では適切な改善が図られていない
- ■未回答
- 注) 供用未開始事業は試算から除く

### (イ) 実施主体別の効果検証の状況

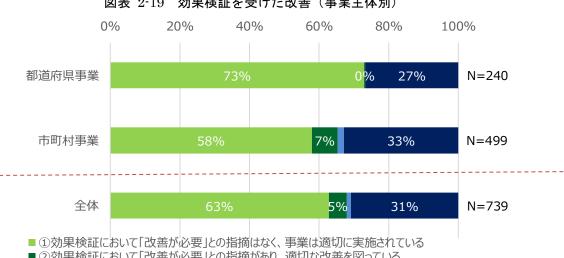
都道府県事業は、市町村事業に比べて「議会または外部による効果検証」を実施 した割合が高い。



図表 2-18 効果検証の状況(事業主体別)

注)供用未開始事業は試算から除く

都道府県事業は、効果検証における改善の指摘を受けなかった割合が0%となっ ている。



図表 2-19 効果検証を受けた改善(事業主体別)

- ■②効果検証において「改善が必要」との指摘があり、適切な改善を図っている
- ■③効果検証において「改善が必要」との指摘があったが、現状では適切な改善が図られていない
- ■未回答

### 3) 効果検証の実施内容

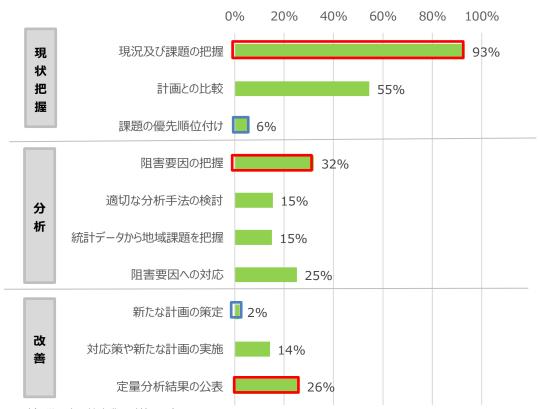
### (ア)全体傾向

効果検証の実施内容について、「現状把握」、「分析」、「改善」の各プロセスに分けて具体的な効果検証プロセスの実施有無を調査した。

「現状把握」については、「現況及び課題の把握」は93%の事業が実施しているが、「課題の優先順位付け」は6%と低い。「分析」については、「阻害要因の把握」を実施している地方公共団体は32%であり、その他の分析項目の実施率は15%~25%であった。

「改善」については、「定量分析結果の公表」は 26%の事業が実施しているが、「新たな計画の策定」は 2%に留まった。

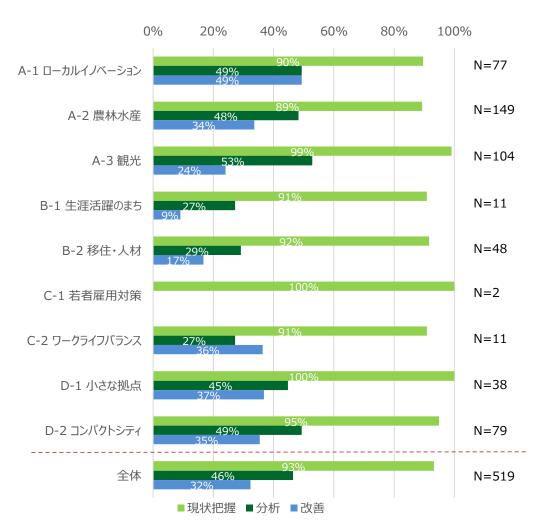
現状把握は大部分の地方公共団体で取り組まれているが、分析や改善の実施は 一部の事業に留まっている。



図表 2-20 効果検証プロセスの実施有無

# (イ) 事業テーマ別の傾向

事業テーマ別では、効果検証プロセスの「現状把握」、「分析」、「改善」各プロセスの実施状況について、実施項目を1個以上実施している割合では「現状把握」 93%、「分析」46%、「改善」32%であった。



図表 2-21 効果検証プロセスの実施有無まとめ(事業テーマ別)

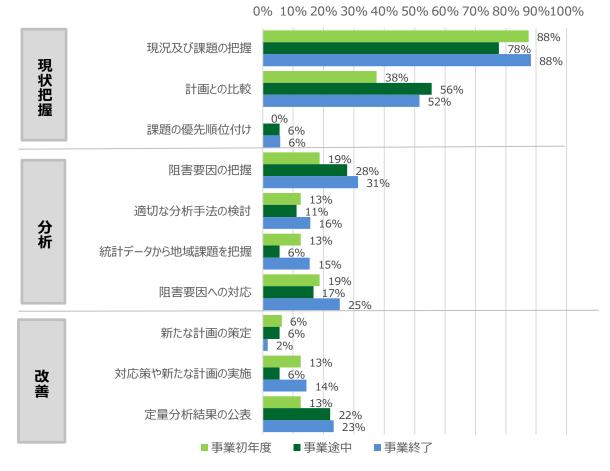
- 注1)供用未開始事業は試算から除く
- 注2) 効果検証を実施していない事業は試算から除く

## (ウ) 事業年度別の傾向

現状把握のプロセスについては、「現況及び課題の把握」が、事業初年度では88%、 事業途中では78%の事業で実施されている。一方で、分析及び改善のプロセスに ついては、いずれの事業フェーズでも実施率が低い。

「現状把握」では、課題の把握は行われている割合が高いものの、「課題の優先順位付け」を実施している事業は少ない。

図表 2-22 効果検証プロセスの実施の有無(事業年度別)



## (エ)事業テーマ別の傾向

実施計画時点では、全体の85%の事業で自立化が見込まれている。

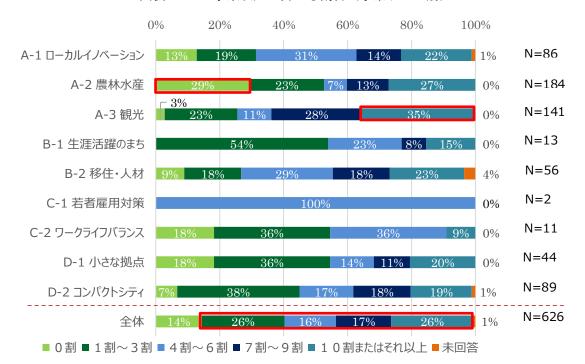
テーマ別にみると、ローカルイノベーション分野や農林水産分野、観光において自立化を見込む割合が高い。一方で、移住・人材分野や若者雇用対策分野においては、自立化を見込んでいない割合が比較的高い。

0% 20% 40% 60% 80% 100% A-1 ローカルイノベーション 10% 0% N=96 A-2 農林水産 7% 1% N=200 A-3 観光 11% 0% N=159 B-1 生涯活躍のまち 0% N=18 B-2 移住·人材 0% N=80 30% C-1 若者雇用対策 0% N=3 C-2 ワークライフバランス 6% N=16 D-1 小さな拠点 ■2% N=59 D-2 コンパクトシティ 18% 0% N=108 15% 1% N=739 全体 **■** ①あり ■ ②なし ■未回答

図表 2-23 実施計画時点の自立化の見込み (事業テーマ別)

交付金事業終了の翌年度における事業運営コストに占める事業収入割合の見込みについてみると、85%の事業が事業収入を見込んでいる。

事業テーマ別にみると、観光分野では 35%の事業が事業収入で全ての事業運営 コストをカバーできる見込みとなっている一方で、農林水産分野では 29%の事業 が事業収入を見込んでいない。

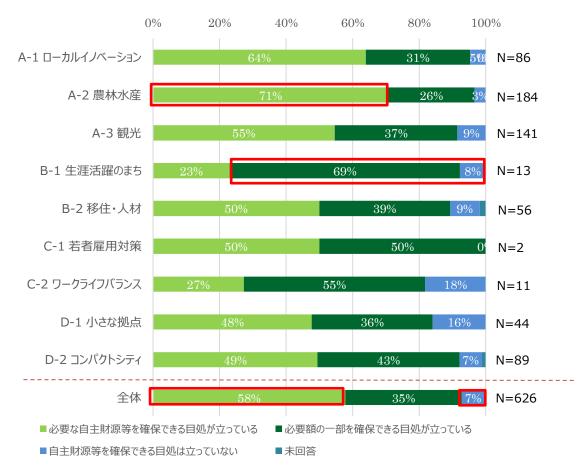


図表 2-24 事業収入が占める割合(事業テーマ別)

- 注 1) 交付金事業終了の翌年度における、事業運営コスト(投資に係る支出は除く)に占める割合を回答
- 注 2) 事業実施報告にて「自立化の見込みあり」と回答している事業が集計対象
- 注3)供用未開始事業は試算から除く

令和 4 年度の事業実施を踏まえた自立化の進捗状況について、58%の事業が必要な自主財源等を確保できる見込みである。一方で、供用開始から日が浅い事業も多く、約 7%の事業は現時点でこれらの財源確保の目処が立っていない。

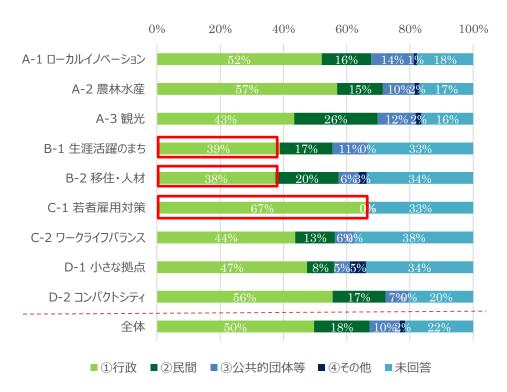
テーマ別に比較すると、農林水産分野では、必要な自主財源等を確保している割合が高い。一方で、生涯活躍のまち分野では、約77%の事業が必要な自主財源等を確保できる目処がたっていない。



図表 2-25 自立化の進捗状況(事業テーマ別)

- 注 1) 「自主財源等を確保」とは、事業収入と一般財源を合わせて事業運営コストを賄えていることをいう
- 注 2) 事業実施報告にて「自立化の見込みあり」と回答している事業が集計対象
- 注3)供用未開始事業は試算から除く

事業推進主体の属性を事業テーマ別に見ると、若者雇用対策分野では、行政が主体で推進している事業の割合が高い。一方で、生涯活躍のまち分野、移住・人材分野では、行政が主体となって推進している事業の割合が低い。



図表 2-26 事業推進主体の属性(事業テーマ別)

# (オ) 実施主体別の傾向

都道府県事業は、自立化を見込む割合が市町村事業に比べてやや高い。

70% 20% 40% 60% 80% 100% 80% 100% 80% 100% N=240 17% N=499 15% N=739 15% N=739 15% N=739

図表 2-27 実施計画時点における自立化の見込み (実施主体別)

#### (カ) 自立化の課題

自立化の課題をみると、73%の事業において、課題が現状未解決となっている。なかでも、⑩ビジネスモデルの設計(メリット・デメリットの把握が不十分)や⑯その他、⑫資金調達(事業収入・協賛金などの確保)の課題の未解決割合が大きかった。

0% 10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%①事業推進体制の構築(連携体制構築・合意形成) ②事業推進体制の構築 (運営推進体制の構築) ③事業推進体制の構築(体制外の関係者との合意形成) ④人材の確保(行政内での人材の確保・引継ぎ) ⑤人材の確保(専門的知識を有する人材の確保) 75% ⑥人材の確保(労働力としての人材の確保) ⑦人材の育成(行政内での人材の育成) ⑧人材の育成(事業実施主体での人材の育成) 73% ⑨ビジネスモデルの設計(役割、資金調達スキームの設計が不十分) 82% ⑩ビジネスモデルの設計 (メリット・デメリットの把握が不十分) ⑪ビジネスモデルの設計 (許認可の取得による遅延) 50% ②資金調達(事業収入・協賛金などの確保) 90% ⑬資金調達 (一般財源の確保) 44% ⑭市場拡大・開拓 (ターゲット (顧客等) の動向変化) ⑤市場拡大・開拓(事業取組の周知・情報発信不足) 78% 16その他 3% 97% 73% 全体

図表 2-28 自立化の課題 (解決済・未解決)

注1) 自立化の課題は最大3つまで回答可能

注2)供用未開始事業は試算から除く

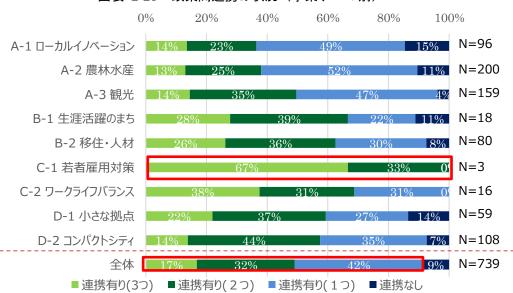
■解決済み

■未解決

### 4) 政策間連携の状況

# (ア)事業テーマ別の傾向

80%以上の事業が、他分野と連携していると回答した。特に、若者雇用対策分野では、2分野以上と連携している割合が100%であり、多角的な政策として展開されている。



図表 2-29 政策間連携の状況(事業テーマ別)

- 注1)連携先の事業テーマは最大3つまで回答可能
- 注2)供用未開始事業は試算から除く

連携先の事業テーマでは、観光分野が連携先として最も多く、全事業の約 31% が観光分野と連携している。

テーマ別では観光とコンパクトシティおよび観光と農林水産の組み合わせが最も多い。

図表 2-30 連携対象の事業テーマ (※自テーマ間の連携は除く)

| 連携先             | 全体    | A-1 ローカルイノ<br>ベーション | A-2 農林水産 | A-3 號光 | B-1 生涯活躍の<br>まち | B-2 移住·人材 | C-1 若香雇用対<br>策 | C-2 ワークライフ<br>バランス | D-1 小さな拠点 | D-2 コンパクトシ<br>ディ |  |
|-----------------|-------|---------------------|----------|--------|-----------------|-----------|----------------|--------------------|-----------|------------------|--|
| 連携元             | N=739 | N=96                | N=200    | N=159  | N=18            | N=80      | N=3            | N=16               | N=59      | N=108            |  |
| A-1 ローカルイノベーション | 8%    |                     | 13%      | 10%    | 9%              | 6%        | 0%             | 19%                | 13%       | 5%               |  |
| A-2 農林水産        | 21%   | 27%                 |          | 47%    | 18%             | 17%       | 20%            | 10%                | 17%       | 20%              |  |
| A-3 観光          | 31%   | 10%                 | 48%      |        | 36%             | 36%       | 20%            | 14%                | 34%       | 48%              |  |
| B-1 生涯活躍のまち     | 7%    | 1%                  | 2%       | 5%     |                 | 11%       | 0%             | 19%                | 10%       | 10%              |  |
| B-2 移住·人材       | 15%   | 39%                 | 22%      | 19%    | 9%              |           | 40%            | 19%                | 11%       | 8%               |  |
| C-1 若者雇用対策      | 10%   | 10%                 | 11%      | 7%     | 5%              | 20%       |                | 14%                | 10%       | 5%               |  |
| C-2 ワークライフバランス  | 3%    | 8%                  | 1%       | 3%     | 9%              | 8%        | 20%            |                    | 3%        | 0%               |  |
| D-1 小さな拠点       | 4%    | 3%                  | 3%       | 6%     | 9%              | 2%        | 0%             | 5%                 |           | 5%               |  |
| D-2 コンパクトシティ    | 1%    | 3%                  | 0%       | 3%     | 5%              | 1%        | 0%             | 0%                 | 3%        |                  |  |

注 1) 連携先の事業テーマごとに、連携先として回答された事業テーマ別の事業数(自テーマを除く)を集計し、連携元の事業テーマ数で除した結果を表示

#### 5) 供用開始時期

### (ア)事業テーマ別の傾向

事業実施報告時点で全体の83%以上が供用を開始している。

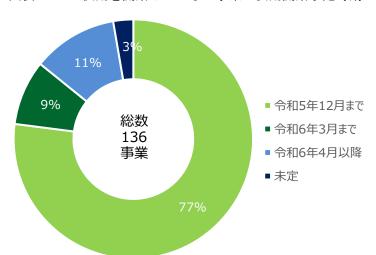
図表 2-31 供用開始状況 (事業テーマ別) 40% 80% 0% 20% 60% 100% 9% 0% N=106 A-1 ローカルイノベーション 11% 0% N=225 A-2 農林水産 17% 1% N=191 A-3 観光 B-1 生涯活躍のまち 25% 0% N=24 B-2 移住·人材 16% 0% N=95 C-1 若者雇用対策 0 0% N=3 C-2 ワークライフバランス 0% N=20 20% D-1 小さな拠点 27% 0% N=81 D-2 コンパクトシティ 24% 0% N=142 全体 0% N=887 ■①開始済 ■②まだ開始していない ■未回答

注)連携先の事業テーマごとに、連携先として回答された事業テーマ別の事業数(自テーマを除く)を集計し、連携元の事業テーマ数で除した結果を表示

「全体」列については、連携先として回答された事業テーマ別の事業数(自テーマを除く)を集計し、事業総数で除した結果

注 2) 全体」列については、連携先として回答された事業テーマ別の事業数(自テーマを除く)を集計し、事業総数で除した結果を表示

事業実施報告時点で供用を開始していない事業について、供用開始予定時期の 内訳は以下の通り。約86%が令和5年度内の供用開始を予定している。



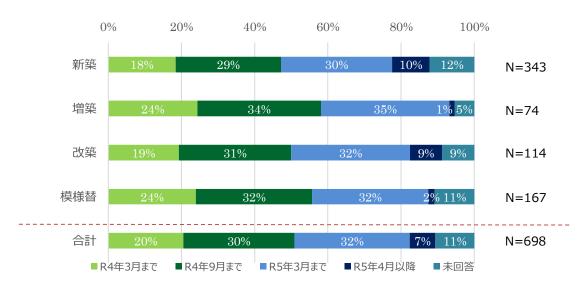
図表 2-32 供用を開始していない事業の供用開始予定時期

### (イ) 施設の建設区分別の傾向

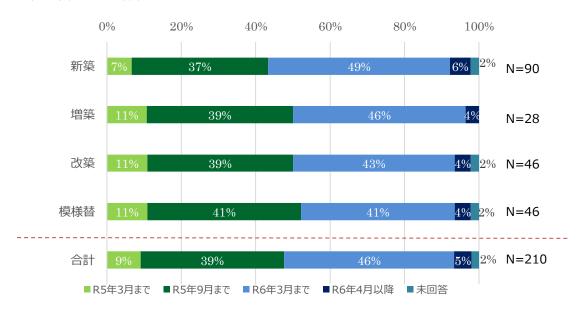
令和2年度補正予算及び令和3年度予算活用事業をみると、令和3年度内に供用開始した事業は20%。建設区分別では、増築及び模様替えにおいてその割合が高い。また、令和4年度予算活用事業をみると、令和4年度内に供用開始した事業は9%。建設区分別では、新築、増築及び模様替えにおいてその割合が高い。

図表 2-33 供用開始時期の状況 (施設の建設区分別)

## (R2、R3 年度実施事業)



### (R4 年度実施事業)



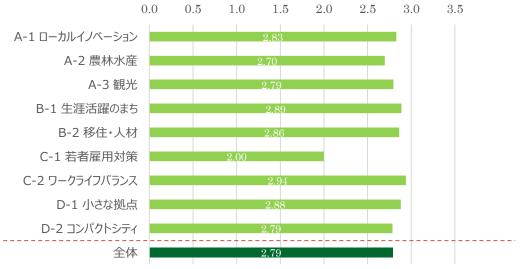
### 2.2.3 事業の結果

拠点整備タイプは、交付金を活用して地方創生の拠点となる施設を整備するものであり、 交付金の活用年度は主として施設の建設・改修等が行われている。そのため大半の事業において、事業のアウトプットやアウトカム等の効果が発現するのは、施設が本格的に供用される交付金活用年度の翌年度以降となっている。本調査の対象期間である令和 4 年度事業については、令和 5 年度以降の施設の供用の結果を踏まえて変化する可能性があることに留意が必要である。

### 1) KPIの実績

- (ア)事業テーマ別の傾向
  - ① KPI の設定状況

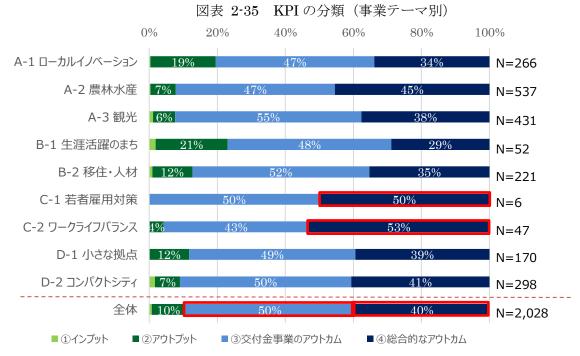
1事業当たりの KPI 数は平均 2.79 個であった。事業テーマ別に比較すると、若者雇用対策分野は平均 2.0 個と少なくなっているが、それ以外の分野では、1事業当たりの KPI 数にテーマ別の大きな差異は見られない。



図表 2-34 1事業当たりの KPI 数 (事業テーマ別)

### ② KPI の分類

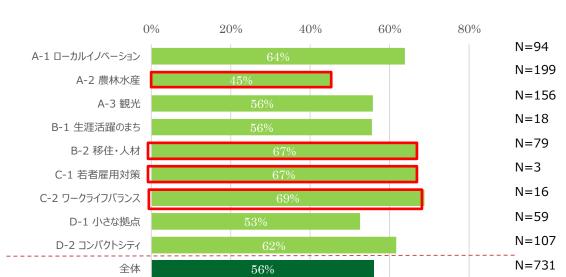
KPI 全体の 50%弱が③交付金事業のアウトカムであり、④総合的なアウトカムと合わせると、全体の約 90%がアウトカム指標となっている。テーマ別では、ワークライフバランス分野や若者雇用対策分野における④総合的なアウトカムの割合が高く、50%以上を占める。



注)供用未開始事業は試算から除く

# ③ KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

少なくとも一つの KPI 目標を達成した事業は、全体の 56%であった。テーマ別では、ワークライフバランスで達成率が最も高く、次いで、移住・人材、若者雇用対策が高い。一方で、農林水産の達成率は 45%にとどまる。



図表 2-36 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(事業テーマ別)

- 注1)供用未開始事業は試算から除く
- 注2) 共同(連携) 事業は試算から除く

# ④ 目標値に達した KPI の割合

目標値に達した KPI は全体の 36%。テーマ別では、若者雇用対策の分野で達成率が高い。一方で、農林水産分野や生涯活躍のまち分野では達成率が低い。

0% 20% 40%60%N=266 A-1 ローカルイノベーション N=537 A-2 農林水産 N=436 A-3 観光 N=52 B-1 生涯活躍のまち N=226 B-2 移住·人材 N=6 C-1 若者雇用対策 N = 47C-2 ワークライフバランス N=170 D-1 小さな拠点 N = 298D-2 コンパクトシティ 全体 N=2,03836%

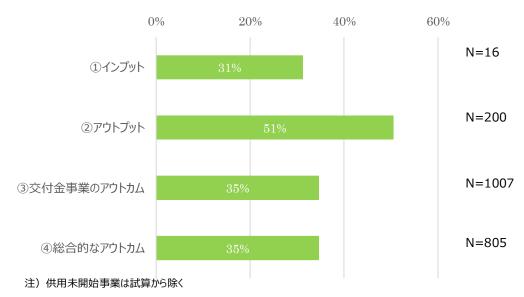
図表 2-37 目標値に達した KPI の割合 (事業テーマ別)

- 注1)供用未開始事業は試算から除く
- 注2) KPI は最低1つ、最大4つ設定可能

ここで、KPI の分類別の目標達成割合を見てみると、②アウトプットが 51% となっている一方で、①インプットと③交付金事業のアウトカム、④総合的なアウトカムの KPI 目標達成割合は低い結果となっている。

総合的アウトカムは、交付金事業以外の要因にも影響を受けるためその他の KPI に比べて達成率が低いものと考えられる。

なお、KPIの設定では、②アウトプットと③交付金事業のアウトカムの両方が設定されている状態が望ましい。

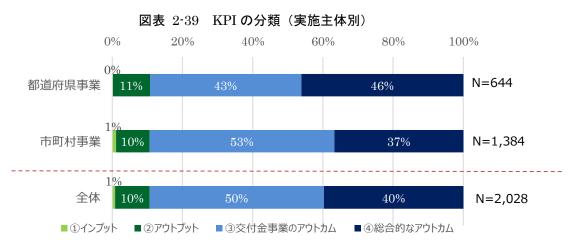


図表 2-38 KPI の分類別の目標達成状況

### (イ) 実施主体別の傾向

#### KPI の分類

実施主体別にみると、都道府県事業と市町村事業で、KPI の分類に大きな差異はみられなかった。



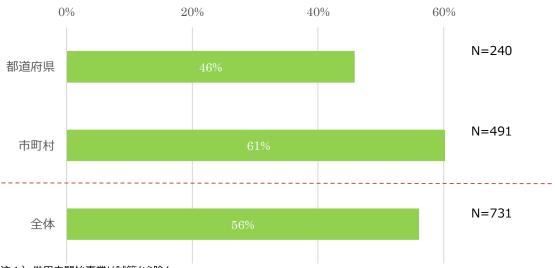
注1)供用未開始事業は試算から除く

注2) KPI は最低1つ、最大4つ設定可能

### ② KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

市町村事業の方が、都道府県事業と比較して、KPI 目標を達成した事業の割合が高い。

図表 2-40 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(実施主体別)



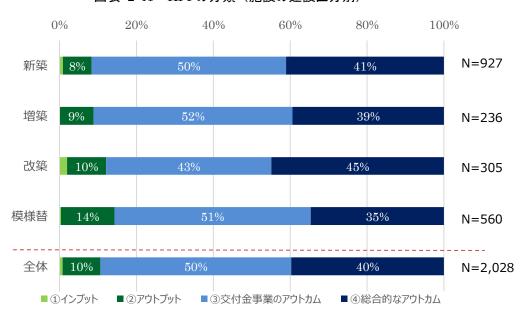
- 注1)供用未開始事業は試算から除く
- 注2) 共同(連携) 事業は試算から除く

### (ウ) 施設の建設区分別の傾向

#### ① KPI の分類

施設の建設区分によって、KPIの分類に大きな差異は見られない。

図表 2-41 KPI の分類 (施設の建設区分別)

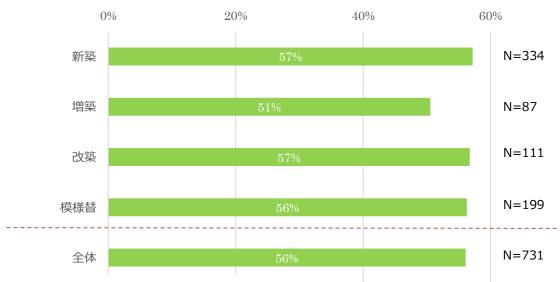


- 注1)「建設区分」が未回答の事業は試算から除く
- 注2)供用未開始事業は試算から除く

# ② KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合

施設の建設区分によって、KPI 目標を達成した事業の割合に大きな差異は 見られない。

図表 2-42 KPI目標を一つ以上達成した事業の割合(施設の建設区分別)



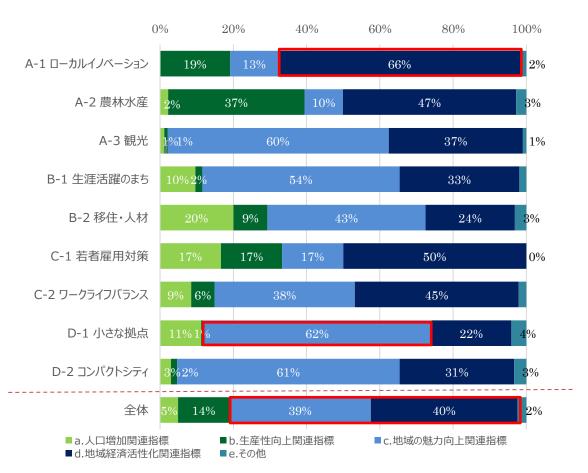
- 注1)「建設区分」が未回答の事業は試算から除く
- 注2)供用未開始事業は試算から除く
- 注3)共同(連携)事業は試算から除く

### (エ) KPI の区分と課題との関係

### ① 分野ごとの KPI の区分

KPI の分類について、地域経済活性化関連の指標を設定している割合は、最も多く 40%、次に地域の魅力向上関連の指標が 39%であった。

地域経済活性化関連の指標は、ローカルイノベーション分野で多く、地域の 魅力向上関連の指標は小さな拠点分野で多かった。

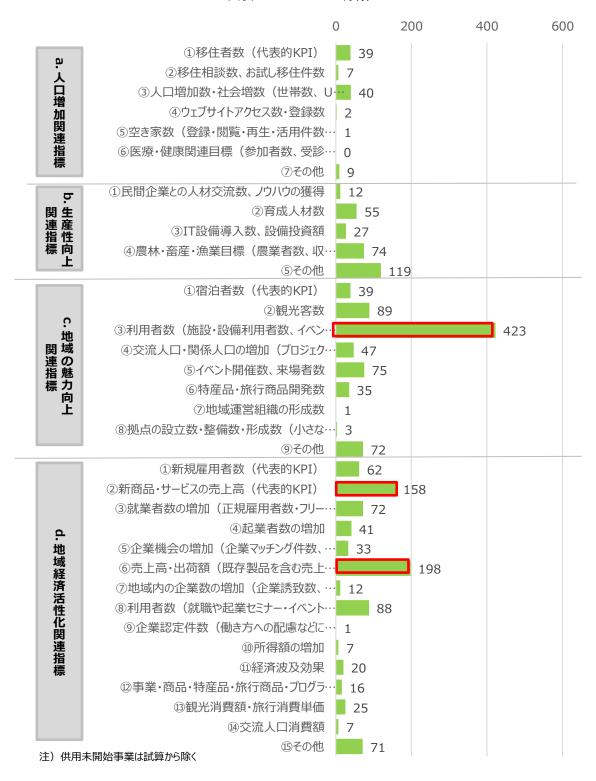


図表 2-43 事業テーマ別設定 KPI の分類

- 注1)「KPIの分類」が未回答のKPIは試算から除く
- 注2)供用未開始事業は試算から除く

設定される KPI としては、利用者数(施設・設備利用者数など)が最も多く、売上高・出荷額(既存製品を含む売上高など)、新商品・サービス売上高 (代表的 KPI) が続く。

図表 2-44 KPI の分類



### ② KPIの達成率と課題・取組との関係

地方公共団体の課題・取組の分類別に KPI 目標を達成した事業の割合をみると、全体では、課題として「③出生者数の減少」を挙げた事業では KPI 達成率が高く、「⑥労働力の低下」では KPI の達成率が低い。

課題と取組の組み合わせの傾向をみると、KPI 達成率が高い組み合わせと 低い組み合わせが存在する。

# 図表 2-45 KPI目標を達成した事業の割合 (「地方公共団体の課題・取組」の分類別)

|  | 全体と比べて 10 ポイ | 全体と比べて 10 ポ |
|--|--------------|-------------|
|  | ント以上高い項目     | イント以上低い項目   |

| 自治体の取組                  |       | a.人口を増加させる取組 |       |               |              | b.生産性を向上させる取組 |       |      |             |            |                | c.地域の魅力を向上させる取組 |                      |            |                             |     |                     | d.地域の経済を活性化させる取組 |                        |              |
|-------------------------|-------|--------------|-------|---------------|--------------|---------------|-------|------|-------------|------------|----------------|-----------------|----------------------|------------|-----------------------------|-----|---------------------|------------------|------------------------|--------------|
|                         | 全体    | ①移住促進        | ②転出防止 | ③子育て・<br>介護支援 | ⑥施設−設<br>信整備 | ①民間ノウ<br>ハウ活用 | ②人材育成 |      | 設備導入-<br>整備 | ⑤働き方改<br>革 | ⑥ 高辞者の<br>雇用促進 | ①地域ブラ<br>ンド化    | ②地域資源<br>の活用・再<br>注目 | ②地域間連<br>排 | <ul><li>・機点の導入・整備</li></ul> |     | ⑥観光客の<br>受入体制整<br>備 |                  | ②製品・<br>サービス関<br>発/販売促 | ③ 飛騨創出<br>支援 |
| 自治体の課題                  | N=727 | N=24         | N=12  | N=12          | N=6          | N=2           | N=29  | N=12 | N=96        | N=4        | N=1            | N=38            | N=0                  | N=3        | N=316                       | N=4 | N=16                | N=60             | N=51                   | N=41         |
| ①高齢化の進行                 | 54%   | -            | 100%  | -             | 0%           | -             | -     | -    | -           | -          | 100%           | -               | -                    | -          | 50%                         | -   | -                   |                  | -                      | -            |
| ②転出費の増加                 | 73%   | 71%          | 71%   | -             | 100%         | 100%          | -     | -    | -           | -          | -              | -               | -                    | 0%         | 82%                         | -   | -                   | -                | 0%                     | 100%         |
| 3出生養数の減少                | 80%   | 100%         | -     | 75%           | -            | -             | -     | -    | -           | -          | -              | -               | -                    | -          | -                           | -   | -                   | -                | -                      | -            |
| ④結婚・出産・子育で<br>等のハードルの高さ | 69%   | 100%         | 100%  | 63%           | -            | -             | -     | -    | -           | 100%       | -              | -               | -                    | -          | 0%                          | -   | -                   |                  | -                      | -            |
| ⑤産業活力の低下                | 54%   | 100%         | -     | -             | -            | 100%          | 40%   | 71%  | 51%         | -          | -              | 36%             | -                    | -          | 73%                         | -   | 67%                 | 49%              | 47%                    | 59%          |
| ⑥労働力の低下                 | 48%   | 100%         | 100%  | •             | 0%           | •             | 33%   | 0%   | 64%         | 0%         | •              | -               | -                    | •          | 67%                         | •   | •                   | -                | -                      | 0%           |
| ②雇用機会の減少                | 58%   | 100%         | 100%  | -             | -            | -             | -     | -    | 0%          | 100%       | -              | 50%             | -                    | 0%         | 50%                         | -   | -                   | 100%             | 50%                    | 50%          |
| ※担い手不足                  | 55%   | 60%          | -     | -             | 0%           | -             | 53%   | 50%  | 40%         | -          | -              | 100%            | -                    | -          | 20%                         | -   | -                   | 86%              | -                      | 0%           |
| ⊕無力あるインフラ等<br>の不足       | 65%   | -            | -     |               | 0%           | -             |       | -    | 0%          |            |                | 50%             | -                    | -          | 69%                         | 0%  | 50%                 | 100%             |                        | 67%          |
| ①地方の魅力の低下               | 52%   | -            | -     | -             | 100%         | -             | 0%    | -    | -           | -          | -              | 41%             | -                    | 100%       | 51%                         | 67% | 64%                 | 75%              | 67%                    | 100%         |
| 全体                      | 56%   | 75%          | 83%   | 67%           | 33%          | 100%          | 45%   | 50%  | 51%         | 75%        | 100%           | 45%             | -                    | 33%        | 58%                         | 50% | 63%                 | 57%              | 47%                    | 59%          |

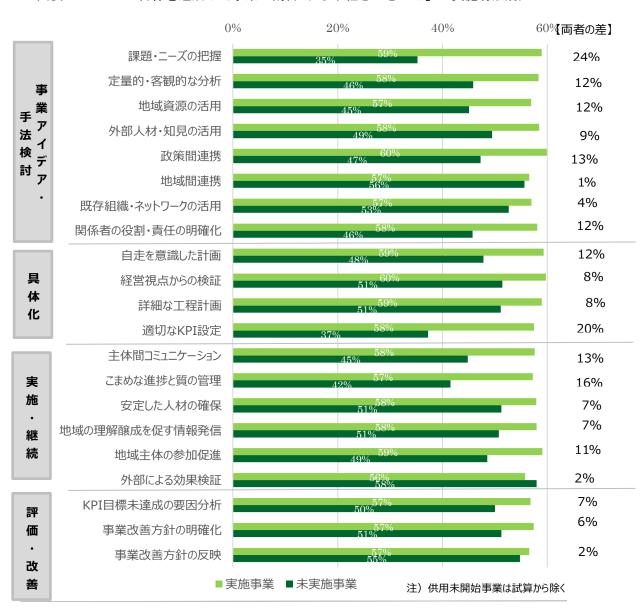
- 注1)「地方公共団体の課題」「地方公共団体の取組」が未回答の事業は試算から除く
- 注2)供用未開始事業は試算から除く

## (オ)事業実施時に留意した項目との関係性

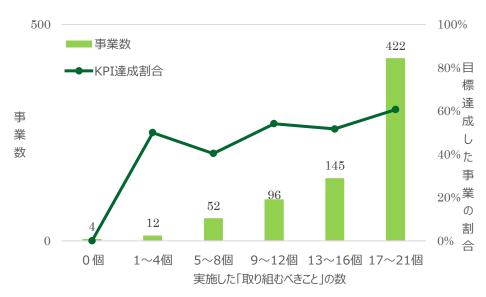
ガイドラインで定められたそれぞれの「取り組むべきこと」について、これを実施した事業と実施しなかった事業とで KPI 目標の達成に違いが生じるかを分析した。その結果、21 項目中 20 項目について、これを実施した事業の方が KPI 目標の達成割合が高い結果となった。

特に、「課題・ニーズの把握」、「地域資源の活用」、「適切な KPI 設定」「こまめな進捗と質の管理」といった項目は、実施の有無によって KPI 目標を達成した事業の割合に大きな差が生じており、これらの項目の実施が、KPI 目標の達成に貢献している可能性が考えられる。

図表 2-46 KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施有無別)



実施した「取り組むべきこと」の項目数別の KPI 目標を達成した事業の割合を 見たところ、「取り組むべきこと」の実施数が多いほど KPI 目標を達成した事業の 割合が高い傾向がみられた。

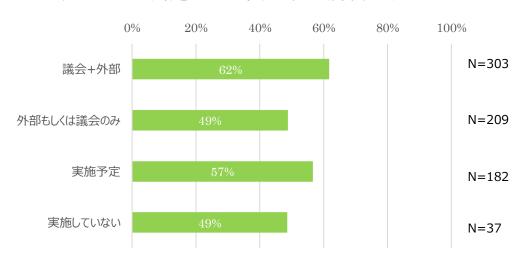


図表 2-47 KPI 目標を達成した事業の割合(「取り組むべきこと」の実施数別)

#### 注) 供用未開始事業は試算から除く

## (カ) 効果検証の状況との関係性

外部及び議会での効果検証を実施した事業は、効果検証を実施していない事業 と比べて、KPI 目標を達成した割合が高くなっている。



図表 2-48 KPI 目標を達成した事業の割合(効果検証の状況別)

注1)供用未開始事業は試算から除く

注2) 共同(連携) 事業は試算から除く

各効果検証のプロセスの実施有無別に KPI 目標の達成割合をみると、特に、統計データからの地域課題の把握、定量分析結果の公表については、実施の有無が大きく達成率に影響していると考えられる。

図表 2-49 KPI 目標を達成した事業の割合(各効果検証のプロセスを実施有無)



# (キ) 財源確保の進捗との関係性

必要な財源を確保できる、または一部確保できる目途が立っている事業と確保の目途が立っていない事業との間で KPI 目標を達成した事業の割合に大きな差はみられない。



N = 24

図表 2-50 KPI 目標を達成した事業の割合 (財源確保の進捗状況別)

- 注1) 財源確保見込み「あり」と回答した事業のみ試算対象とする
- 注2)供用未開始事業は試算から除く
- 注3) 財源確保有無について未回答の事業は試算から除く

自主財源等を確保できる目処は立っていない

### 2) 地方創生への効果認識

### (ア)事業テーマ別の傾向

全体の 90%が地方創生に効果があったと回答し、地方創生に非常に効果的であったと認識された事業は全体の 24%。

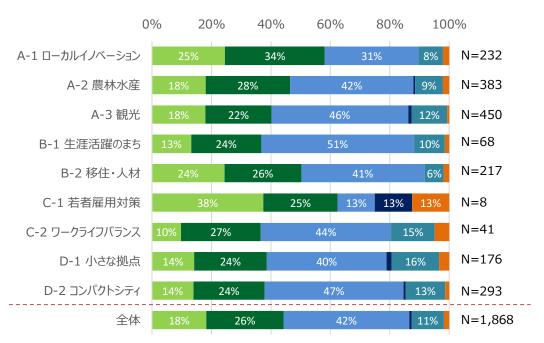
一方で、全体の8%の事業が効果の有無はまだわからないと回答している。

0% 20% 40% 60% 80% 100% A-1 ローカルイノベーション 33% 27% 7%4% N=96 A-2 農林水産 46% 7% 1% N=200 27% A-3 観光 31% 35% 10% 1% N=159 B-1 生涯活躍のまち 11% 0% N=18 33% 33% B-2 移住·人材 26% 36% 5%0% N=80 C-1 若者雇用対策 0% N=3 C-2 ワークライフバランス 31% 6%0% N=16 38% D-1 小さな拠点 24% 34% 17% 2% N=59 D-2 コンパクトシティ 8% 1% N=108 30% 40% 8% 1% N=739 全体 29% 37%

図表 2-51 地方創生への効果認識の状況(事業テーマ別)

- ■①地方創生に非常に効果的であった■②地方創生に相当程度効果があった
- ■③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ■⑤効果の有無はまだわからない
- ■未回答

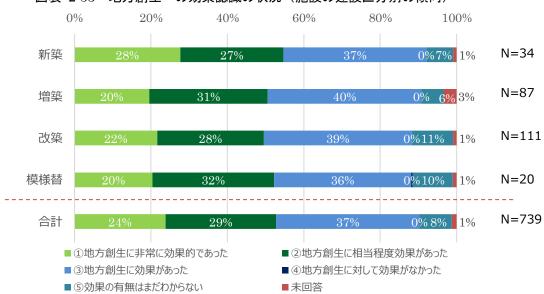
図表 2-52 地方創生への効果認識の状況(参考、令和4年度調査結果)



- ■①地方創生に非常に効果的であった■②地方創生に相当程度効果があった
- ■③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ■⑤効果の有無はまだわからない
- ■未回答

# (イ) 施設の建設区分別の傾向

施設の建設区分によって、地方創生の効果認識に大きな差異は見られない。

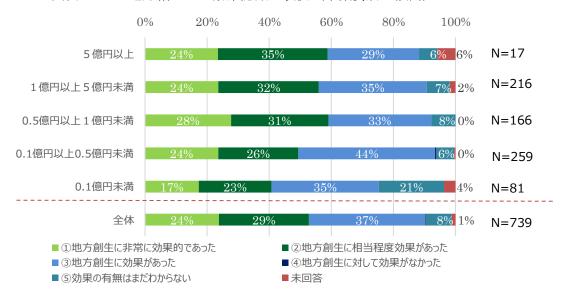


図表 2-53 地方創生への効果認識の状況 (施設の建設区分別の傾向)

注)「建設区分」が未回答及び供用未開始事業は試算から除く

### (ウ) 事業費別の傾向

事業期間を通じた交付対象事業費別の傾向を見てみると、事業費が大きくなる につれて地方創生に非常に効果的であった割合や相当程度効果があった割合が高 まる傾向があった。



図表 2-54 地方創生への効果認識の状況 (事業費別の傾向)

#### 注)供用未開始事業は試算から除く

### (エ)事業実施時に留意した項目との関係性

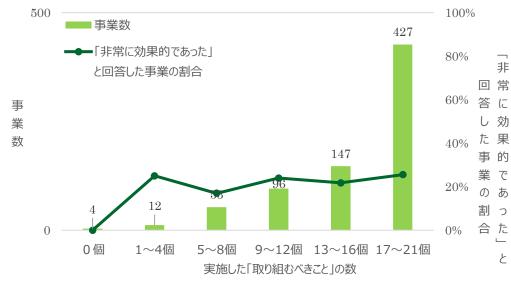
21 項目のうち全 20 項目について、「取り組むべきこと」を実施した事業の方が地方創生への効果認識が高い。

特に、「こまめな進捗と質の管理」、「外部による効果検証」「KPI 目標未達成の要因分析」といった項目は地方創生への効果認識に貢献していると考えられる。

図表 2-55 地方創生への効果認識の状況 (「取り組むべきこと」の実施有無別) (地方創生に非常に効果的であったと回答した割合)



実施した「取り組むべきこと」の項目数別の地方創生に非常に効果的であったと認識された事業の割合を見てみると、「取り組むべきこと」の実施数が増加するにつれてその割合が若干高まる傾向があった。事業プロセスの充実が、地方創生への効果認識に好影響を及ぼしているものと考えられる。

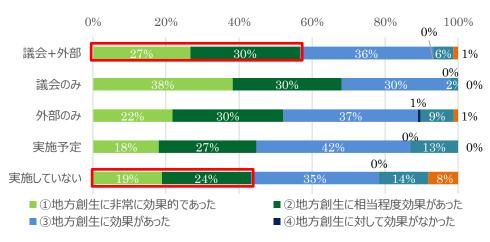


図表 2-56 地方創生への効果認識の状況(「取り組むべきこと」の実施数別)

注)供用未開始事業は試算から除く

### (オ) 効果検証の状況との関係性

外部や議会による効果検証を実施している事業は、効果検証を実施していない 事業と比べて「非常に効果的であった」、「相当程度効果があった」と回答した割合 が高い。



図表 2-57 地方創生への効果認識の状況(効果検証の状況別)

### 3) 事業実施時に感じた課題・苦労

### (ア)課題・苦労の内容

①その他が最も多く課題・苦労として挙げられ、内容は新型コロナウイルスの影響が多かった。次いで、②人材の確保・育成、①事業推進体制の検討に課題・苦労を抱えた事業が多かった。



図表 2-58 課題・苦労の内容

注)供用未開始事業は試算から除く

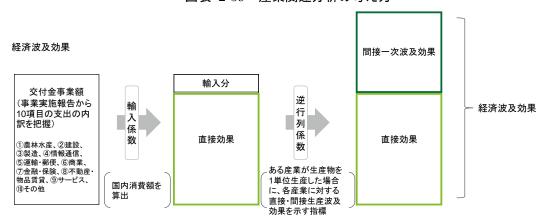
### 2.2.4 経済波及効果

各事業における支出額を基に、拠点整備タイプ事業全体としての経済波及効果を産業連 関分析により試算した。なお、ここでは、間接一次波及効果まで試算対象とした。

### 1) 産業連関分析の考え方

事業実施報告では13部門分類を前提としつつ、支出先に分類し難い項目(鉱業、電力等)を「その他」に括り、10項目の提出を求めた。

その後、「その他」の支出額を9項目の比率毎に分配し、13部門ベースで産業関連分析を実施。算出された鉱業、電力等の波及効果は「その他」として再度整理した。



図表 2-59 産業関連分析の考え方

※輸入係数、逆行列係数は総務省「平成27年産業連関表」の13部門分類表を使用

#### 2) 拠点整備タイプ事業の経済波及効果

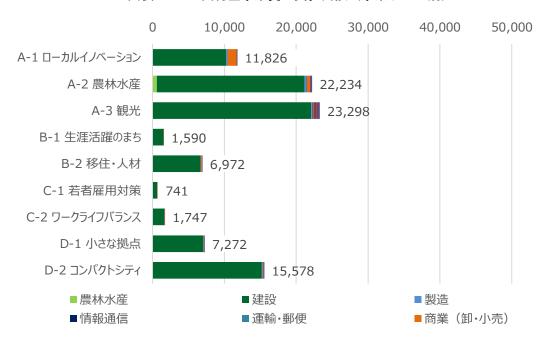
#### (ア) 交付金事業費の支払内訳

本調査の対象とした拠点整備タイプ事業の交付金事業総額(国費単費合計)は、約913億円。事業テーマ別の交付金事業額の支払先内訳は以下の通り。

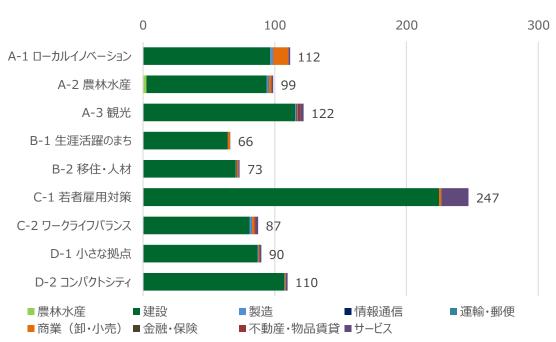
いずれのテーマにおいても、②建設の割合が高く、拠点整備タイプ事業費全体の約90%を占める。

事業テーマ別では、ローカルイノベーション、観光、生涯活躍のまち、コンパクトシティの分野において、特に建設部門への支払割合が高い。

図表 2-60 交付金事業費の支払内訳(事業テーマ別)



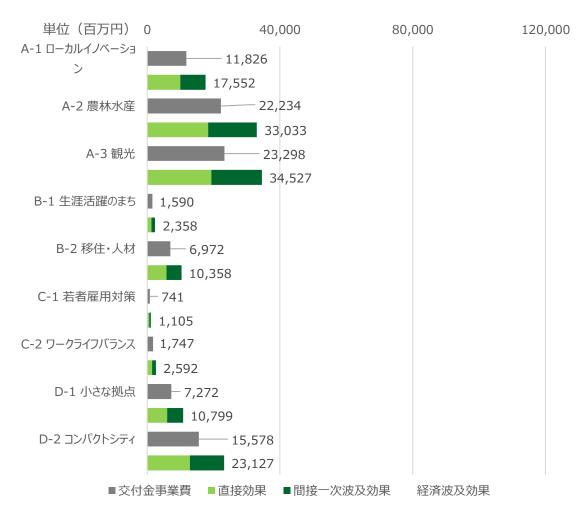
図表 2-61 1事業当たりの交付金事業費の支払内訳(事業テーマ別)



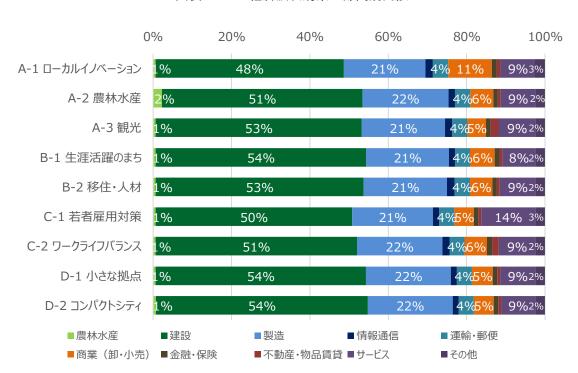
## (イ)経済波及効果

交付金事業の経済波及効果の合計は、いずれのテーマでも交付金事業費の 1.5 倍程度。

図表 2-62 交付金事業費及びそれに対する直接効果、間接波及効果



経済波及効果の部門別内訳を見ると、建設部門の経済波及効果が大きく、概ね全てのテーマで 50%以上を占める。ローカルイノベーション分野では商業部門の経済波及効果が比較的大きい。

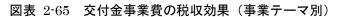


図表 2-63 経済波及効果の部門別内訳

交付金事業費の付加価値効果は、いずれのテーマにおいても、経済波及効果の 50%程度。交付金事業費の税収効果(法人所得税+個人所得税+消費税)は、いず れのテーマにおいても、交付金事業費の11%、経済波及効果の7%程度。



図表 2-64 交付金事業費の付加価値効果(事業テーマ別)





# 第3章 事例研究

#### 3.1 事例研究の対象とする事例の抽出

今年度は、過年度の継続している優良事例に着目し研究することで自立化に関する示唆を得ること、また調査にかける時間を十分確保することでより丁寧に検証することを目的に2段階(前期・後期) に分けて事例を抽出した。

#### 3.1.1 詳細調査対象事例の抽出方法(前期)

過年度の事業実施報告の回答や報道資料・WEB 調査結果などを参考に特に自立性や効果検証の実施状況が特徴的であり、一定の成果を上げている事例や KPI の達成状況が著しい事例について、官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の確保・育成、デジタル社会の形成への寄与等の観点から、可能な限り KPI を達成しているもののうち以下の観点を考慮して詳細調査対象とする 12 事例を抽出した。

#### 1) 水平展開すべき特徴的な事業

- ・ 7つの先導性要素(自立性、官民協働、政策間連携、地域間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の確保・育成、デジタル社会の形成への寄与)に関して特徴的な取組を実施している事業
- ・ 事業実施報告において、事例集の掲載事例として自己推薦された事業のうち特徴 的な取り組みを実施している事業
- ・ Society5.0 等の最新技術を活用した事業

#### 2) 進捗が芳しい、もしくは前向きに取り組んでいる事業

- 事業実施報告において、KPI(交付金事業のアウトカム、もしくは総合的なアウトカム)の実績値が目標値を上回る事業
- 事業実施報告において、効果検証の実施状況が充実している等、特徴的な取組を 実施している事業
- ・ 過年度に詳細調査等を実施しており、報道資料や WEB 調査結果などにおいて、 すでに一定の成果が見て取れる過去の交付金事業(交付対象期間が終了した事業 を含む)

#### 3.1.2 詳細調査対象事例の抽出方法(後期)

分析対象とした拠点整備タイプ事業 887 事業の中から、以下の観点を考慮して詳細調査 対象とする 24 事例を抽出した。

#### 1) 水平展開すべき特徴的な事業

- ・ 7つの先導性要素(自立性、官民協働、政策間連携、地域間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の確保・育成、デジタル社会の形成への寄与)に関して特徴的な取組を実施している事業
- ・ 事業実施報告において、事例集の掲載事例として自己推薦された事業のうち特徴 的な取組を実施している事業
- ・ 「地方創生拠点整備交付金の交付対象事業における特徴的な取組事例」(内閣府 HPに公表されている事業)に掲載されている事業
- · Society5.0 等の最新技術を活用した事業
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響への対策や支援を行う事業
- ・ 事業実施前後において、事業に対する地域住民の理解醸成に努めており、その内 容が特徴的な事業
- 2) 進捗が芳しい、もしくは前向きに取り組んでいる事業
  - 事業実施報告において、KPI(交付金事業のアウトカム、もしくは総合的なアウトカム)の実績値が目標値を上回る事業
  - 事業実施報告において、事業の工夫点が詳述されており、内容が特徴的な事業
  - ・ 事業実施報告において、交付金事業が地方創生に「非常に効果的であった」もし くは「相当程度効果があった」と回答した事業
- 3) 適切な事業実施プロセスを踏んでいる事業
  - ・ 事業実施報告において、「取り組むべきこと」21項目の多くに留意した事業
  - ・ 事業実施報告において、計画策定時に KPI 達成に貢献する工夫が多く行われている事業
  - ・ 事業実施報告において、事業計画〜実施〜効果検証段階のいずれかにおいて、定 量的・客観的データの活用を行っている事業
  - ・ 実効的な効果検証(事業実施報告における効果検証の内容 10 項目)の多くを実施しており、効果検証に関する工夫が詳細に示されている事業

## 3.1.3 詳細調査対象事例の抽出結果

上述 3.1.1 で抽出した 12 事例及び上述 3.1.2 で抽出した 24 事例の計 36 事例に対して詳細調査を実施し、詳細調査の結果及び有識者からの意見等を踏まえて、36 事例の中から代表的事例を計 10 事例選定し、現地調査の対象とした。ただし、このうち災害等の影響から現地調査困難と判断した事例については主にオンライン会議のツールを活用してリモートでヒアリングを実施した。

事業分野別の詳細調査対象事例数、ヒアリング調査対象事例数は以下の通り。

図表 3-1 事業テーマ別事業数

|             |                 | 調査対象事例数 |                       |  |
|-------------|-----------------|---------|-----------------------|--|
| 事業分野        | 事業テーマ           | 詳細調査対象  | ヒアリング調<br>査対象<br>(内数) |  |
|             | A-1 ローカルイノベーション | 4       | 1                     |  |
| A. しごと創生    | A-2 農林水産        | 4       | 1                     |  |
|             | A-3 観光          | 5       | 2                     |  |
| D 地士。の人の法と  | B-1 生涯活躍のまち     | 4       | 1                     |  |
| B. 地方への人の流れ | B-2 移住・人材       | 4       | 1                     |  |
| C. 働き方改革    | C-1 若者雇用対策      | 3       | 1                     |  |
| し. 惻さ万以中    | C-2 ワークライフバランス  | 3       | 1                     |  |
| D ++ 3/10   | D-1 小さな拠点       | 4       | 1                     |  |
| D. まちづくり    | D-2 コンパクトシティ    | 5       | 1                     |  |
|             | 合計              | 36      | 10                    |  |

# 3.2 詳細調査の実施

## 3.2.1 詳細調査の実施

詳細調査では、以下に示す調査票を作成のうえ、対象となる地方公共団体に情報提供を依頼した。その後、電話やメール等により以下の項目について確認を行った。

図表 3-2 詳細調査における確認項目(前期)

| 確認項目① | •   | 関与した部署、職員数        |
|-------|-----|-------------------|
|       |     | 事業の実施主体           |
| 確認項目② | •   | 自立化の状況と取組内容       |
|       | • 1 | 行政と民間の役割分担についての考え |
| 確認項目③ | • 2 | 効果検証の実施状況         |
| 確認項目④ |     | デジタル技術の活用状況       |
| 確認項目⑤ | • 2 | 交付金活用事業への総括       |

図表 3-3 詳細調査における確認項目(後期)

| 確認項目① | • | 関与した部署、職員数             |
|-------|---|------------------------|
|       |   | 事業の実施主体                |
| 確認項目② |   | KPI 指標の考え方             |
|       |   | 目標値設定の考え方              |
| 確認項目③ | • | KPI 指標以外の定量的・客観的データ活用  |
| 確認項目④ |   | ポジティブ・ネガティブ要因の検証       |
|       |   | マネジメントサイクルの各段階の実施事項、工夫 |
|       | • | それによる効果                |
| 確認項目⑤ |   | 自立化の状況と取組内容            |
|       |   | 行政と民間の役割分担についての考え      |
| 確認項目⑥ |   | 地域経済への効果(地元事業者への支払額)   |
| 確認項目⑦ | • | デジタル技術導入の経緯、導入による効果と課題 |

# 図表 3-4 事前情報照会票(様式)(前期1枚目)

#### 地方創生推進交付金事業・拠点整備交付金事業の効果検証に関する調査 調査票

本調査では、地方創生推進交付金事業または地方創生拠点整備交付金事業の実施報告の内容やWeb等に掲載されている内容に鑑み、いべつかの事業を対象として、調査を実施します。 本情報照会では、責団体の実施した以下の事業を対象として、取組の示唆やコツ・留意事項等を抽出・整理することを目的としています。

|                      |                  |                              |                           |                               | ~~ 以下                | 回答欄 ~        | ~             |   |                  |               |
|----------------------|------------------|------------------------------|---------------------------|-------------------------------|----------------------|--------------|---------------|---|------------------|---------------|
| 事業国                  | 2分               | 地方公共団体名                      |                           | テーマ                           |                      |              |               | 事業名                                       |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  | ユス市 世 の 世 生                  | H##                       |                               |                      |              |               |   | :記述式             | : ブルダウン選択式    |
|                      |                  | <b>ける事業の推進</b><br>発売の事業推進主体の |                           | <u>てくたさい。</u><br>Rください。 (その他の | 場合、右記に               | 詳細を記載くた      | <b>ごさい</b> )  |   |                  | _             |
| · A 9                | - SE(IC 0517 0-7 | 11工小子来,正是工作。                 | 313012 C9X 1 77 3X23      | (1000 1000)                   | <u>ж</u> и ( прос    | THA COURT    | CCV-7         |   |                  |               |
| ②貴耳                  | 三業の推進に           | おいて、貴団体内で中                   | 心的役割を果たした                 | 部署と課、その人数、                    | 他部署との連               | 携有無につい       | て数えてください      | ۸.  |                  |               |
| <u> </u>             |                  | 中心的な役割を果たした体                 |                           |                               | 他部署との連携              |              | C4XXX C (VCC) |   |                  |               |
| 中心的                  | 内な部署名            | 中心的な課名                       | 直接的に関与した<br>職員数           |                               | 連携分里                 | Ŧ            |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              | 400,945,93                |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           | その他                           |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               | 1   |                  |               |
| 3貴事                  | <b>事業の推進に</b>    | おいて、外部人材の活                   | 5用は行いましたか。                | (はいの場合、その人)                   | 材の所属(地               | 域おこし協力       | 隊、コンサルテ       | ィング会社等)について右記に                            | 記載ください)          |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
| 2. ₤                 | 立化の状             | 況と取組内容に                      | ついて教えてくだ                  | さい。                           |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               | てください。また、可能な範囲で                           | で財源の具体的な         | 内容を教えてください。   |
| また                   | aT凹と実績           | こ相違かある場合はそ<br>財源             | い生田を、計画通り                 | 実績達成している場合<br>計画時点で想定していた     |                      |              |               | 4年度実績における財源比率                             |                  | 財源内容 (詳細)     |
|                      |                  | 事業収入                         |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  | 一般財源                         |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  | 民間予算                         |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  | クラウドファンディング                  |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
| その他                  |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
| 相違<br>理由<br>達成<br>要因 |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
| ※地                   | 域への経済派           | は及効果とは、地域企                   | 業・産業の収益・収                 |                               | <b>  者増加による</b>      | 税収の増加、       | 観光客増加に        | 教えてください)<br>こよる県内消費額の増加等、事<br>③に記入してください) | <b>F業を推進すること</b> | が何らか影響を及ぼし    |
|                      |                  | 事業の効果指標                      | ^**                       | 10.01                         |                      |              | らよその金額(見      | 込み額でも可)をご回答ください)                          |                  |               |
|                      |                  |                              | 金部                        | 合計                            | 千円                   | 積算根拠<br>積算根拠 |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           | 合計                            | 千円                   | 積算根拠         |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              | 金部                        | 合計                            | 千円                   | 積算根拠         |               |   |                  |               |
|                      |                  |                              |                           | 効果として定性的に見<br>暮らしやすさ向上、学      |                      |              |               | 的な内容とともに教えてください。<br>寄与等を指します。             | ۰                |               |
| ④事第                  | を実施してみ           | て、貴団体における引                   | 事業の、自立化の意義                | <b>覧や難しさなどを教えて</b>            | ください。                |              |               |   |                  |               |
| また                   | 上記①の記            | †画時目指していた「                   | 自立化」を達成するた                |                               | 共的団体等                | の適切・効果       |               | 旦についてお考えを教えてくださ<br>以上出資している法人を指しま         |                  |               |
|                      |                  | 変更・改善の有無                     |                           |                               |                      |              |               | 詳細  |                  |               |
|                      |                  |                              |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
| 行政の行<br>公共的[<br>ど    | 设割:県内農<br>団体等の役割 | J:国立大学が行政の                   | 政が県内農家と1件す<br>Dデータを利活用し、そ | 研究開発を実施するな                    | など、行政では              | 迅速に動けな       | い領域に対して       | 係者とのコミュニケーションの円<br> で、民間等との連携を図りつつぞ       |                  | しながら事業を推進する、な |
| 氏間の役                 | 2台: 国业人          | 、子の研光成果を県内                   | 対長家が夫表し農家の                |                               | をI可上させるな<br>民間の適切・効果 |              |               | 3州U心場))(派白CCt)に心場                         | 6本起界 次とての正       | ■で灰糸9つCC、など   |
|                      |                  | 行政の役割                        |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |
|                      |                  | 民間の役割<br>公共的団体等の役割           |                           |                               |                      |              |               |   |                  |               |

# 図表 3-5 事前情報照会票(様式)(前期2枚目)

|  | 3. | 効果検証の実施状況について教えてください。 |
|--|----|-----------------------|
|--|----|-----------------------|

| D効果検証の実施 <sup>※</sup> にあたり、 | <ul><li>以下のうち特に実施にあたり重要だと考える項目をすべて○選択し、</li></ul> | それぞれの工夫や苦労した点の詳細を教えてください。                                       |
|-----------------------------|---|---|
| AND EAST OF THE LAND OF     |   | EMPE 1: 75 75 75 4 10 5 1 4 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |

| ※「効果検証の実施」とは、交付金事業の事業実施  |       |              | ~ , , , , | - 3 214 |                               |                                |
|--|-------|--------------|-----------|---------|-------------------------------|--------------------------------|
| 項目   | 選択    |              |           |         | 詳細(具体例)                       |                                |
| 事業の状況及び現状の課題を把握している  |       |              |           |         |                               |                                |
| 計画との比較を行っている   |       |              |           |         |                               |                                |
| 課題の優先順位付けを行っている  |       |              |           |         |                               |                                |
| 事業における原因・阻害要因を明らかにしている   |       |              |           |         |                               |                                |
| 適切な分析手法を検討し選択している  |       |              |           |         |                               |                                |
| 統計データ等の証拠から、定量的・客観的に<br>地域の課題を把握している                                     |       |              |           |         |                               |                                |
| 阻害要因について対応策を検討している   |       |              |           |         |                               |                                |
| 新計画を立てている  |       |              |           |         |                               |                                |
| 対応策や新計画の実施を行っている   |       |              |           |         |                               |                                |
| 定量的な分析結果を公表している  |       |              |           |         |                               |                                |
| その他  |       |              |           |         |                               |                                |
| ②事業効果を高める効果的な効果検証の在り方につ  | ハて、他  | ·<br>の地方     | 公共団       | 体が参     | 考にすれば有用と思われる事柄など、お気づきの点があれば教え | こてください。                        |
|  |       |              |           |         |                               |                                |
|  |       |              |           |         |                               |                                |
| 1. デジタル技術の活用状況について教え<br>①当該事業に、「デジタル社会の形成への寄与」に関                         |       |              | れている      | ますか。    |                               |                                |
|  |       |              |           |         |                               |                                |
| はいの場合、そのデジタル技術内容と効果内容、地域   | 或課題角  | 解決へ0         | D貢献       | 食合いに    |                               | Table o                        |
| デジタル技術の内容  |       |              |           |         | 効果内容                          | 貢献度合い                          |
|  |       |              |           |         |                               |                                |
|  |       |              |           |         |                               |                                |
| 5. 交付金活用事業への総括   |       |              |           |         |                               |                                |
| ①交付金事業について、最終的に目標としていた、また  | は目標   | 以上の          | KPI成      | 果が得     |                               |                                |
| KPI目標達成状況  |       |              |           |         | 参考(貴団体における事業のKPI指             | 票)                             |
|  |       | KPI1         |           |         |                               |                                |
|  |       | KPI2         |           |         |                               |                                |
|  |       | KPI3<br>KPI4 |           |         |                               |                                |
| ト記回答に基づいて はいの場合は日標達成のため  | の悪因   |              | について      | 비가도대    | 見に該当するKPIをすべて○選択し、いいえの場合は目標達成 | びできなかった亜因や課題について以下項目に          |
| 該当するKPIをすべて×選択してください。またその詳紀  |       |              |           |         |                               | CC.00 SESSIEL BRAZIES CONTINUE |
| 項目   | KPI1  | KPI2         | KPI3      | KPI4    | 詳細(具体                         | 列)                             |
| 事業推進体制の構築  |       |              |           |         |                               |                                |
|  |       |              |           |         |                               |                                |
| 人材の確保  |       |              |           |         |                               |                                |
| 人材の確保<br>人材の育成   |       |              |           | _       |                               |                                |
|  |       |              |           |         |                               |                                |
| 人材の育成  |       |              |           |         |                               |                                |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計  |       |              |           |         |                               |                                |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計<br>資金調達  |       |              |           |         |                               |                                |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計<br>資金調達<br>市場拡大・開拓<br>その他                            |       |              | i tel     | 相(書     | 同体リ ァ 六月春年田にトZ電監察され、小太与礼曲は作戸。 | Aの悪二 茶州よかど を数ラア/だすい            |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計<br>資金調達<br>市場拡大・開拓<br>その他                            | 前について | て、実施         | した感       | 想(貴     | 団体として、交付金活用による課題解決への寄与や地域住民へ  | ^の還元、苦労点など)を教えてください。           |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計<br>資金別達<br>市場拡大・開拓<br>その他                            | について  | て、実施         | 回した感      | 想(貴     | 団体として、交付金活用による課題解決への寄与や地域住民へ  | Nの還元、苦労点など)を教えてください。           |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計<br>資金別達<br>市場拡大・開拓<br>その他                            | について  | て、実施         | した感       | 想(貴     | 団体として、交付金活用による課題解決への寄与や地域住民へ  | ∧の選元、苦労点など)を教えてください。           |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計<br>資金調達<br>市場拡大・開拓<br>その他<br>②内閣府の地方創生交付金を活用して実施した事業 |       |              |           |         | 団体として、交付金活用による課題解決への寄与や地域住民へ  | <b>♪の還元、苦労点など)を教えてください。</b>    |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計<br>資金調達<br>市場拡大・開拓<br>その他<br>②内閣府の地方創生交付金を活用して実施した事業 |       |              |           |         | 団体として、交付金活用による課題解決への寄与や地域住民へ  | <b>♪の遠元、苦労点など)を教えてください。</b>    |
| 人材の育成<br>ビジネスモデルの設計<br>資金調達<br>市場拡大・開拓<br>その他                            |       |              |           |         | 団体として、交付金活用による課題解決への寄与や地域住民へ  | ∧の選元、苦労点など)を教えてください。           |

#### 図表 3-6 事前情報照会票(様式)(後期1枚目)

#### 地方創生拠点整備交付金事業の効果検証に関する調査 調査票

本調査では、地方創生拠点整備交付金事業の実施報告の内容に鑑み、いくつかの事業を対象として、調査を実施します。 本情報照会では、貴団体の実施した以下の事業を対象として、取組の示唆やコッ・留意事項等を抽出・整理することを目的としています。 なお、ご回答内容について、後日お電話等で確認させていただく場合がありますが、あらかじめご了承いただけますと幸いです。

~ 以下 回答欄 ~~ 地方公共団体名 事業名 テーマ : 記述式 : プルダウン選択式 1. 事業の実施体制について ①貴事業における現在の事業推進主体の属性を以下から選択ください。(その他の場合、右記に詳細を記載ください) ②貴事業の推進において、貴団体内で中心的役割を果たした部署と課、その人数、他部署との連携有無について教えてください。 貴団体内で中心的な役割を果たした体制について 他部署との連携について 直接的に関与 中心的な部署名 中心的な課名 連携分野 その他 ③貴事業の推進において、外部人材の活用は行いましたか。(はいの場合、その人材の所属(地域おこし協力隊、コンサルティング会社等)について右記に 2. KPIの指標設定・目標設定について <mark>背景や考え方</mark>をそれぞれご教示ください。本事業の全てのKPIについてご記入ください。 ①上記事業のKPI指標それぞれに 出所 (その他の場合、 下記に記載) KPI指標名 データ区分\*1 KPI分類 目的・ねらい ※1 Alternative Dataは、IT技術とともに、位置情報やクレジットカード情報等を活用して、リアルタイムで把握され、定期的に提供されるデータをいう。V-RESASで提供されるデータなど。 ②本事業のKPIの設定に当たり、取り組んだ工夫について、該当する事項に〇を付けてください。 A.地方創生事業実施のためのガイドライン(「分野別の主なKPIの例」「参考となる政府 J.地方公共団体の既存統計を活用できるような指標をKPIとして採用した 統計指標」など)を参考にした K.KPI設定にかかる研修を実施した(アウトプット・アウトカムの違いや、ロジックモデルの作 B.総合計画や総合戦略のKPIとリンクさせた C.ロジックモデルを設定した L.庁内縦断的な検討会議を設置した D.市民(含む議会)の納得感が得られるよう、数値化しやすい明白な指標を心掛けた M.民間(企業、協議会、市民参加など)と共に検討した E.すぐに効果が実感でき政策に賛同が得られやすいよう、短期で結果が出やすい事項を N.RESAS,V-RESAS,E-StatのデータをKPI設定の参考とした KPIとした F.じっくり取り組んで確実に効果を挙げるよう、長期間かけて結果を出す事項をKPIとした O.民間企業にデータの提供を求め、KPI設定の参考とした P.関係省庁(〇〇省、××地方事務所など) に相談した G.目に見える形のアウトプット指標をKPIとして採用した H.事業の自立自走に向け、進捗管理できるアウトカム指標をKPIとして採用した Q.外部専門家に相談した (学識者、民間団体など) I.参画企業の状況を把握できるような指標をKPIとして採用した R.その他 ↓ R.その他の場合、下記にその内容も記載してください。

# 図表 3-7 事前情報照会票(様式)(後期2枚目)

|  |  |  |  | 用した主なデータグ  | リスペをしまないへんさ                             |   |   | 1      |
|--|--|--|--|--|---|---|---|--------|
| 事業の段階  | データキ   | 各  | データ区分  | 出所<br>(その他の場合下記  | (記録)                                    | 目的・ねらい(自  | 自由記載)   |        |
|  |  |  |  |  |   |   |   |        |
| 企画段階   |  |  |  |  |   |   |   | 1      |
|  |  |  |  |  |   |   |   |        |
|  |  |  |  |  |   |   |   |        |
|  |  |  |  |  |   |   |   |        |
| 実施段階   |  |  |  |  |   |   |   | -      |
| ※実施段階でのデータの活用があ  |  |  |  |  |   |   |   |        |
| れば下記3-1も回<br>答ください。  |  |  |  |  |   |   |   |        |
|  |  |  |  |  |   |   |   | 1      |
|  |  |  |  |  |   |   |   |        |
| 効果検証段階   |  |  |  |  |   |   |   |        |
|  |  |  |  |  |   |   |   | 1      |
|  |  |  |  |  |   |   |   |        |
|  | でのデータ活用がる<br>の有無   | ある場合のみ   | 回答)事業  | の進捗管理のため   | の指標としてのデ・                               | -タ活用の有無と、その活用:                                  | 方法や使用頻度を教えてくだ   | さい。    |
|  | 用した場合の活  |  |  |  |   |   |   |        |
|  | 使用頻度   |  |  |  |   |   |   |        |
| ②データ収集時(<br>困難   | の困難や課題につい  | いてご教示くか  | ださい。(※   | データの活用有無に  | 係らずご教示くださ                               | ٤٠١ <sub>°</sub> )                              |   |        |
| 課題   |  |  |  |  |   |   |   |        |
| ③可能であれば  | 又集したいと考える  | データや、定   | 量的·客観  | 的データに関する <mark>数</mark>  | 府への要望につい                                | てご教示ください。                                       |   |        |
| 取得した   | いデータ   |  |  |  |   |   |   |        |
| 政府へ  | の要望  |  |  |  |   |   |   |        |
|  |  | 目の有無と、   | その理由(ま   | たは主な用途)(   | こついてご教示くだる                              | 5610  |   |        |
|  | の有無  |  |  |  |   |   |   |        |
| 上記の理由  |  |  |  |  |   |   |   |        |
| (または主  | とな用途)  |  |  |  |   |   |   |        |
|  | にな用途)  | まごとの 宇体  | 事項 丁丰  | FEOUT  |   |   |   |        |
| 1. マネジメント<br>上記事業につい<br>な工夫をしておけ   | せイクルの各段的<br>で、マネジメントサービよかったとお考。  | イクル (PDC.<br><b>えか) 」</b> 、また  | A) の各段的  | 皆ごとに、「どのよう<br>や工夫を行ったこと  | による効果、良かっ                               | たこと」をご教示ください。ま                                  | <mark>でのような工夫を行ったか(あ</mark> た、事業を実施する中で「 <mark>実</mark> ま |        |
| 1. マネジメント<br>上記事業につい<br>は工夫をしておけ<br>かった」「別の対応  | さな用途)<br>サイクルの各段関いて、マネジメントサービよかったとお考<br>なを採るべきであっ  | イクル(PDC.<br><b>えか)」</b> 、また<br><b>た</b> 」など、反省   | A) の各段呼<br>E <mark>「その取組</mark><br>当点として捉  | 皆ごとに、「どのよう<br>や工夫を行ったこと  | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因                  |   |   |        |
| 1. マネジメント<br>上記事業につい<br>な工夫をしておけ<br>かった」「別の対応<br>※特に、工夫や失敗   | さな用途)<br>サイクルの各段関いて、マネジメントサービよかったとお考<br>なを採るべきであっ  | イクル(PDC.<br><b>えか)」</b> 、また<br><b>た」</b> など、反省<br>心にご回答くだ  | A) の各段呼<br>E <mark>「その取組</mark><br>当点として捉  | 皆ごとに、「どのよう。<br>や工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>を埋める必要はありませ           | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・マネジメント<br>上記事業につい<br>に工夫をしておけ<br>いった」「別の対応  | サイクルの各段関で、マネジメントサービ よかったとお考して、マネジメントサービ よかったとお考してを採るべきであったがかられた項目を中  | イクル(PDC.<br>えか)」、また<br>た」など、反省<br>た)にこ回答くだ<br>項目   | A) の各段呼<br>E <mark>「その取組</mark><br>当点として捉  | 皆ごとに、 <b>「どのよう</b> :<br><b>ウエ夫を行ったこと</b><br>えている項目があれ          | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | <mark>たこと」</mark> をご教示ください。ま<br> についてご教示ください。   | た、事業を実施する中で「実力  | 施すべきでな |
| ・マネジメント<br>上記事業につい<br>エ大をしておけいった」「別の対応<br>と特に、工夫や失敗  | さな用途)<br>サイクルの各段関いて、マネジメントサービよかったとお考<br>なを採るべきであっ  | イクル(PDC.<br>えか)」、また<br>た」など、反省<br>いいにご回答くだ<br>項目<br>日確化  | A)の各段門<br>に「 <b>その取組</b> す<br>当点として捉<br>ださい。(全ても   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| 1. マネジメント<br>上記事業につい<br>な工夫をしておけ<br>かった」「別の対応<br>※特に、工夫や失敗   | サイクルの各段関いて、マネジメントサイクルの各段関いて、マネジメントサインはよかったとお考さを探るべきであったがかられた項目を中   | イクル (PDC.<br>えか) 」、また<br>た」など、反名<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | A)の各段門<br>に「 <b>その取組</b> す<br>当点として捉<br>ださい。(全ても   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| . マネジメント<br>上記事業につい<br>と工夫をしておけ<br>いった」「別の対は<br>特に、工夫や失利<br>段階   | サイクルの各段限  「て、マネジントサー  ではよかったとお考  を確保るへきであった。  ながみられた項目を中  に、マネジントサー  でを探るへきであった。  はよかった。  はない。  はない。 はない。  | イクル (PDC.<br>えか) 」、また<br>た」など、反信<br>た」など、反信<br>心にご回答くだ<br>項目<br><b>B確化</b><br>ニーズの共有<br>の明確化   | A)の各段門<br>に「 <b>その取組</b> す<br>当点として捉<br>ださい。(全ても   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| 4. マネジメント<br>上記事業についな工夫をしておけかった」「別の対応、工夫や失見<br>段階  | サイクルの各段財<br>いて、マネジメントサーばよかったとお考<br>なを探るへきであったがかられた項目を中<br>・ 地域の課題・・<br>・ 定量的・客観<br>・ 事業コンセプト   | イクル (PDC<br>えか) 」、また<br>た 」など、反 を<br>で   | A)の各段門<br>に「 <b>その取組</b> す<br>当点として捉<br>ださい。(全ても   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| マネジメント     上記事業につい     エ夫をしておけ     フェステをしておけ     スエ夫をして     スエ夫をして     ストを     日内の対     ストを     日内     日内     日内     アイデア・   | な用途) サイクルの各級階 サイクルの各級階 で、マネジント・サインによったとき考した。  「選題・ニースの申・地域の課題・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | イクル(PDC A TO A T   | A) の各段時<br>を「その取組<br>が高点として捉<br>さい。(全て<br>を<br>と明確化  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| マネラメント 上記事業についた ま工夫をしておけった 上別の対 特に、工夫や失  段階  事業アイデア・ 事業手法の 検討  の  検討  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  の  | な用途) サイクルの各段限 で、マネジントサ ではなかなとお考 ではなかなたよ ので、マネジントサ ではなかなたよ ので、アネジントサ ではなかなたよ ので、アネジントサ ので、アネジントサ ので、アネジント ・ 世域ののよ ので、アネジント ・ 世域ののよ ので、アネジント ・ 世域ののよう ・ 世域ののよう ・ 現なる近東間 ・ 選携の検討  | イクル(PDC、<br>えか)」。またしなた。<br>たしなど、反名で<br>項目<br><b>確化</b><br>一の大句のの明確化<br>に用知見の活用<br>は親数の地域   | A) の各段時<br>を「その取組<br>が高点として捉<br>さい。(全て<br>を<br>と明確化  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| マネシメント<br>上記事業についた<br>エナ夫をしておけった上別の対待<br>特に、工夫や失則<br>段階<br>事業アイデア・<br>事業手法の<br>検討  | な用途) サイクルの各段類 で、マネジシトサ で、マネジシトサ で、マネジシトサ でを探るくまであ がかられた即 中 ・地域の段名 ・地域の別 デ・地域の別 が、一地域の別 が、一地域 | イクル(PDC、<br>えか)」。また<br>た」など、たりなど、反音<br>はたりなど、反音<br>はたして、の共有<br>のの明確化<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にの | A)の各段時代での取組を<br>を明確化<br>と明確化<br>が成間での<br>活用  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| マネシメント<br>上記事業についた<br>エナ夫をしておけった上別の対待<br>特に、工夫や失則<br>段階<br>事業アイデア・<br>事業手法の<br>検討  | な用途) サイクルの各段類 で、マネジメトサイ ばよかたとお考 を探るをであるがかられた周目を中 地域の観客観 ・ 事業 手法 成の人材・ ・ 外部の人材・ ・ 外部の人材・ ・ 外部の人材・ ・ 大発なる改検討  事業な様様 ・ 本業実施体制の  | イクル(PDC、<br>えか)」。また<br>た」など、たりなど、反音<br>はたりなど、反音<br>はたして、の共有<br>のの明確化<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にののでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にのでは、<br>にの | A)の各段時代での取組を<br>を明確化<br>と明確化<br>が成間での<br>活用  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| マネシメント<br>上記事業についた<br>エナ夫をしておけった上別の対待<br>特に、工夫や失則<br>段階<br>事業アイデア・<br>事業手法の<br>検討  | な用途) サイクルの各段財 は かかたとお考をを保るぐをであった。 「理職・二一ズの卵・地域の呼びがあった。用目を中・地域の呼びがあった。用目を中・地域の呼びがあった。  事業子は、原治・地域の人が開助・地域の人が開助・地域の人が開助・地域の人が開助・単、原体の性制・・の関係者の役割・同係者の役割・自立性の確保   | イクル(PDC、<br>スか)」また<br>を上なた。反を上なる。<br>原生<br>一てな共有<br>のの明確化<br>は<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない   | A)の各段時代での取組を<br>を明確化<br>と明確化<br>が成間での<br>活用  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| - マネラメント<br>上記事業につして<br>エ工夫をしておけった。「別の対<br>特化、工夫や夫妻<br>段階<br>野業 <i>アイデア</i> ・<br>事業手法の<br>検討<br>〈Plan〉   | な用途) サイクルの各段側で、マネジントサイプルの各段側で、マネジントサイプルのよる考定様の本であるがかられた周目を中地域の課金を探ります。 ・ 東葉 手法の第一次・ 東京 と で 大学 で ままり  | イクル(PDC、<br>えか)」よき。<br>をしなど、反称・<br>項目  | A)の各段時代での取組を<br>を明確化<br>と明確化<br>が成間での<br>活用  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| - マネラメント<br>上記事業につして<br>エ工夫をしておけった。「別の対<br>特化、工夫や夫妻<br>段階<br>野業 <i>アイデア</i> ・<br>事業手法の<br>検討<br>〈Plan〉   | な用途) サイクルの各般側で、マネジメントサイクルの各般側で、マネジメントサインにはよかたとお考定様の本であるがかられた周目や中地域の側で、マエッスで、マイントリースを使った。マイントリースを使う、アイントリースを使う。 東美海体制の役割を使り、一般のでは、アイントリースを使りのでは、アイントリースを使りのでは、アイントリースを使りのでは、アイントリースを使りのではり | イクル(PDC、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A  | A)の各段的に「その取組<br>に「その取組<br>あ点として捉こ<br>き高点として収<br>と明確化<br>と明確化   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・マネタメント<br>上記事業につい。<br>R工夫をUておけつた II 例の対け<br>特に、エ大や夫妻<br>段階<br>野業アイデア・<br>事業子だの<br>検対<br>〈Plan〉  | な用途) サイクルの各段時 で、マネジントサイクルの各段時 で、マネジントサイド ばるかなたと は、アネジントサイド は、アネジントサイト は、アネジント・ は、アネジント は、アネント は、アネジント は、アネジント は、アネジント は、アネジント は、アネジント は、アネジント は、アネジント は、アネジント は、アネジント は、アネント は、アネジント は、アネント は、アネント は、アネント は、アネント は、アネント は、アスシント は、アス | イクル(PDC、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A  | A)の各段限にできます。<br>に「そのといて経過にいくない。」<br>と明確化<br>と明確化<br>活用<br>を化   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・マネタメント<br>上記事業につい<br>R工夫をUておけつた II 例の対け<br>特に、エ大や夫妻<br>段階<br>野業アイデア・<br>事業子だの<br>検対<br>〈Plan〉   | な用途) サイクルの各般財 で、マネジントサイクルの各般財 で、マネジントナ が ばかかたは考 を探るを亡めるがかられた場合や ・ 定量第二 一本の野・・ 地域の対 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・  | イクル(PDC、<br>スか)」とは、<br>を上なる。反応は、<br>原本しないでは、<br>はないでは、<br>はないでは、<br>はないでは、<br>はないでは、<br>はないでは、<br>はないでは、<br>はないでは、<br>はないでは、<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないできる。<br>はないでをななななななななななななななななななななななななななななななななななな   | (A) の各段権<br>でするない<br>でするない<br>全では<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>にない<br>をでするない<br>をでするない<br>にない<br>をでするない<br>にない<br>をでするない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>に   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・ マネタメント<br>上記事業についた IT 実をしておけった IT 別の対け<br>がに、エ大や実<br>段階<br>事業アイデア・<br>事業子だの<br>検対<br>〈Plan〉  | な用途) サイクルの各級関 は メラウス・シート は メラウス・シート は メラウス・シート で となった。と の で ・  | イクル(PDC、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A  | (A) の各段権<br>でするない<br>でするない<br>全では<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>をでするない<br>にない<br>をでするない<br>をでするない<br>にない<br>をでするない<br>にない<br>をでするない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>にない<br>に   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・マネタメント<br>上記事業について<br>・ファイン では、「別の対す<br>・ では、「別の対す<br>・ では、「別の対す<br>・ では、「別の対す<br>・ では、「別の対す<br>・ では、「別の対す<br>・ では、「別の対す<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、」<br>・ では、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別のは、「別の  | な用途) サイクルの各般財 で、マネジントサイクルの各般財 で、マネジントナ が ばかかたは考 を探るを亡めるがかられた場合や ・ 定量第二 一本の野・・ 地域の対 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・  | イクル(PDC、<br>スか)」と、<br>を上すると、<br>を上すると、<br>の明明<br>を出て、<br>の明明<br>を出て、<br>の明明の<br>は、<br>のの明明<br>を出て、<br>のの明明<br>を出て、<br>のの明明<br>をおいた。<br>のの明明<br>をいた。<br>のの明明<br>をいた。<br>のの明明<br>をいた。<br>のの明明<br>をいた。<br>ののの明明<br>をいた。<br>ののの明明<br>をいた。<br>ののの明明<br>をいた。<br>ののの明明<br>をいた。<br>ののの明明<br>をいた。<br>ののの明明<br>をいた。<br>ののののののののののののの。<br>をいた。<br>のののののののののののののののののののののののののののののののののののの  | A)の各段権制では「大きない」を対しています。 (14の) はいい 全では (14の) はいい 全では (14の) はいい 全では (14の) はいい (140) はい   | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・ マネラメント<br>上記事業についた。<br>に工夫をしておけった。II 例の対す<br>特に、工夫や夫妻<br>段階<br>・ 事業アイデア・<br>・ 単数手が表の<br>・ 検討<br>・ 〈Plan〉   | な用途)  サイクルの各般別で、マネジメントサイクルの各般別で、マネジメントサインルではよかたお考えたお考えたお考えたが分分れた項目や中地域のは、アステースの呼ば、東東・事場域の人が、アステースの映画を表現の大学、アステースの映画を表現の大学、アステースの映画を表現の大学、アステースの映画を表現の大学、アステースの映画を表現の大学、アステースの映画を表現の大学、アステースを表現した。  東東東海洋、東京東洋、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、  | イクル(PDC、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A  | A)の各段権制 「主きの比別を対している。 「主きの以上を対している。」 「このの以上を対している。」 「このののでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・ マネラメント<br>上記事業についた。<br>エエ夫をしておけった。II 別の対域<br>特に、エ大や夫妻<br>段階<br>・ アイデア・<br>事業をアイデア・<br>・ 東京・<br>様材<br>・ マPlan ><br>・ マPlan ><br>・ 実施・継続   | な用途) サイクルの各級財 で、マネジントナ で、マネジントナ で、マネジントナ はあかたお考 のかたお考 のかたお考 のかたお考 のかたがかられた周目を中 地域部・一定墨薬 工 地域部・一定墨薬 工 地域部・一定墨薬 工 地域部・一次のが、 で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | イクル(PDCよれて) (PDCよれて) (PDCよれて   | A)の各段権<br>では会成し、全て<br>でするない。全て<br>を対し、全て<br>が<br>には、全て<br>が<br>には、<br>にない。<br>をで<br>が<br>には、<br>にない。<br>をで<br>が<br>にない。<br>をで<br>が<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>に、<br>に、<br>に、<br>に、<br>に、<br>に、<br>に、 | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・マネラメント 上記事業についた。 エ夫をしておけった。II 別の対対 特化、エナヤ大 段階 事業アイデア・ 野楽手法の 検討 <plan> 事業の具体化 <plan></plan></plan>   | な用途) サイクルの各般財 で、マネジントナ で、マネジントナ で、マネジントナ はあかたお考 のかたお考 のかたおうかのからからからかられた自由や ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・   | イクル(PDC、<br>スか)」という。<br>を上なた。反称という。<br>はたした。<br>はたした。<br>はたした。<br>はたした。<br>はたいかにできない。<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、これでは、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、  | A)の各段権<br>では会成し、全て<br>でするない。全て<br>を対し、全て<br>が<br>には、全て<br>が<br>には、<br>にない。<br>をで<br>が<br>には、<br>にない。<br>をで<br>が<br>にない。<br>をで<br>が<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>にない。<br>に、<br>に、<br>に、<br>に、<br>に、<br>に、<br>に、 | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・ マネラメント<br>上記事業についた II 別の対域<br>特に II 大学大学<br>特に II 大学大学<br>大学 II 大学<br>大学 II 大学大学<br>大学 II 大学大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学<br>大学 | な用途) サイクルの各級財 (マネジ から  | イクル (PDC 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大  | A) の各段権<br>でするない 全で<br>はずるない 全で<br>を<br>を<br>が<br>を<br>で<br>の<br>を<br>で<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の<br>の  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |
| ・マネラメント 上記事業についた。 エ夫をしておけった。II 別の対対 特化、エナヤ大 段階 事業アイデア・ 野楽手法の 検討 <plan> 事業の具体化 <plan></plan></plan>   | な用途) サイクルの各級関 サイクルの各級関 で、マネジントトサー で、マネジントとは考 を を を で、アネジントとは考 を ので、アネジントの ので、アネンントの ので、アネンントの ので、アネンン ので、ア | イクル(PDC、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A、A  | A)の各段権<br>「その比しをです。<br>は「その比しをです。<br>は、  | 皆ごとに、「どのよう:<br>P工夫を行ったこと<br>えている項目があれ<br>理地のる必要はありませ<br>工夫点 or | による効果、良かっ<br>ば、その内容と要因<br>た。)<br>回答欄(必引 | たこと」をご教示ください。ま<br>はついてご教示ください。<br>要に応じて、大きさの調整や | た、事業を実施する中で「実施<br>行の追加を行ってください)                           | 施すべきでな |

その他、上記観点に当てはまらない取組や工夫、留意点がありましたら、下記にご記入ください。(例:~の工夫も行っている、Society 5.0関連の設備を導入しているなど) その他

# 図表 3-8 事前情報照会票(様式)(後期3枚目)

| лилсс  |  | - Emer III  | 画通り実績達成している場合には<br>計画時点で想定していた   |   |  |
|--|--|---|--|---|--|
|  | 財源   |   | at 画時点で想走していた<br>自走時(自立化)の財源比率   | R4年度実績における財源比率  | 財源内容(詳細)   |
|  | 事業収入   |   |  |   |  |
|  | 一般財源<br>民間予算   |   |  |   |  |
|  | 企業版ふるさと納税  |   |  |   |  |
|  | クラウドファンディング  |   |  |   |  |
| その他  |  |   |  |   |  |
|  |  |   |  |   |  |
| 相違理由   |  |   |  |   |  |
| 達成要因   |  |   |  |   |  |
|  |  |   |  |   |  |
| ※地域<br>事業  | への経済波及効果とは、地域企業・   | 産業の収益・  | 収入・売上の増加、移住者増加   | 。また、その積算根拠を定性的に教えてくだ。<br>こよる税収の増加、観光客増加による県内)<br>負算したものを指します。 (定量的に金額接  | 肖費額の増加等、   |
|  | 事業の効果指標  |   | 効果(おおよそ  | D金額(見込み額でも可)をご回答ください  | 1)   |
|  |  | 金額合計  | 千円 積算根拠  | <u>l</u>  |  |
|  |  | 金額合計金額合計  | 千円 積算根据<br>千円 積算根据   |   |  |
|  |  | 金額合計  | 千円 積算根拠  |   |  |
|  |  | に限らず、事  | 事業効果として定性的に見て取れる   | 。<br>(感じる) 効果 <sup>※</sup> があれば具体的な内容と<br>機会や質の向上、SDGs達成への寄与等を  |  |
|  |  |   |  |   |  |
| いただ  | きました。計画時目指している「自立  | 化」を達成する   | るため、行政と民間、公共的団体領   | たり、主となる事業推進主体の属性について、<br>等※の適切・効果的な役割分担についてお<br>または自治体が一定程度以上出資している法  | 考えを教えてください。  |
|  | 主となる事業推進主体の属性  | 270270  | Z.III./Z/\(\(\text{ID}\) = 1 (1) (1) (1) (1)   | その他(下記に記載)  | XC3800 71  |
|  | 工しなる子来派延工件の周江  |   |  | COID (  BUCBLES)  |  |
|  | 制:国立大子の研究成果を県内展<br>課題解決とその企画を提案する  | こと、など   |  | さるなど、民間の技術・ノウハウを活用し地域   | 関係者とともに地域  |
|  | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割  | こと、など   |  |   | 関係者とともに地域  |
|  | 課題解決とその企画を提案する   | こと、など   | 家の収益性及び生産性を向上さ   |   | 関係者とともに地域  |
|  | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割   | こと、など   | 家の収益性及び生産性を向上さ   |   | 関係者とともに地域  |
| 本事業別   | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>その他の役割<br>経済への効果について  | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上さ<br>と民間の適切・効果的な役割分<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・  | )担についての考え<br>は<br>なが直接支払った相手先についてご教示べ   |  |
| 本事業別   | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>その他の役割<br>その他の役割<br>接済への効果について<br>実施に伴う地域経済への効果を把握                                    | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>ないでは、対象をである。<br>ないでは、対象を使用できないできないできない。<br>ないできないできないできないできないできない。<br>ないできないできないできないできないできないできないできない。   | )担についての考え<br>は<br>なが直接支払った相手先についてご教示べ   | ださい。   |
| 大事業第<br>を払額の   | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  | ださい。 令和4年度支払   |
| 事業等<br>払額の<br>No.  | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| 事業<br><b>払額</b><br>No.   | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| 下事業<br><b>E払額</b><br>No.<br>1<br>2<br>3<br>4   | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| No. 1 2 3 4 5  | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| No. 1 2 3 4 5 6  | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| No. 1 2 3 4 5 6 7  | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| No. 1 2 3 4 5 6 7 8  | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| No. 1 2 3 4 5 6 7 8 9  | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>公共的団体等の役割<br>被消人の効果に担い<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>力大きい順に、総支払額(国費と単                        | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| No. 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10   | 課題解決とその企画を提案する<br>行政の役割<br>民間の役割<br>公共的団体等の役割<br>その他の役割<br>その他の役割<br>接済への効果について<br>実施に伴う地域経済への効果を把握<br>大きい順に、被支払額(国職と単<br>相手先事業者名      | こと、など 行び  | 家の収益性及び生産性を向上され<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>な民間の適切・効果的な役割が<br>気 <mark>整備交付金の対象経費を質</mark> 切<br>おおむね全でをカバーするまでご記   | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。 令和4年度支払   |
| <ul> <li>No.</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>7</li> <li>8</li> <li>9</li> <li>10</li> <li>デジタ)</li> </ul>                             | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 への他の役割 経済への効果に担て 実施に伴う地域経済への効果を把握 大きい順に、総支払額(国費と単 相手先事業者名                                   | こと、など<br>行動<br>するため、 <mark>拠</mark> 順<br>するため、  | 家の収益性及び生産性を向上された。  这民間の適切・効果的な役割が  に民間の適切・効果的な役割が  に対して、  に対して、 に対して、 に対して、  に対して、 に対 | 対担についての考え  はか「直接支払った相手先についてご教示く、  人ください。  支払先事業所所在地  がおよ以外の事業所 (交点、養業所等) の場合:   | ださい。<br>令和4年度支払<br>「単位:千円                                |
| 本事業3<br><b>5 5 5 5 6 7 8 9 10 デジタ</b> )  | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 への他の役割 経済への効果に担て 実施に伴う地域経済への効果を把握 大きい順に、総支払額(国費と単 相手先事業者名                                   | こと、など<br>行動<br>するため、 <mark>拠</mark> 順<br>するため、  | 家の収益性及び生産性を向上された。  这民間の適切・効果的な役割が  に民間の適切・効果的な役割が  に対して、  に対して、 に対して、 に対して、  に対して、 に対 | がは、   | ださい。<br>令和4年度支払<br>「単位:千円                                |
| 本事業<br><b>5 払額</b><br>No.<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>10   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 への他の役割 経済への効果に担て 実施に伴う地域経済への効果を把握 大きい順に、総支払額(国費と単 相手先事業者名                                   | こと、など<br>行動<br>するため、 <mark>拠</mark> 順<br>するため、  | 家の収益性及び生産性を向上された。  这民間の適切・効果的な役割が  に民間の適切・効果的な役割が  に対して、  に対して、 に対して、 に対して、  に対して、 に対 | がは、   | ださい。<br>令和4年度支払<br>「単位:千円                                |
| 本事業業<br>No.<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>10<br>デジタル   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 その他の役割 その他の役割 その他の役割 経済への効果と心 に 実施に伴う地域経済への効果を把握 大きい場に、終支払額(国限と単 相手先事業者名                    | できます できます できます できます できます できます かん いっぱい できます かい できます できます できます できます しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう こういて 選択の | 家の収益性及び生産性を向上された。  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  なきるの対象経費を貴国  おおむね全てをカバーするまでご記  業種  ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  | 接が直接支払った相手先についてご教示く、<br>人代定い。<br>文払允事業所所在地<br>とが本社以外の事業所(を込、農業所等)の場合に<br>当以事業所の所在地<br>データの効率的処理が必要となった、遠隔   | ださい。 令和4年度支持 「単位:千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| No. 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 その他の役割 その他の役割 その他の役割 経済への効果と心 に 実施に伴う地域経済への効果を把握 大きい場に、終支払額(国限と単 相手先事業者名                    | できます できます できます できます できます できます かん いっぱい できます かい できます できます できます できます しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう こういて 選択の | 家の収益性及び生産性を向上された。  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  なきるの対象経費を貴国  おおむね全てをカバーするまでご記  業種  ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  | がは、   | ださい。 令和4年度支持 「単位:千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| No. 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 その他の役割 その他の役割 その他の役割 経済への効果と心 に 実施に伴う地域経済への効果を把握 大きい場に、終支払額(国限と単 相手先事業者名                    | できます できます できます できます できます できます かん いっぱい できます かい できます できます できます できます しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう こういて 選択の | 家の収益性及び生産性を向上された。  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  なきるの対象経費を貴国  おおむね全てをカバーするまでご記  業種  ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  | 接が直接支払った相手先についてご教示く、<br>人代定い。<br>文払允事業所所在地<br>とが本社以外の事業所(を込、農業所等)の場合に<br>当以事業所の所在地<br>データの効率的処理が必要となった、遠隔   | ださい。 令和4年度支持 「単位:千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| ト事業美<br>No.<br>1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8<br>9<br>10   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 その他の役割 その他の役割 その他の役割 経済への効果と心 に 実施に伴う地域経済への効果を把握 大きい場に、終支払額(国限と単 相手先事業者名                    | できます できます できます できます できます できます かん いっぱい できます かい できます できます できます できます しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう こういて 選択の | 家の収益性及び生産性を向上された。  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  なきるの対象経費を貴国  おおむね全てをカバーするまでご記  業種  ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  | 接が直接支払った相手先についてご教示く、<br>人代定い。<br>文払允事業所所在地<br>とが本社以外の事業所(を込、農業所等)の場合に<br>当以事業所の所在地<br>データの効率的処理が必要となった、遠隔   | ださい。 令和4年度支持 「単位:千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| ト事業等<br>No.  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 デジタル   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割   | できため、提供の合計)の  | 家の収益性及び生産性を向上さ  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  高整備文付金の対象経典を責団  おおむね全てをカバーするまでご記  業種 ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  詳細をご教示ください。(例)  | 接についての考え  はが直接支払った相手先についてご教示く 人ください。  支払先事業所所在地  しが本社以外の手が所(28、営業所等)の場合に  当は事業所の所在地  データの効率的処理が必要となった、遠隔  用だったデータを有効活用できた、オンライン   | たさい。   |
| ト事業等<br>No.  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 デジタル   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割   | できため、提供の合計)の  | 家の収益性及び生産性を向上さ  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  高整備文付金の対象経典を責団  おおむね全てをカバーするまでご記  業種 ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  詳細をご教示ください。(例)  | 接が直接支払った相手先についてご教示く、<br>人代定い。<br>文払允事業所所在地<br>とが本社以外の事業所(を込、農業所等)の場合に<br>当以事業所の所在地<br>データの効率的処理が必要となった、遠隔   | たさい。   |
| ト事業等<br>No.  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 デジタル   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割   | できため、提供の合計)の  | 家の収益性及び生産性を向上さ  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  高整備文付金の対象経典を責団  おおむね全てをカバーするまでご記  業種 ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  詳細をご教示ください。(例)  | 接についての考え  はが直接支払った相手先についてご教示く 人ください。  支払先事業所所在地  しが本社以外の手が所(28、営業所等)の場合に  当は事業所の所在地  データの効率的処理が必要となった、遠隔  用だったデータを有効活用できた、オンライン   | たさい。   |
| ト事業等<br>No.  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 デジタル   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割   | できため、提供の合計)の  | 家の収益性及び生産性を向上さ  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  高整備文付金の対象経典を責団  おおむね全てをカバーするまでご記  業種 ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  詳細をご教示ください。(例)  | 接についての考え  はが直接支払った相手先についてご教示く 人ください。  支払先事業所所在地  しが本社以外の手が所(28、営業所等)の場合に  当は事業所の所在地  データの効率的処理が必要となった、遠隔  用だったデータを有効活用できた、オンライン   | たさい。   |
| ト事業等<br>No.  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 デジタル   | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割   | できため、提供の合計)の  | 家の収益性及び生産性を向上さ  なと民間の適切・効果的な役割が  なと民間の適切・効果的な役割が  高整備文付金の対象経典を責団  おおむね全てをカバーするまでご記  業種 ※支払  シ上、詳細をご教示ください。(例)  詳細をご教示ください。(例)  | 接についての考え  はが直接支払った相手先についてご教示く 人ください。  支払先事業所所在地  しが本社以外の手が所(28、営業所等)の場合に  当は事業所の所在地  データの効率的処理が必要となった、遠隔  用だったデータを有効活用できた、オンライン   | たさい。   |
| <ul> <li>本事業業</li> <li>No.</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>7</li> <li>8</li> <li>9</li> <li>10</li> <li>デジタル</li> <li>デジタル</li> </ul> | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 その他の役割 その他の役割 経済への効果を把関 大きい順に、総支払額(国費と単 相手先事業者名 相手先事業者名 は「大きい順に、総支払額(国費と単 なが、の導入に至った経緯(理由)は | では、など 行動 するため、 挽い   | 家の収益性及び生産性を向上された (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年)   | 接が直接支払った相手先についてご数示く、<br>次が直接支払った相手先についてご数示く、<br>次は先事業所所在地<br>近が末は以外の事業所(反応、質案所等)の場合に<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>「対しい」というに<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、 | ださい。   |
| <ul> <li>本事業業</li> <li>No.</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>7</li> <li>8</li> <li>9</li> <li>10</li> <li>デジタル</li> <li>デジタル</li> </ul> | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 その他の役割 その他の役割 経済への効果を把関 大きい順に、総支払額(国費と単 相手先事業者名 相手先事業者名 は「大きい順に、総支払額(国費と単 なが、の導入に至った経緯(理由)は | では、など 行動 するため、 挽い   | 家の収益性及び生産性を向上された (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年)   | 接についての考え  はが直接支払った相手先についてご教示く 人ください。  支払先事業所所在地  しが本社以外の手が所(28、営業所等)の場合に  当は事業所の所在地  データの効率的処理が必要となった、遠隔  用だったデータを有効活用できた、オンライン   | ださい。   |
| <ul> <li>本事業業</li> <li>No.</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>7</li> <li>8</li> <li>9</li> <li>10</li> <li>デジタル</li> <li>デジタル</li> </ul> | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 その他の役割 その他の役割 経済への効果を把関 大きい順に、総支払額(国費と単 相手先事業者名 相手先事業者名 は「大きい順に、総支払額(国費と単 なが、の導入に至った経緯(理由)は | では、など 行動 するため、 挽い   | 家の収益性及び生産性を向上された (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年)   | 接が直接支払った相手先についてご数示く、<br>次が直接支払った相手先についてご数示く、<br>次は先事業所所在地<br>近が末は以外の事業所(反応、質案所等)の場合に<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>「対しい」というに<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、 | ださい。   |
| 本 <b>支払額</b> No.  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 デジタル  | 課題解決とその企画を提案する 行政の役割 民間の役割 民間の役割 公共的団体等の役割 その他の役割 その他の役割 経済への効果を把関 大きい順に、総支払額(国費と単 相手先事業者名 相手先事業者名 は「大きい順に、総支払額(国費と単 なが、の導入に至った経緯(理由)は | では、など 行動 するため、 挽い   | 家の収益性及び生産性を向上された (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年) (別年)   | 接が直接支払った相手先についてご数示く、<br>次が直接支払った相手先についてご数示く、<br>次は先事業所所在地<br>近が末は以外の事業所(反応、質案所等)の場合に<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>当該事業所の所在地<br>「対しい」というに<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、<br>は、 | ださい。   |

גע

# 3.2.2 ヒアリング調査の実施

ヒアリング調査では、事前に送付した調査票、事業実施計画、事業実施報告等を基にインタビュー、意見交換、視察等を行った。ヒアリング調査を実施した事例は以下の通り。

図表 3-9 ヒアリング調査の実施事例

| No. | 事業テーマ           | 地方公共団体名 | 事業名  |
|-----|-----------------|---------|--|
| 1-1 | ローカル<br>イノベーション | 長野県     | 信州未来志向型 3D デジタル生産技術実装化研究<br>拠点整備計画         |
| 2-1 | 農林水産            | 熊本県南阿蘇村 | そばによる生産性革命へのチャレンジプロジェクト (そば乾燥調製・保管施設)      |
| 3-1 | 観光              | 鳥取県大山町  | 「新複合店舗」建設による大山参道にぎわいの復活                    |
| 3-2 | 観光              | 熊本県錦町   | 次世代に平和をつなぐ拠点整備事業                           |
| 4-1 | 生涯活躍のまち         | 兵庫県丹波市  | 氷上回廊水分れフィールドミュージアム拠点整備<br>事業               |
| 5-1 | 移住・人材           | 青森県むつ市  | むつ下北未来創生キャンパス整備計画                          |
| 6-1 | 若者雇用対策          | 宮崎県椎葉村  | 秘境の未来を変えるイノベーション拠点施設整備<br>計画               |
| 7-1 | ワークライフ<br>バランス  | 長野県須坂市  | 子育て・就労総合支援拠点(仮称)整備計画                       |
| 8-1 | 小さな拠点           | 島根県雲南市  | 小さな拠点 (久野交流センター) 整備による交流・<br>子育て・福祉事業等連携促進 |
| 9-1 | コンパクトシティ        | 栃木県栃木市  | 渡良瀬サイクルパーク(仮)整備計画                          |

# 3.3 詳細調査の結果

## 3.3.1 事業推進主体の属性(事業テーマ別)

#### 1) 事業推進主体属性(前期)

前期調査分拠点整備タイプ事業の実施において、主となる事業推進主体の属性を事業テーマ別にみると、「観光」や「コンパクトシティ等」では調査対象件数が2件以上となるもののなかですべてにおいて事業推進主体の属性が行政(民間事業者に、委託・指定管理を行うことも含む)であった。

事業推進主体属性(事業テーマ別)
0 1 2

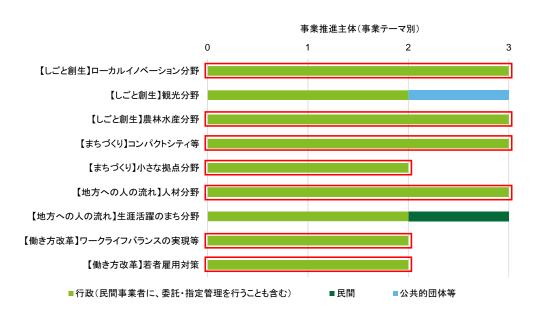
【しごと創生】ローカルイパーション分野
【しごと創生】農林水産分野
【まちづくり】コンパクトシティ等
【まちづくり】小さな拠点分野
【地方への人の流れ】人材分野
【地方への人の流れ】人材分野
【地方への人の流れ】上涯活躍のまち分野
【働き方改革】ワークライフバランスの実現等
【働き方改革】オ者雇用対策

■行政(民間事業者に、委託・指定管理を行ごとも含む) ■民間 ■公共的団体等 ■その他

図表 3-10 事業推進主体の属性×事業テーマ(前期)

#### 2) 事業推進主体属性(後期)

後期調査分拠点整備タイプ事業の実施において、主となる事業推進主体の属性を事業テーマ別にみると、「ローカルイノベーション」や「農林水産」、「コンパクトシティ等」、「小さな拠点」、「人材」、「ワークライフバランス」、「若者雇用対策」では調査対象件数すべてにおいて事業推進主体の属性が行政(民間事業者に、委託・指定管理を行うことも含む)であった。

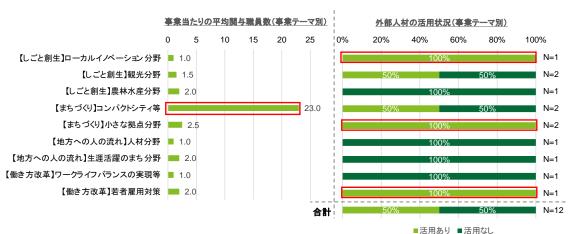


図表 3-11 事業推進主体の属性×事業テーマ(後期)

## 3.3.2 地方公共団体内の実施体制(事業テーマ別)

#### 1) 平均関与職員数及び外部人材の活用状況(前期)

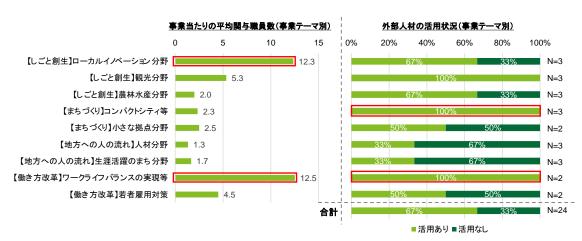
前期調査分拠点整備タイプ事業の実施に直接的に関与した職員数は、「コンパクトシティ等」が最も多く平均23.0人であった。また、外部人材の活用について、「ローカルイノベーション」や「小さな拠点」、「若者雇用対策」では調査対象件数すべてにおいて外部人材の活用があった。



図表 3-12 平均関与職員数及び外部人材の活用状況×事業テーマ(前期)

## 2) 平均関与職員数及び外部人材の活用状況(後期)

後期調査分拠点整備タイプ事業の実施に直接的に関与した職員数は、「ワークライフバランス」が最も多く平均12.5人であった。次いで「ローカルイノベーション」が12.3人であった。また、外部人材の活用について、「コンパクトシティ等」や「ワークライフバランスの実現等」では調査対象件数すべてにおいて外部人材の活用があった。

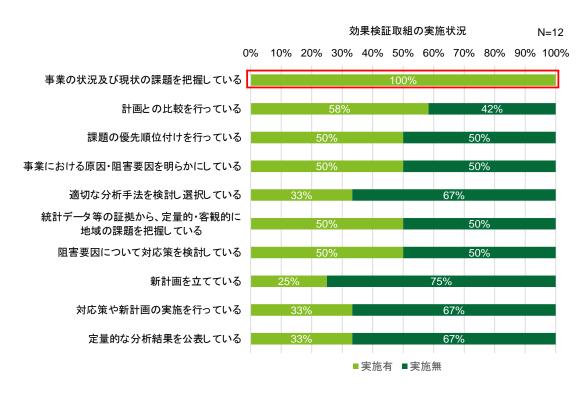


図表 3-13 平均関与職員数及び外部人材の活用状況×事業テーマ(後期)

## 3.3.3 効果検証の実施状況(前期)

前期調査分拠点整備タイプ事業の実施において、効果検証の実施にあたり特に重要であり工夫して実施した項目を聞いたところ、「事業の状況及び現状の課題を把握している」ことであるとの回答が100%と最も多かった。

図表 3-14 効果検証の実施状況(前期)



# 3.3.4 KPI の設定に当たり、取り組んだ工夫(後期)

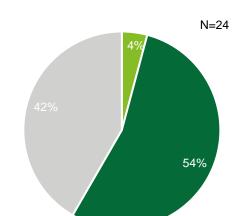
後期調査分拠点整備タイプ事業の実施において、KPI の設定に当たり、取り組んだ工夫を聞いたところ、「B.総合計画や総合戦略の KPI とリンクさせた」ことであるとの回答が54%と最も多かった。

KPIの設定に当たり、取り組んだ工夫 40% 60% 80% 100% A.地方創生事業実施のためのガイドライン(「分野別の主なKPIの例」 「参考となる政府統計指標」など)を参考にした B.総合計画や総合戦略のKPIとリンクさせた C.ロジックモデルを設定した D.市民(含む議会)の納得感が得られるよう、数値化しやすい明白な指標を心掛けた E.すぐに効果が実感でき政策に賛同が得られやすいよう、 短期で結果が出やすい事項をKPIとした F.じっくり取り組んで確実に効果を挙げるよう、長期間かけて結果を出す事項をKPIとした G.目に見える形のアウトプット指標をKPIとして採用した H.事業の自立自走に向け、進捗管理できるアウトカム指標をKPIとして採用した 13% 1.参画企業の状況を把握できるような指標をKPIとして採用した 179 J.地方公共団体の既存統計を活用できるような指標をKPIとして採用した 21% K.KPI設定にかかる研修を実施した(アウトプット・アウトカムの違いや、 ロジックモデルの作成方法など) L.庁内縦断的な検討会議を設置した 4% M.民間(企業、協議会、市民参加など)と共に検討した N.RESAS, V-RESAS, E-StatのデータをKPI設定の参考とした O.民間企業にデータの提供を求め、KPI設定の参考とした P.関係省庁(〇〇省、××地方事務所など)に相談した) Q.外部専門家に相談した(学識者、民間団体など) 100% ■実施有 ■実施無

図表 3-15 KPIの設定に当たり、取り組んだ工夫(後期)

# 3.3.5 事業の進捗管理指標としてのデータ活用(後期)

後期調査分拠点整備タイプ事業の実施において、事業の進捗管理のための指標としてデータの活用を行ったかどうか聞いたところ、「進捗管理に活用した」との回答は 4%であった。



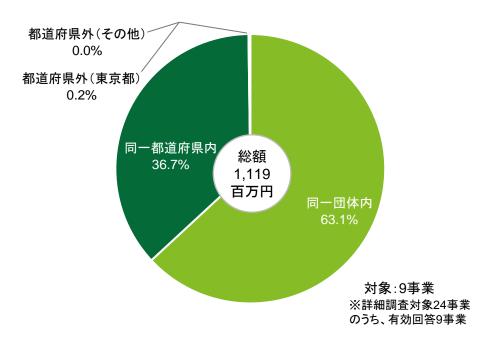
図表 3-16 事業の進捗管理指標としてのデータ活用有無(後期)

■ 進捗管理に活用 ■ 進捗管理には活用していない ■ 不明

## 3.3.6 交付金事業費支出先の地域内訳

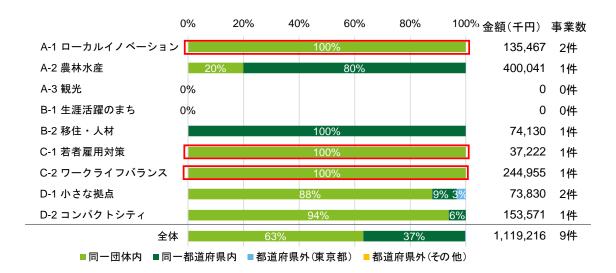
交付金事業費の支出先に関して、同一地方公共団体内事業者が 63.1%、同一都道府県内が 36.7%となっている。

なお、これら支出先の地域内訳は、後期事例研究の対象とした 24 事業における結果であり、拠点整備タイプ事業全体における地域内訳ではないことに留意が必要である。



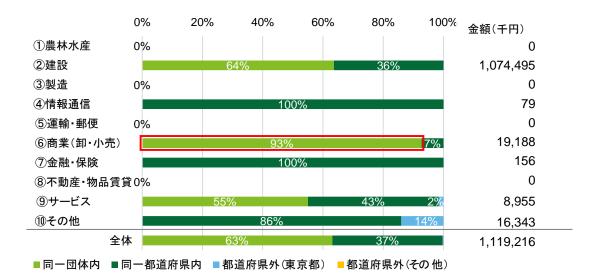
図表 3-17 交付金事業費支出先の地域内訳

※都道府県事業において、支出先が当該都道府県内 事業者の場合は「同一団体」に分類 事業テーマ別に見ると、ローカルイノベーションや若者雇用対策、ワークライフバランス分野で、同一地方公共団体内事業者への支払割合が他に比べて高く、100%を占めている。



図表 3-18 交付金事業費支出先の地域内訳(事業テーマ別)

支払先の業種別に見ると、商業(卸・小売)の分野で、同一地方公共団体内事業者への支払割合が他に比べて高く、90%を超えている。



図表 3-19 交付金事業費支出先の地域内訳(支払先業種別)

# 第4章 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果を高める要因

事業実施報告の整理・分析の結果(第2章)、事例研究の結果(第3章)及び検討委員会委員の意見を踏まえ、デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果を高めると考えられるポジティブな要因を抽出した。このポジティブな要因は、事業の流れの中で、どの段階で実施するかも重要であり、デジタル田園都市国家構想交付金事業をより効率的、かつ効果的に行うためにはポジティブな要因を適切なタイミングで実施することが重要である。また、その中でも地方公共団体が特に留意すべき重要な要因について、有識者の意見を踏まえ抽出した。

# 4.1 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因

事業実施報告の整理・分析の結果を踏まえ、事例研究を通じて検証し抽出したデジタル田 園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因は以下の通りである。

#### 図表 4-1 デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因

- 1 定量的なデータによる課題発見、掘り起こし
- 2 現場に赴いて住民意見を聴取する
- 3 アンケート・ヒアリング調査による課題・ニーズ確認、検証
- 4 多角的な情報に裏打ちされた解決すべき課題の特定
- 5 他の類似先進事例を研究し、事前にリスク・機会を把握する
- ⑥ 施策手法を検討するにあたり住民への説明を行い、地域に受け入れられる施策であることを確認する
- 7 施策手法案の有効性、経済性、効率性等の詳細な検討を実施する
- 8 事業目的、解決課題を踏まえ適切なKPIを設定する
- 野 既存組織、ネットワークなどを活用し、事業推進体制を構築する
- 10 複数担当者により事業を推進する
- 11 着実で実効性のある効果検証による強靭な事業運営を実施する
- 12 住民参加型の会議で意見交換を行うとともに、多様な広報媒体を通じて住民への周知を行う
- 13 事業実施中に状況や事業推進の課題を把握する
- 14 事業推進に係る解決すべき課題の優先順位付け
- 15 定量的なデータを活用し課題を分析する
- 16 阻害要因を特定し、対応策を検討する
- 17 効果検証において定量的に分析し、結果を公表する

また、これらの要因を「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえて整理した場合、下記の通りとなる。

図表 4-2 「組織の検討・決定の流れ」及び「事業の流れ」を踏まえた デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因の整理結果

#### 1) 事業の流れ (アイデア・手法の検討段階)

解決課題を発見するため、統計情報(公開されている定量的なデータなど)を活用した事業ほど、KPI 目標を達成した割合が高い傾向にある。また、解決課題の発見において、定期的に現地に赴き、住民意見の聞き取りを行った事業についても、KPI 目標を達成した割合が同様に高い傾向を示している。つまり、住民の意見や定量的なデータの分析結果を踏まえ、交付金事業によって解決すべき課題を抽出しておくことが、事業の成否を分ける重要な要因であると考えられる。

また、抽出した課題について「地域の実態やニーズの把握を目的としたアンケート調査」等の結果を基に、課題の特定、優先順位付けを行った事業ほど、自立化の目途が立っている割合が高い傾向にある。つまり、地域の複数ある課題を発見すること、また発見した課題のうち優先的に解決する課題の特定を行うことが、事業の効果を高めるうえで重要である。

また、既存組織・ネットワークを活用して事業の構築を行った事業ほど、KPI 目標を達成した割合が高い傾向にある。そのため、事業手法を検討する際、地方公共団体等が有する既存組織・ネットワークの活用を踏まえて事業構築を行うことも、事業の効果を高める

うえで重要である。

#### 2) 事業の流れ(具体化・実施段階)

施策手法の検討に当たり、類似した取組を行っている地方公共団体などへの現地視察を 実施し、事例を研究した上で、施策手法を立案している事業ほど、自立化の目途が立って いる割合が高い傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、事業を発展・継 続している傾向にある。同様に、施策手法の検討に当たり、検討会やワークショップでの 住民への説明を行い、地域に受け入れられる施策であることを確認している事業ほど、 KPI を達成している割合が高い。また、政策手段の選定に当たり、有効性・経済性・効率 性の詳細な検討を行った事業でも、地方創生への効果認識が高い傾向にある。

施策手法の検討段階から住民を巻き込み理解を促す取組を行うと共に、先進事例を研究 したうえで有効性、経済性、効率性の観点から詳細な施策の検討・決定を行うことが、事 業の効果を高める重要な要因であると考えられる。

施策手法の検討・決定のみではなく、事業目的等を踏まえた事業の KPI を適切に設定することも重要である。また、事業を実施する際、複数担当者を配置し事業を推進していくことも事業の効果を高めるうえで重要である。

## 3) 事業の流れ (評価・改善段階)

事業実施中に状況及び事業推進の課題をモニタリングしている事業ほど、KPI を達成している割合が高い傾向にある。事業を実施する中でも課題を把握し、その優先順位付けを行って対策を講じることが、事業の効果を高める重要な要因であると考えられる。加えて、これらの把握・優先順位付けした課題について、統計データ等の証拠から、定量的・客観的にも把握している事業ほど、自立化の目途が立っている割合が高い傾向にある。

また、着実で実効性のある効果検証によって、事業運営の強靭化を図ることは、事業の効果を高めるうえで重要な要因である。効果検証を通じて、課題を発見し、有識者の意見を聞き、改善策を講じるといったサイクルで事業を運営している事業ほど、地方創生への効果認識が高く、効果検証を通じて対応策を検討している事業ほど新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、事業を発展・継続している傾向にある。

さらに、効果検証において分析した事業の進捗等の結果を公表している事業ほど、KPI を達成している割合が高まる傾向にあるため、地域住民等への結果の公表も、事業の効果を高める要因であると考えられる。

# 4.2 地方公共団体が特に留意すべき重要な要因

デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果に対するポジティブ要因のうち、特に事業の効果等への影響が大きいと考えられる要因について、検討委員会の議論を通じ、下記の5点について、地方公共団体が特に留意すべき重要な要因として整理した。

#### (1) 定量的なデータの活用

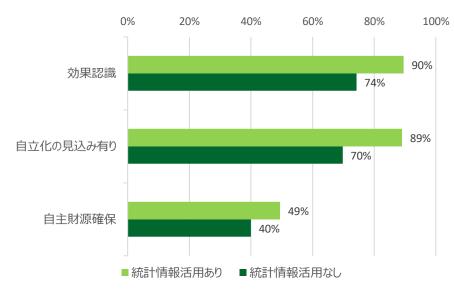
政策立案時において統計情報を活用した事業は、KPI を達成した事業に占める割合が KPI 未達成事業と比較してわずかではあるが高い結果となった。また、「地方創生に効果があった」、「自立化の見込みあり」、「必要な自主財源等を確保できる目処が立っている」についても同様の結果となった。政策立案時での「統計情報の活用」は、地方公共団体の課題や強みの発見と KPI 設定に有用であり、KPI の達成に寄与している可能性がある。



図表 4-3 統計情報を活用した事業の割合(KPI達成有無別)

注) 政策立案時に「統計情報を活用した」と回答した事業

図表 4-4 事業効果・自立化の見込み・自主財源等確保の状況 (統計情報活用有無別)



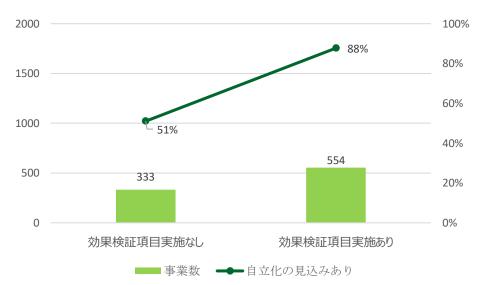
注) 政策立案時に「統計情報を活用した」と回答した事業

#### (2) 効果検証の着実な実施

全体の 62%の事業が、効果検証を行うにあたっての実施項目を一つでも実施しており、実施している事業は実施項目なしの事業と比較して、「自立化の見込みあり」と回答している割合が高い。

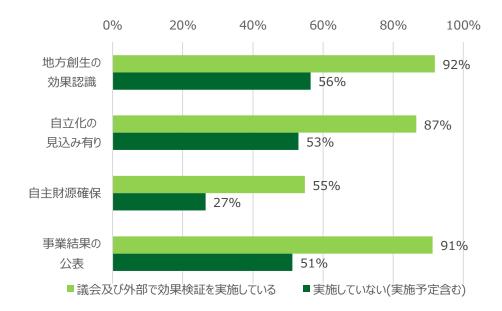
また、「議会及び外部双方の効果検証」を実施している事業は効果検証を実施していない事業と比較して、「地方創生に効果があった」、「自立化の見込みあり」、「必要な自主財源等を確保できる目処が立っている」と回答した割合が高く、特に「事業結果を公表している」と回答した事業は、効果検証を実施していない事業を大きく上回った。

効果検証の実施及び事業結果の公表は、地域住民の理解が醸成されるとともに、デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果を高めるうえで重要な要因である。



図表 4-5 自立化を見込んでいる事業の割合(効果検証項目実施有無別)

図表 4-6 地方創生の効果認識・自立化の見込み・自主財源等確保・事業結果の公表状況 (効果検証の実施有無別)

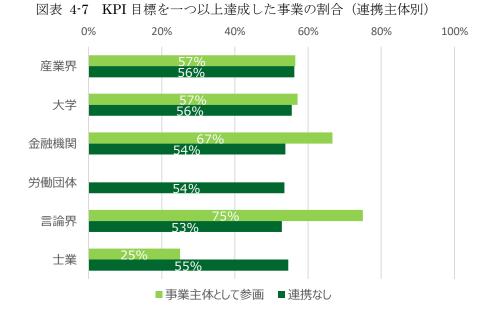


#### (3) 事業実施体制の構築

民間団体1が事業主体として参画している事業は、KPIの達成割合と「必要な自主財源等を確保できる目処が立っている」と回答した割合が高い。特に、KPIの達成率では金融機関、言論界の事業主体としての参画が高い割合となっており、自主財源の確保では産業界、金融機関、言論界の事業主体としての参画が高い割合となっている。事業収益性に関する目利き能力を保有する民間団体の事業主体への参画は、

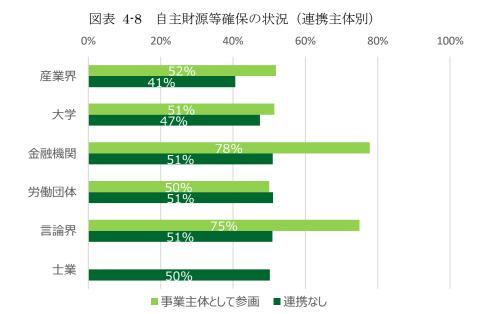
- ① 販路等拡大等直接的な便益
- ② 事業者間連携
- ③ 人材の派遣
- ④ 資金拠出·融資等

といった側面で事業推進に対する効果が期待され、KPI の達成に寄与するものと考えられる。



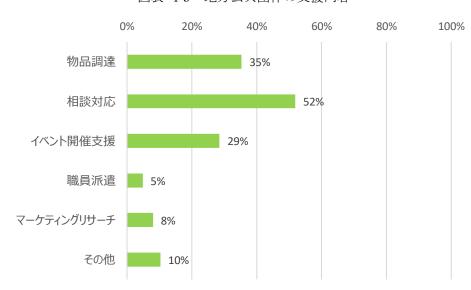
102

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> ここでいう「民間団体」は地方公共団体以外の事業主体をいう。国公立大学等も「民間団体」として定義する。



続いて、地方公共団体の支援業務でみると、全体の70%の事業が地方公共団体の実施項目を支援として受けており、項目別でみると相談対応が52%で最も多く、次いで物品調達、イベント開催支援の順に多かった。また、地方公共団体の支援業務を一つでも実施している事業は支援業務を実施していない事業と比較して、「自立化の見込みあり」と回答している割合が高かった。相談対応、物品調達、イベント開催などの地方公共団体による事業推進主体への支援が自立化に寄与しているものと考えられる。

デジタル田園都市国家構想交付金関連事業において、地域の課題、ソリューション、 人的ネットワーク、他地域の取組、関連交付金・補助金情報他多様な情報を積極的に 習得し、周囲を巻き込む力のある職員が事業推進主体の支援において与える影響は大 きいものと考えられる。

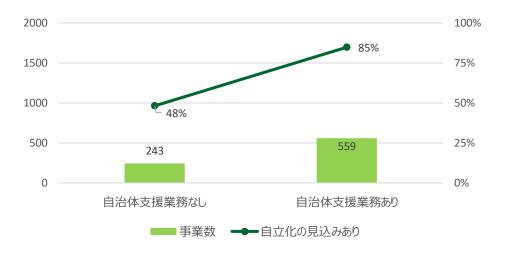


図表 4-9 地方公共団体の支援内容

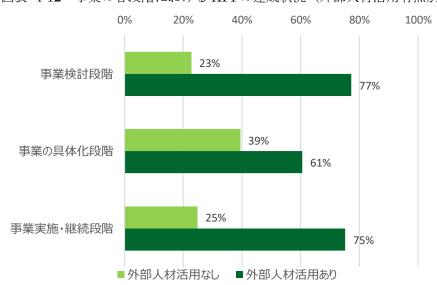
図表 4-10 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(支援項目実施有無別)



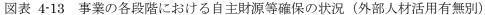
図表 4-11 自立化を見込んでいる事業の割合(支援項目実施有無別)

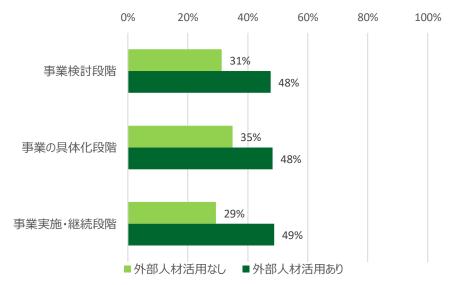


さらに、事業実施体制の構築において「外部人材」の活用も大きな影響を与えることは例年の調査からも周知のとおりである。事業の各段階において、外部人材を活用した事業は、活用していない事業と比較して KPI 達成割合、「必要な自主財源等を確保できる目処が立っている」と回答した割合が高く、事業の各段階における外部人材の活用が、KPI の達成と財源確保に寄与しているものと考えられる。



図表 4·12 事業の各段階における KPI の達成状況 (外部人材活用有無別)





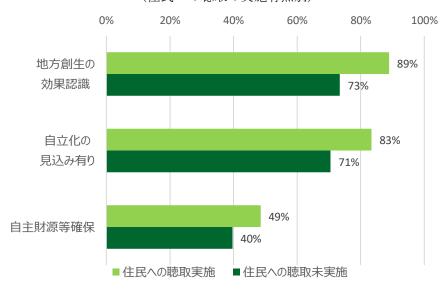
#### (4) 地域住民とのコミュニケーション

政策立案時において住民への聴取を実施した事業は、KPI を達成した事業に占める 割合より KPI 未達成事業の方がわずかに高かった。一方で政策立案時において住民へ の聴取を実施した事業は、「地方創生に効果があった」、「自立化の見込みあり」、「必要 な自主財源等を確保できる目処が立っている」と回答した割合が高かった。

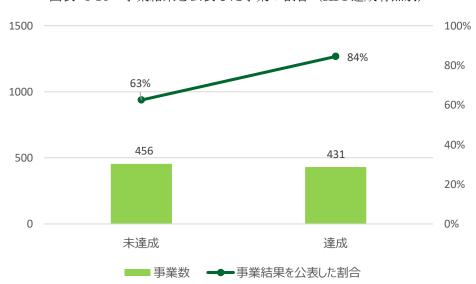


図表 4-14 住民への聴取を実施した割合 (KPI 達成有無別)

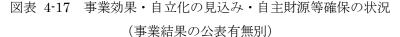
図表 4-15 地方創生の効果認識・自立化の見込み・自主財源等確保の状況 (住民への聴取の実施有無別)

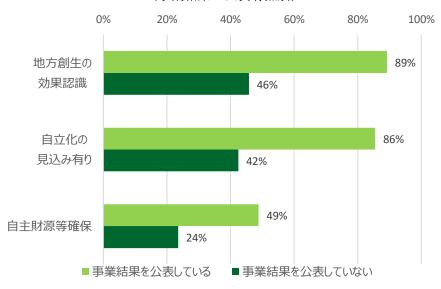


さらに、全体の73%の事業が事業結果を公表しており、KPI を達成した事業に占める割合が KPI 未達成事業と比較してわずかに低かったものの、「地方創生に効果があった」、「自立化の見込みあり」、「必要な自主財源等を確保できる目処が立っている」と回答した割合は高かった。これらの分析結果から、政策立案時における住民への聴取と事業結果の公表が、地方創生の効果認識、自立化への志向に一定の影響を与えていることが推察され、事業結果の公表に際して行われる事業成果の分析が、現在地の確認と将来見通しに好影響を与えているものと考えられる。



図表 4-16 事業結果を公表した事業の割合 (KPI 達成有無別)





### (5) 政策間連携

ここでいう政策間連携とは、デジタル田園都市国家構想交付金事業単独で行うのではなく、他省庁・地方公共団体の補助金・交付金、民間事業等と連携しながら、地域全体でアウトカムを追求していくような取組体制をいう。地方公共団体では、担当課相互のコミュニケーションや情報交換を通じ、協業による効率化や普及活動のスケールメリット等が期待される。

事業実施報告の回答結果を見ると、連携する政策数が多くなるほど、 KPI 目標の達成割合が高くなる傾向が見て取れる。自主財源等確保の割合についても、連携する政策数が多くなるほど、全体傾向として KPI 目標の達成割合が高くなる傾向にある。 複数の政策を連携させて事業を実施することが、 KPI の達成や財源の確保に寄与するものと考えられる。



図表 4-18 KPI 目標を一つ以上達成した事業の割合(政策連携数別)



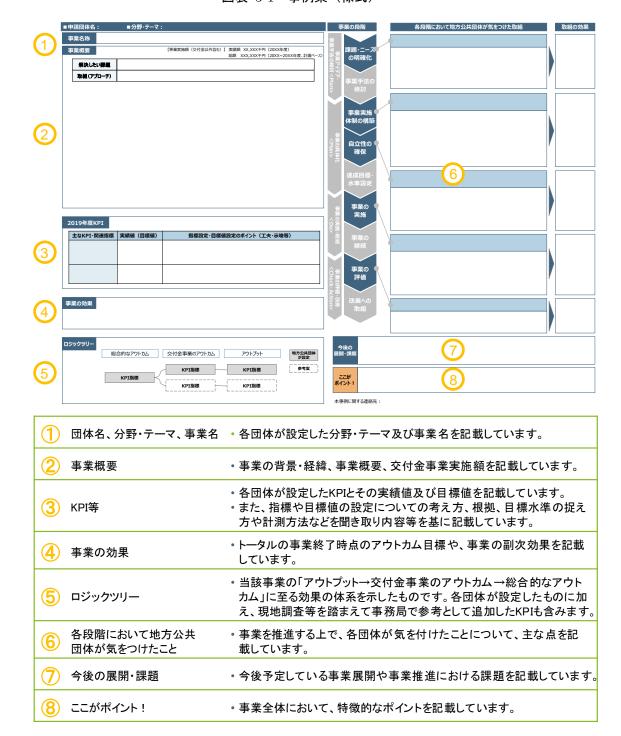


# 第5章 事例集の作成、ガイドラインの加筆・修正

### 5.1 事例集の作成

現地調査を実施した主な事例について、拠点整備タイプを活用して行われた事業の概要 や KPI に対する考え方、取り組む上で地方公共団体が気を付けたこと等を整理し、他の地方公共団体の今後の取組の参考となるように「(令和 5 年度版) デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ・地方創生拠点整備タイプ)活用事例集」を別冊資料として取りまとめた。

事例集の様式及び記載内容の説明を以下に示す。



図表 5-1 事例集(様式)

### 5.2 ガイドラインの加筆・修正

本調査を踏まえて、ガイドラインの加筆・修正を実施した。

具体的には、本調査によって明らかになった地方公共団体による交付金事業実施に当たっての課題を踏まえて、以下の点をガイドラインに反映した。

- ・ ガイドラインで参照する事例を今年度の調査結果に基づき更新するとともに、参照元である事例集に紐づく索引を記載した(64-162 ページ、3. 事業の PDCA の段階ごとの工夫・留意点 参照)。
- ・ 参考となる政府統計指標に関して、データ最新年・リンク先等の更新をした(27-33 ページ、5)参考となる政府統計指標 参照)。

また、本調査で詳細調査した各事例における事業実施時の工夫・留意点に関して、主要なものをガイドラインに追加反映した。

## 第6章 地方公共団体への分析結果フィードバック

### 6.1 フィードバックの目的

各地方公共団体が、自身の交付金事業の実施状況を他の地方公共団体と比較することで、事業プロセスにおいて不足している項目や優れている点などを客観的に認識してもらうことを目的に、各団体により回答された事業実施報告について、「自身の回答」と「全体の回答」とを記載した「事業実施報告分析レポート」を作成し、各団体に送付した。

「全体の回答」として記載した拠点整備タイプ全体、事業テーマ別の傾向を、各地方公共団体の「自身の回答」と比較することで、交付金事業における各事業の状況を客観的に把握することが可能である。また、一部の設問においては、各地方公共団体の「自身の回答」において回答された課題に対する他地方公共団体の対応事例を記載しており、今後の課題解決の参考とすることができる。

これにより、各団体による今後の交付金事業のさらなる改善が促されることが期待される。

### 6.2 フィードバック項目

地方公共団体へのフィードバック項目は以下の通り。

図表 6-1 フィードバック項目

| フィードバック項目     | 概要                              |
|---------------|---------------------------------|
| 1.KPI の達成状況   | 当該事業における KPI 目標の達成状況と、事業テーマ及び拠点 |
|               | 整備タイプ全体における目標を達成したKPIの割合を比較する。  |
| 2. 地方創生への効果認識 | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における地方創生への効果    |
|               | 認識割合をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。      |
| 3. 自立化の見込み    | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における、自立化見込み状況   |
|               | をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。          |
| 4. 令和4年度事業を踏  | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における自立化の進捗状況    |
| まえた自立化の進捗と    | をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。また、当該事業   |
| 課題            | が回答した「自立化の課題」に対して、他事業における課題に対   |
|               | する対策・解決事例を例示する。                 |
| 5. 事業実施時に留意した | 各事業プロセスにおける当該事業の回答と、事業テーマ及び拠点   |
| 項目            | 整備タイプ全体における各事業プロセスに留意した割合を比較    |
|               | する。                             |

| 6. 連携している政策分野 | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における連携先の政策分野    |
|---------------|---------------------------------|
|               | (事業テーマ)の分布状況をグラフで表示し、当該事業の回答と   |
|               | 比較する。                           |
| 7. 効果検証項目の実施状 | 事業テーマ及び推進タイプ全体における効果検証項目の実施状    |
| 況と効果検証を実施する   | 況と KPI の達成状況をグラフで表示し、当該事業の回答と比較 |
| 際の工夫          | する。また、効果検証を実施したと回答した事業の中から事業推   |
|               | 進に特に効果があったとみられる工夫を例示する。         |
| 8. 効果検証の実施項目数 | 事業テーマ及び推進タイプ全体における効果検証時に実施した    |
|               | 項目数をグラフで表示し、当該事業の回答と比較する。       |
| 9. 事業を進める中で特に | 事業テーマ及び拠点整備タイプ全体における課題・苦労の状況を   |
| 苦労したこと        | グラフで表示し、当該事業の回答と比較する。また、当該事業が   |
|               | 回答した「事業を進める中での課題・苦労」に対して、他事業に   |
|               | おける課題に対する対策・解決事例を例示する。          |

## 6.3 フィードバックの実施

各地方公共団体に対して、上記のフィードバック項目を記載した「事業実施報告分析レポ ート」を作成し、都道府県経由で各地方公共団体に送付した。

事業実施報告分析レポートの様式は以下の通り。

### 図表 6-2 事業実施報告分析レポート (様式) (1枚目)

#### デジタル田園都市国家構想交付金(旧地方創生拠点整備交付金)事業実施報告 分析レポート

本レボートは、令和4年度に約18デジ外ル田園都市国家機想交付金(旧地方創生推進交付金)事業実施の結果として全国の地方公共団体により報告された「デジ外ル田園都市国家機想交付金(旧地方創生推進交付金)事業実施報告(様式1)」を集計・分析した結果をお知らせずるものです。(令和5年10月末までに提出された事業実施報告を基に作成) 貴団体による交付金事業の実施状況を他の地方公共団体と比較することで、今後の事業推進に役立てていただけますと幸いです。

| 都道府県名 | 市町村名 |      |                  |
|-------|------|------|------------------|
|       |      | 事業名称 | 事業実施計画(申請)段階のテーマ |
|       |      |      |                  |
|       |      |      |                  |

#### B. KPIの達成状況(令和4年度までの累計)

KPI目標を一つでも達成した事業は、推進交付金事業全体の約7割となっています。また、設定されているKPIは、大分類別では、c.地域の魅力向上関連指揮が最も多く設定されています。 なお、KPIの設定に当たっては、客観的、かつ事業との直接性のある効果を表す指標であることが重要です。目的と交付金事業のKPIとの因果関係が明確であり、交付金事業によって現れた成果だと説明できるKPIを設定する必要があります。

|       | 本事業     |                       |     |                    | 目標を達成したK   | PIの割合(KPIの大分類別)               |                        |
|-------|---------|-----------------------|-----|--------------------|------------|-------------------------------|------------------------|
|       | KPIの名称  | KPIの名称 KPIの分類 目標達成の有無 |     | 【しごと創生】ローカルイノベーション | P野 推進交付金全体 |                               |                        |
|       | KF10/EM | 大分類                   | 小分類 | 対象                 | 口保建成の何無    | してというエコローカルイン・ペーンコン           | 拉足又仍並主体                |
| KPI 1 |         |                       |     |                    |            | 0% 50%                        | 100% 50% 100%          |
| KPI 2 |         |                       |     |                    |            | 55% N=28<br>52% N=78          | 55% N=667<br>56% N=314 |
| KPI3  |         |                       |     |                    |            | 57% N=80 53% N=556            |                        |
| KPI 4 |         |                       |     |                    |            | ■ c. 地域の魅力向上関連指揮 ■ d. 地域経済活性化 |                        |

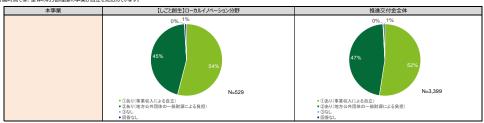
### C. 交付金事業の地方創生への効果

推進交付金事業全体の9割以上の交付金事業で地方創生に効果があったと認識されています。特に全体の1割強の事業が、地方創生に非常に効果的であったと認識されています。



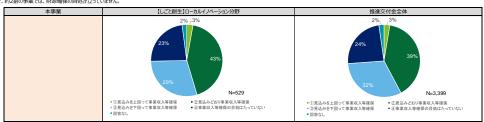
# D. 自立性担保の進捗 ○実施計画に記載された自立化の見込み

実施計画時点では、全体の約9割程度の事業が自立を見込んでいます。



#### ○令和4年度事業を踏まえた自立化の進捗

令和4年度の事業実施を踏まえて、推進文付金事業全体の5割弱の事業は計画時の見込みどおり又は見込みを上回って事業収入等の自主財源を確保できる見込みで進捗しています。 一方で、約2割の事業では、財源確保の目処が立っていません。



### 図表 6-3 事業実施報告分析レポート (様式) (2枚目)

#### ○令和4年度事業を踏まえた自立化の課題

多くの事業で自立化の課題を抱えており、自走に向けて試行錯誤が行われ、各課題に対する対策・解決案が検討されております。 貴団体による交付金事業の回答を踏まえ、他団体の対策・解決策を例示させていただきますので、今後の事業推進に役立てていただけますと幸いです。

| 本事業 | 対処状況 | 他事業における、課題に対する対策・解決事例 |   |
|-----|------|-----------------------|---|
|     |      | _                     | 1 |
|     |      | -                     | _ |
|     |      | _                     | - |

#### E. 事業実施時に留意した項目

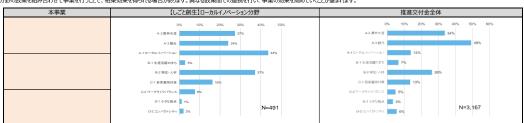
PDCAサイクルの各段機で「取り組むべきごと」について、ウ、地域資源の活用やス、主体間コミュニケーションの実施率は比較的高い一方で、ケ、自走を意識した計画やサ、詳細な工程計画の実施率は低くなっています。 「取り組むべきごと」のうち特にス・主体間コミュニケーションやウ、地域資源の活用を実施した事業の方が、地方創生への効果認識が高いという結果が出ています。 地方公共団体及び事業の実情によっては、実施できないまたは実施の必要が無い項目もあると考えられますが、ごれらの項目を実施して、事業の効果なり高めていくごが望まれます。

注)各項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」総論 - Ⅲ. 事業化プロセス編に記載していますので、必要に応じてご参照ください。

| T) 14(10)14(10) 1 (10) 14(10) |             |                          |                       |
|---|-------------|--------------------------|-----------------------|
|   | 本事業         |                          | または「概ね実施した」と<br>事業の割合 |
| 「事業アイデア・事業手法の検討段階】  | <b>本学</b> 素 | 【しごと創生】ローカルイノ<br>ベーション分野 | 推進交付金全体               |
| ア、地域住民や利雷関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している  |             | 56%                      | 55%                   |
| ・ で   |             | 43%                      | 40%                   |
| 1. 人間の からい  |             | 73%                      | 80%                   |
| ・ 本事業手法の検討なアクボル・カリウス・インス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・   |             | 67%                      | 58%                   |
| オ、異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部局や様々な分野の民間企業と連携している   |             | 51%                      | 49%                   |
| カ、スケールメリットシスポースの映画のため、複数の地域間で連携している   |             | 30%                      | 34%                   |
| キ・事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存和機・ネットワークを活用している  |             | 73%                      | 61%                   |
| ・ ディスのドロのシートをによりで、マルカーエン・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス  |             | 38%                      | 35%                   |
|   |             | 30 /0                    | 3370                  |
| 【事業の具体化段階】  |             |                          |                       |
| ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している  |             | 18%                      | 18%                   |
| コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している。または知見ある外部専門家から助言を受けている   |             | 54%                      | 45%                   |
| サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している  |             | 19%                      | 19%                   |
| シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している  |             | 67%                      | 57%                   |
| 【事業の実施・継続段階】  |             |                          |                       |
| ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている  |             | 78%                      | 75%                   |
| セ. KPIの進捗について定期的に管理している   |             | 68%                      | 64%                   |
| ソ. 担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している   |             | 52%                      | 43%                   |
| <ul><li>事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している</li></ul>   |             | 38%                      | 35%                   |
| チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている  |             | 38%                      | 39%                   |
| 【事業の評価・改善段階】  |             |                          |                       |
| ツ. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している  |             | 75%                      | 73%                   |
| テ. KPIの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している  |             | 58%                      | 51%                   |
| ト. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している   |             | 51%                      | 48%                   |
| ナ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している   |             | 58%                      | 55%                   |
|   |             |                          |                       |

#### F. 連携している政策分野

推進交付金事業全体では、観光分野や農林水産分野と連携する事業が多く、 異なる分野の政策を組み合わせて事業を行うことで、相乗効果を得られる場合があります。異なる政策間での連携を行い、事業の効果を高めていくことが望まれます。



### 図表 6-4 事業実施報告分析レポート (様式) (3 枚目)

#### G. 効果検証

#### ○効果検証における実施項目

効果検証における「実施すべき項目」を実施した方が、実施しないよりも一つでもKPIを達成した事業の割合が高くなっています。 地方公共団体及び事業の実情によっては、実施できないまたは実施の必要が無い項目もあると考えられますが、効果検証をきめ細かに実施することで、事業の効果をより高めていくことが望まれます。

|            |                                  |     | 実施しているものうち 1 つで | もKPIを達成している事業の割合 |
|------------|----------------------------------|-----|-----------------|------------------|
|            |                                  | 本事業 | 【しごと創生】ローカルイノ   | 推進交付金全体          |
| 【効果        | 検証における段階別実施有無】                   |     | ベーション分野         |                  |
| ア.         | 事業の状況及び現状の課題を把握している              |     | 83%             | 78%              |
| ۲.         | 計画との比較を行っている                     |     | 82%             | <b>7</b> 6%      |
| ウ.         | 課題の優先順位付けを行っている                  |     | 75%             | 77%              |
| I.         | 事業における原因・阻害要因を明らかにしている           |     | 84%             | 78%              |
| オ.         | 適切な分析手法を検討し選択している                |     | 83%             | 72%              |
| <b>力</b> . | 統計データ等の証拠から、定量的・客観的に地域の課題を把握している |     | 84%             | 78%              |
| +.         | 阻害要因について対応策を検討している               |     | 88%             | 81%              |
| <b>ク</b> . | 新計画を立てている                        |     | 72%             | 70%              |
| ケ.         | 対応策や新計画の実施を行っている                 |     | 81%             | 75%              |
| Π.         | 定量的な分析結果を公表している                  |     | 85%             | 79%              |

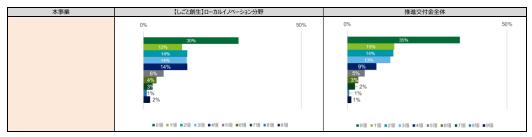
#### ○効果検証に関する工夫

議会または外部組織による効果検証を実施したと回答した事業の中から、事業推進に特に効果があったと感じられた工夫を例示させていただきますので、今後の事業推進に役立てていただけますと幸いです。

| 議会または外部組織による効果検証の実施に当たり、特に効果があったと感じられる工夫 |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

#### ○効果検証における実施項目数

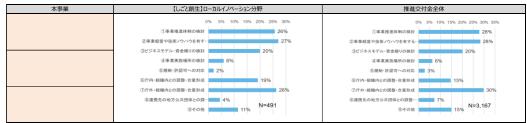
効果検証における実施項目の実施数について、約3割の事業が未実施となっています。効果検証を実施することでKPI目標達成への効果が見込まれるため、適切な実施が求められます。



### H. 事業を進める中で特に苦労したこと

#### ○事業を進める中での課題・苦労

多くの場合、交付金事業を進める中で課題や苦労に直面しています。 特に、②庁外・組織外との調整・合意形成、②事業推進体制の検討や②事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成といた点に苦労している事業はそれぞれ全体の2割程度に上ります。



#### ○事業を進める中での課題・苦労に対する対応事例

交付金事業を進める中で課題や苦労は自治体ごとに異なります。その中でも各自治体で試行錯誤を重ね、課題や苦労への対策・解決案を検討しています。 貴団体による交付金事業の回答を踏まえ、他団体の対策・解決策を例示させていただきますので、今後の事業推進に役立てていただけますと幸いです。

| 本事業 | その他の場合の詳細 | 他事業における、課題に対する対策・解決事例 |
|-----|-----------|-----------------------|
|     |           | _                     |
|     |           | -                     |
|     |           | _                     |

以上

# 第7章 検討委員会の設置

本調査の効果を高めるため、地方創生に関する外部有識者から成る「デジタル田園都市国 家構想交付金事業(旧地方創生推進交付金事業及び旧地方創生拠点整備交付金事業)の効果 検証に関する調査検討委員会(以下、「検討委員会」という。)」を設置・開催し、その監修 のもとで調査を実施した。

また、第 3 章 事例研究における現地調査の一部事例について検討委員会委員を同行し、 調査の深掘りを図った。

検討委員会の委員は、以下の通り。

検討委員会委員一覧 (五十音順、敬称略)

|    | 所属・役職                  | 氏名     |
|----|------------------------|--------|
|    | 大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授    | 赤井 伸郎  |
|    | 公益財団法人交通協力会 常務理事       | 石堂 正信  |
|    | 武庫川女子大学 教授             | 金崎 健太郎 |
|    | 法政大学現代福祉学部 教授          | 図司 直也  |
|    | 千葉商科大学基盤教育機構 准教授       | 田中 信一郎 |
|    | 一橋大学大学院法学研究科 教授        | 辻 琢也   |
| 座長 | 福井県立大学地域経済研究所 特命教授     | 松原 宏   |
|    | 株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス | 見並 陽一  |
|    | 顧問                     |        |

検討委員会は、令和 5 年 8 月から令和 6 年 3 月の期間で計 4 回開催した。各回の開催概要は以下の通り。

図表 7-1 検討委員会開催概要

| 口   | 日時・場所         | 議題                              |  |  |  |  |
|-----|---------------|---------------------------------|--|--|--|--|
| 第1回 | 令和5年8月9日(水)   | ・ 令和5年度の効果検証委員会について             |  |  |  |  |
|     | 14:00~15:45   | ・ 今年度の効果検証の進め方について              |  |  |  |  |
|     | オンライン開催       | ・ 事業実施報告分析の進め方について              |  |  |  |  |
|     |               | ・ 事例研究の進め方について                  |  |  |  |  |
|     |               | ・ 統計解析の進め方について                  |  |  |  |  |
|     |               | ・ 地方公共団体へのフィードバックについて           |  |  |  |  |
| 第2回 | 令和5年10月30日(月) | ・ 事業実施報告の分析 (途中報告)              |  |  |  |  |
|     | 10:00~12:00   | • 事例研究(途中報告)                    |  |  |  |  |
|     | オンライン開催       | ・ 統計解析の試行(途中報告)                 |  |  |  |  |
|     |               | ・ 地方公共団体へのフィードバックについて           |  |  |  |  |
| 第3回 | 令和5年12月18日(月) | ・ 事業実施報告の分析(結果報告)               |  |  |  |  |
|     | 10:00~12:00   | · 事例研究(途中報告)                    |  |  |  |  |
|     | オンライン開催       | ・ 統計解析の試行(途中報告)                 |  |  |  |  |
|     |               | · 報告書(骨子案)                      |  |  |  |  |
|     |               | <ul><li>ガイドラインの改訂について</li></ul> |  |  |  |  |
| 第4回 | 令和6年3月6日(水)   | ・ 報告書について                       |  |  |  |  |
|     | 10:00~12:00   | ・ 事例集について                       |  |  |  |  |
|     | オンライン開催       | ・ ガイドラインについて                    |  |  |  |  |
|     |               | ・ 今後の調査における検討論点                 |  |  |  |  |

# 添付資料

・ 効果検証未実施団体の調査

### 効果検証未実施団体の調査

本稿では、令和 4 年度に拠点整備タイプを活用した 887 の事業のうち、効果検証が未実施であった事業について理由を調査した結果をとりまとめた。

### 1. 調査概要

- ・ 事業実施報告で議会・外部団体による効果検証を、ともに「実施しない(予定)」 と回答した事業に対して、WEB上に作成したアンケートフォームより回答を収集 した。
- ・ 効果検証を「実施しない(予定)」と回答した理由について、選択肢の中から該当 するものを複数選択してもらい、択肢以外の理由がある場合は「その他」に記述を 求めた。

#### 2. 効果検証未実施の事業数

効果検証を実施した、または実施予定と回答していない事業は21事業あった。

### 3. 調查結果

- ・ 21 事業に聴き取り調査を実施したところ、主な理由として、「実施するためのマンパワーが足りなかったから」が 6 件、「時間を確保できなかったから」が 4 件、「効果検証を実施するノウハウを持ち合わせていなかったから」が 3 件挙げられたほか、「目標値が順調に達成されていることが周知の事実となっていることから実施しなかった」、「景気の動向等により本事業の実施に対する効果検証方法の策定が困難である」などの回答が挙がった。
- ・ 過年度事業が終了したため効果検証を実施していないとの回答も複数挙がっており、整備施設供用開始後も継続して効果検証を実施する認識の無い事業も見られた。

### 調査回答内容

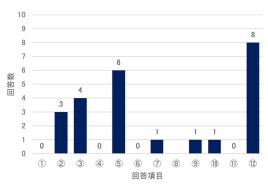
質問

効果検証を「実施しない(予定)」と回答した理由について、該当する事項を選択してください(複数回答可)。 選択肢①~⑪以外の理由がある場合は「その他」に具体的にご記載願います。

#### <選択肢>

- ① 効果検証を実施する意義に疑問があったから
- ② 効果検証を実施するノウハウを持ち合わせていなかったから
- ③ 時間を確保できなかったから
- ④ 有識者を集められなかったから(新型コロナウイルスの影響で集められなかった場合は⑤)
- ⑤ 実施するためのマンパワーが足りなかったから
- ⑥ 実施するにあたり関係者の理解・協力を得られなかったから
- ⑦ 当初KPIの設定が曖昧であり、検証が困難であったから
- ⑧ (拠点整備事業は対象外選択肢)
- ⑨ 新型コロナウイルスの影響でメンバーを参集することができなかったから
- ① 日常的に担当官が事業実施関係者とコミュニケーションをとっているため効果検証の場を設ける必要がないと考えたから
- ① 事業を中止したため
- ⑰ その他(次頁紹介)

### 調査結果



### 迎その他 回答内容

その他

- 各年度終了後に、市がモニタリング実施により効果検証を行っているため。
- 令和元年度終了事業のため。
- 目標値が順調に達成されていることが周知の事実となっていることから。
- 効果検証という形では行わないが、KPI(入館者・観光客数等)は今後も推移を報告する予定である。
- 事業実施年度(令和2年度)に効果検証を行い、結果を公表したため。
- 事業実施年度(令和2年度)に効果検証を行い、結果を公表したため。
- ・設定したKPIの達成に寄与すると考えられるが、設定KPIの達成度合いは本事業の実施だけでなく、景気の動向や牛肉消費量の増減、肥育農家の減少など他の要因の影響を受けて変動するため、本事業の実施に対する効果検証方法の策定が困難であるため。

### 3. まとめ

全体の調査を通じて以下のような点が認められた。

- ・ 今回の調査結果から地方公共団体担当者の「効果検証」の捉え方が統一されていない ことが読み取れた。そのような中でも、効果検証の重要性を認識できている団体とそ うでない団体の存在が読み取れた。
- ・ 効果検証の重要性を認識しつつも実施できていない団体は例えば「マンパワー不足」 を理由に挙げた団体は、町村規模の団体が多かった。
- ・ また、事業実施報告では「効果検証実施しない」と回答した団体も、本アンケートを 通じて聞き取ったところでは、市のモニタリング調査で確認している事例もあり、そ れらの場が効果を検証される場として活用されていない可能性も示唆された。
- ・ 効果検証の重要性を認識できていない団体として、例えば過年度事業が終了したため効果検証を実施していないとの回答する事業も複数挙がっており、整備施設供用 開始後も継続して効果検証を実施する認識の無い例も見られた。